

練馬区立総合体育館改築に向けた  
スポーツ環境調査

報告書

令和8年2月

 国際航業株式会社

KOKUSAI KOGYO CO., LTD.





# 目 次

本 編 .....	1
1. 業務概要 .....	1
1.1 業務の目的 .....	1
1.2 業務概要 .....	1
1.3 施設概要 .....	1
1.4 位置図 .....	2
2. 公共の体育館を取り巻く状況 .....	3
2.1 関連計画の整理 .....	3
2.2 関連統計・調査結果の整理 .....	12
2.3 第2章まとめ .....	30
3. 他自治体の最新事例調査 .....	31
3.1 他自治体事例一覧表 .....	31
3.2 第3章まとめ .....	35
4. ユニバーサルスポーツ振興に求められる施設整備／パラスポーツの充実に向けた施設整備 ／バリアフリーの導入事例 .....	36
4.1 上位計画・法令の整理 .....	36
4.2 第4章まとめ .....	37
5. 学校教育と公共の体育館との連携のあり方 .....	38
5.1 上位計画・方針の整理 .....	38
5.2 学校教育と公共の体育館との連携事例一覧 .....	40
5.3 第5章まとめ .....	43
6. 区民アンケート項目の検討 .....	44
6.1 区民アンケート項目の検討 .....	44
6.2 第6章まとめ .....	54
資料編 .....	55
1. 個票 20 事例 .....	55
2. アンケート設問項目参照事例 .....	75
2.1 体育館事例 .....	75
2.2 その他自治体におけるスポーツ市民アンケート・意識調査 .....	75

# 本 編

## 1. 業務概要

### 1.1 業務の目的

練馬区立総合体育館（以下「総合体育館」という。）は、昭和47年に竣工してから50年以上が経過しており、建物の老朽化が進行している。

総合体育館は、多くの区民に利用される施設であり、耐用年数も近づいてきていることから、区は、令和6年3月に策定した「第3次みどりの風吹くまちビジョン」における「アクションプラン（年度別取組計画）」において、現在地での改築を基本に、求められる機能や効率的に整備するための事業方式等の検討を進めることとしている。

今般、ユニバーサルスポーツ振興やアーバンスポーツ需要の高まりに伴い、公共の体育館を取り巻く状況は変化している。この他、学校教育との連携等、公共の体育館には新たな需要もあることから、令和8年度に予定する基礎調査を効率的に実施するため、スポーツに関する現状と課題等を整理するための現況調査を行うことを目的とする。

### 1.2 業務概要

- (1) 業務名：練馬区立総合体育館改築に向けたスポーツ環境調査業務委託
- (2) 契約期間：令和7年4月28日から令和8年3月13日まで
- (3) 発注者：練馬区 地域文化部 スポーツ振興課
- (4) 受注者：国際航業株式会社 東京支店

### 1.3 施設概要

本業務の対象となる施設の概要は下記のとおり。

項目	内容
所在地	練馬区谷原一丁目7番5号
敷地面積	約16,442㎡
延床面積	約6,003㎡
設備	屋内施設：競技場、柔道場、剣道場、弓道場、卓球場、トレーニング室、会議室 屋外施設：相撲場、ローラースケート場、エア・ライフル場、駐車場

## 1.4 位置図

対象施設の位置図を以下に示す。



位置図

出典：地理院地図（国土地理院）

## 2. 公共の体育館を取り巻く状況

### 2.1 関連計画の整理

少子高齢化、ライフスタイルの多様化、健康志向、地域コミュニティのあり方に大きな変化が生じている背景など、社会経済情勢の変化に対応するため、国や都におけるスポーツ基本計画等について、政策の方向性を明確化のうえ、情報の収集・整理及び現状分析を行った。

	計画名	概要
2.1.1	第3期スポーツ基本計画 (文部科学省 スポーツ庁)	スポーツ基本法に基づき、文部科学大臣が定める5年間の日本のスポーツの重要な指針
2.1.2	東京都スポーツ推進総合計画 (東京都生活文化スポーツ局)	未来の東京を見据え、スポーツ振興の観点から東京都として目指すべきビジョンと、その実現に向けた基本方針及び施策展開の方向性を示す計画

#### 2.1.1 第3期スポーツ基本計画（文部科学省 スポーツ庁：令和4年3月25日策定）

##### (1) 概要

スポーツ基本法に基づき、文部科学大臣が定める5年間の日本のスポーツの重要な指針

##### (2) 計画期間

令和4年度から令和8年度までの5年間

##### (3) 第2期スポーツ基本計画期間中の総括

###### ① 新型コロナウイルス感染症の影響

- スポーツが「不要不急」のように扱われ、日々の生活から失われたり制限される状況
- ・個人：体力の低下、心身の健康保持への悪影響、閉塞感のまん延、日頃の成果発表の機会の喪失など
  - ・社会：スポーツを核にした地域における交流の不足・企業収益の低下など
- スポーツが、日頃、我々の生活や社会に活力を与えるなど、優れた効果を及ぼす重要な価値を持つことが改めて示される。（重要性の顕在化）

###### ② 東京オリンピック・パラリンピック開催を通じて再認識された「スポーツの価値」

- ・アスリートが全力で競技に挑む真摯な姿は国内外の多くの人々に感動をもたらした。
- ・選手たちが励まし讃え合う姿を見て、スポーツの持つ素晴らしさを確認した。
- ・様々な関係者やボランティアの姿を通してスポーツを支えることの重要性を再確認した。
- ・「多様性と調和」をコンセプトに、「オリ・パラ一体」を目指し、大会を通して、共生社会を育むことの重要性を認識した。
- ・SNS等による選手への誹謗中傷や熱中症の課題等、スポーツの価値を享受する前提を脅かす事態等への対応の必要性を再認識した。

- ③ その他社会状況の変化
- ・人口減少、高齢化の進行
  - ・地域間格差の広がり
  - ・DX など急速な技術革新
  - ・ライフスタイルの変化
  - ・持続可能な社会や共生社会への移行
- ④ その他スポーツ実施状況の評価 / ⑤ 生じた課題（必要なアプローチ）
- ・成人等のスポーツ実施率は策定時と比較して上昇したが、目標は未達  
→スポーツ実施の頻度が少ない層や非実施層へのアプローチを進めることが必要
  - ・障がい者や女性のスポーツ実施率が増加傾向にはあるものの相対的に低い  
→共生社会の実現に向け、引き続き環境構築の取組が必要
- (4) 第3期スポーツ基本計画（概要）
- ① 東京大会のスポーツ・レガシーの継承・発展に資する重要施策
- ・持続可能な国際競技力の向上
  - ・共生社会の実現や多様な主体によるスポーツ参画の促進
  - ・スポーツを通じた国際交流・協力
  - ・大規模大会の運営ノウハウの継承
  - ・地方創生・まちづくり
  - ・スポーツに関わる者の心身の安全・安心確保
- ② スポーツの価値を高めるための「新たな3つの視点」を支える施策
- スポーツを「つくる／はぐくむ」：
- ・性別、年齢、障がいの有無等に関係なく、多様な主体が参加できるスポーツの機会を創出する。
- スポーツで「あつまり、ともに、つながる」：
- ・スポーツを通じた共生社会を実現する。  
（施設の整備やプログラムの提供、啓発活動等を通じて、様々な立場・状況の人が「あつまり」、「ともに」スポーツを楽しめる環境を構築）
  - ・国、地方公共団体の様々な部局、スポーツ団体、企業、保険者等の関係機関・団体等の取組の一体的な連携をはかる。
- スポーツに「誰もがアクセスできる」：
- ・地域において住民の誰もが気軽にスポーツに親しめる「場づくり」等の機会を提供する。（スポーツ施設のユニバーサルデザイン化の推進など）

③ 主な取組内容（今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む12の施策）

A) 多様な主体におけるスポーツの機会創出	B) スポーツ界におけるDXの推進	C) 国際競技力の向上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や学校における子供・若者のスポーツ機会の充実と体力向上</li> <li>・体育の授業の充実、運動部活動改革の推進</li> <li>・女性・障がい者・働く世代・子育て世代のスポーツ実施率の向上など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進技術を活用したスポーツ実施のあり方の拡大</li> <li>・デジタル技術を活用した新たなビジネスモデルの創出など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期の強化戦略に基づく競技力向上支援システムの確立</li> <li>・地域における競技力向上を支える体制の構築</li> <li>・国・JSP0・地方公共団体が一体となった国民体育大会の開催など</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際スポーツ界への意思決定への参画支援</li> <li>・スポーツ産業の国際展開を促進するプラットフォームの検討など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康増進に資するスポーツに関する研究の充実</li> <li>・実・調査研究成果の利用促進</li> <li>・医療・介護や企業・保険者との連携強化など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタジアム・アリーナ整備の着実な推進</li> <li>・他産業とのオープンイノベーションによる新ビジネスモデルの創出支援など</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・武道やアウトドアスポーツ等のスポーツツーリズムの更なる推進</li> <li>・スポーツによる地方創生、まちづくりの創出の全国での加速化など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者や女性のスポーツの実施環境の整備</li> <li>・国内外のスポーツ団体の女性役員候補者の登用・育成の支援、意識啓発・情報発信など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガバナンス・コンプライアンスに関する研修等の実施</li> <li>・スポーツ団体の戦略的経営を行う人材の雇用の創出の支援など</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方公共団体における既存の地域スポーツ施設の有効活用の促進</li> <li>・地域スポーツコミュニティなど地域連携組織の活用</li> <li>・全NPOでの人材育成及び活用に関する計画策定を促進</li> <li>・女性のスポーツ指導に精通した指導者養成支援など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・K) スポーツを実施する者の安全・安心の確保</li> <li>・暴力や不適切な指導等の根絶に向けた指導者養成・研修の実施</li> <li>・スポーツ安全に係る情報発信・安全対策の促進など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・I) スポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化</li> <li>・L) スポーツ・インテグリティの確保</li> <li>・スポーツ団体へのガバナンスコードの普及促進</li> <li>・スポーツ仲裁・調停制度の理解増進等の推進</li> <li>・教育研修や研究活動等を通じたドーピング防止活動の展開など</li> </ul>

④ 各取組の現状と今後の展望

	現状	今後の展望
A)-1	・成人の週1回以上のスポーツ実施率は56.4%（障がい者は31.0%）	・70%（障がい者は40%）へ
A)-2	・運動時間は小・中学生ともに平成29年度をピークに減少、運動をする子供としない子供で二極化が続いており、運動やスポーツが好きなお子の子供は中学校で減少する傾向（新型コロナウィルスの影響で全国的に子供の体力レベルの低下が進む）	・児童86%→90%、生徒82%→90% ・新体力テストの総合評価C以上の児童68%→80%、生徒75%→85%
A)-3	・女性のスポーツ実施率は男性に比べて低く、若年女性はスポーツ嫌いの理由によりスポーツ実施時間が短い ・成人の障がい者の週1回以上のスポーツ実施率は31.0%（令和3年度）と、成人一般の56.4%と比べると大きな隔たりがある ・若年層（7～19歳）の障がい者の週1回以上のスポーツ実施率は41.8% ・障がい者で過去1年に1回もスポーツを実施していない者の割合は、成人で41.3%（令和3年度）、若年層で26.9%（同）となっている ・年代別のスポーツ実施率は働く世代・子育て世代の20～50代で落ち込む傾向がある ・テレワークの浸透等による運動不足やそれを一因とする耐糖能異常、脂質異常、高血圧、肥満等の生活習慣病、外出制限等によるメンタルヘルスの不調の課題が増加している	・女性のスポーツ実施意欲を向上させさせる取組や女性がスポーツを実施しやすい環境の整備を行う ・中学校部活動の地域移行を着実に実施するなど
H)-1	・成人の障がい者の週1回以上のスポーツ実施率は31.0%（成人一般：56.4%） ・障がい者スポーツ指導者を含む障がい者スポーツに係るスタッフの確保が難しい状況が見られる ・一般のスポーツ推進と障がい者スポーツを異なる部局が担当している場合もあり、両者の連携や推進体制が十分ではない	・障がい者スポーツに係る情報発信の充実、ボランティア参加の促進等を通じ、一般社会における障がい者スポーツの理解促進・障がい者スポーツを体験する機会の創出を図る ・国は障がいのある人となない人が一緒にスポーツを行えるよう、パラ教育の事例収集や一般のスポーツと障がい者スポーツの施策連携を推進する
H)-2	・女性のスポーツ実施率は男性に比べて低く、若年女性はスポーツ嫌いの理由により、スポーツ実施時間が短い傾向	・女性のスポーツ実施意欲を向上させさせる取組や女性がスポーツを実施しやすい環境を整備
J)-1	・【「量」的充実】学校体育施設やオープンスペース等の多様な空間の有効活用 【「質」的充実】ユニバーサルデザイン化や民間の資金・ノウハウの活用等の推進	
J)-2	・地域スポーツコミュニティなど既存の地域連携組織の活用 総合型地域スポーツクラブについては、運営体制の強化や行政との連携が課題 スポーツ少年団は年々減少、地域で様々な住民が一人一人のニーズに合わせたスポーツをするための場、プログラム、指導者等の環境の充実が必要	

## 2.1.2 東京都スポーツ推進総合計画（令和7年3月策定）

### (1) 概要

未来の東京を見据え、スポーツ振興の観点から東京都として目指すべきビジョンと、その実現に向けた基本方針及び施策展開の方向性を示す。

### (2) 計画期間

令和7年度から令和12年度までの6年間

### (3) 計画策定の背景

期間・年次	計画	内容
平成14年7月	東京都スポーツ振興基本計画「東京スポーツビジョン」	東京のスポーツ振興に関する初の行政計画
平成20年7月	東京都スポーツ振興基本計画	—
平成24年3月	東京都障害者スポーツ振興計画	障がいのある人のスポーツの一層の振興を図る
平成25年3月	東京都スポーツ推進計画	—
平成30年3月	東京都スポーツ推進総合計画	パラスポーツを含めたスポーツ施策を一体的に推進していくため、2つの計画を統合

#### ① 東京2020大会のレガシー（大規模スポーツ大会の開催経験）

開催経験、競技施設の魅力を強みとして、国際大会を開催し、東京のプレゼンスをさらに高めていく。

#### ② コロナ禍による影響

（スポーツ・生活環境の変化）

##### ○子供のスポーツ実施状況への影響

・運動不足（運動をする頻度が少なくなったこと）により、子供の体力が低下した。

・コロナ前の水準に戻っていない。

※右図を参照

##### ○デジタル化の進展

・非対面、非接触の社会活動への転換が起こった。

（オンライン会議、テレワークなどデジタルツール活用の動きが加速）

##### ○その他の変化

・少子高齢化やスポーツ実施状況、気候変動の変化

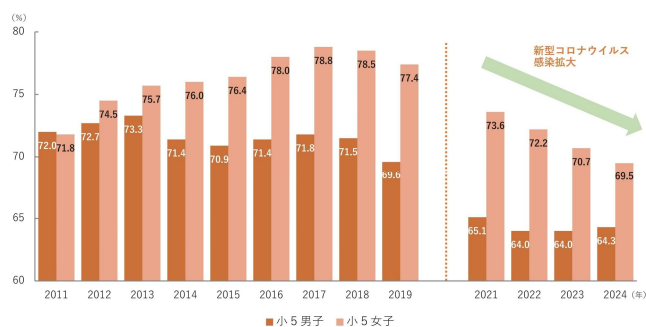


図 子供の体力・運動能力調査結果

出典：「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査報告書」（東京都教育委員会）

(4) 背景を踏まえた計画の基本的な理念

「誰もがスポーツを楽しむ東京を実現し、一人ひとりのウェルビーイングを高め、社会を**変革する**」(※「楽しさ」や「喜び」といった「内在的な価値」と、社会活性化等に寄与する「外在的な価値」)

→スポーツの価値をすべての人々が享受できるよう取り組むことで、健康・幸福な暮らしや、様々な社会課題の解決につなげる。(一人ひとりのウェルビーイング向上を実現)  
〈効用・効果〉

- ① 健康の維持・増進
- ② 共生社会の実現(社会参加・交流のきっかけ)
- ③ 地域・経済の活性化(スポーツイベントなど)

(5) 各ビジョン内容と関連データ

ビジョン	関連内容 〈目指す政策効果〉	関連データ推計		
		2024	2030	2035
I スポーツで「輝く」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツに親しむ機会が増え、あらゆる人にとってスポーツが身近なものになる</li> <li>・自らの状況・レベルに合ったスポーツを楽しみ、いつまでも健康で幸福に過ごすことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを通じて幸福感を感じている都民(18歳以上)の割合 70.0%→75%→80%</li> <li>・都民(18歳以上)のスポーツ実施率 63.3%→70%→70%以上</li> <li>・スポーツをすることを「好き」「やや好き」と感じる中学2年生の割合 男子：90.4%→90%以上→90%以上 女子：77.9%→80%→85%</li> <li>・東京都スポーツ推進企業認定企業数 583社→1,000社→1,300社</li> </ul>		
II スポーツで「つながる」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいの有無や性別、国籍等にかかわらず、人と人のつながりが生まれ相互理解が進む</li> <li>・新たな技術も活用し、あらゆる人がスポーツを楽しめる環境を実現する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある都民(18歳以上)のスポーツ実施率 46.6%→50%→50%以上</li> <li>・パラスポーツに関心がある都民(18歳以上)の割合 42.7%→80%→80%以上</li> <li>・スポーツを通じて生きがいを感じる高齢者の割合 86.7%→90%→90%以上</li> <li>・20~40歳代女性(都民)のスポーツ実施率 56.3%→65%→65%以上</li> </ul>		
III スポーツで「にぎわう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ大会の積極的な開催・支援を通じ、多くの人々が楽しみや感動を体験</li> <li>・世界中のアスリートや観客が訪れ、東京が世界で最も魅力的で選ばれる都市となる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間にスポーツを直接観戦した都民(18歳以上)の割合 30.0%→50%→50%以上</li> <li>・1年間にスポーツイベント、大会に参加したことがある都民(18歳以上)の割合 21.0%→30%→35%</li> <li>・応援するスポーツチームや選手がいる都民(18歳以上)の割合 40.6%→50%→60%</li> </ul>		
IV スポーツを「支える」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域等でスポーツの担い手が活躍し、持続可能なスポーツの地盤を構築する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都立スポーツ施設が果たしている役割に「満足」と答えた都民(18歳以上)の割合 60.7%→65%→70%</li> <li>・1年間にスポーツを支える活動<sup>※1</sup>を行った都民(18歳以上)の割合 17.3%→20%→20%以上</li> </ul>		

ビジョン	関連内容 〈目指す政策効果〉	関連データ推計		
		2024	2030	2035
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心・信頼の下、いつまでもスポーツを楽しめるサステナブルな社会に貢献する</li> </ul>	<p>(※1「スポーツを支える活動」とは、スポーツの指導やスポーツボランティアの実施、子供のスポーツの見守り等、スポーツを行う人を支援する活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ指導者数※2</li> </ul> <p>25,746人→32,100人→38,200人</p> <p>(※2 (公財)日本スポーツ協会、(公財)日本レクリエーション協会及び(公財)日本パラスポーツ協会が公認するスポーツ指導者数を合算した人数)</p>		

(6) 各プロジェクトの内容

	内容	プロジェクト詳細(本業務関連)
<p>a. スポーツの力を高める スポーツDXプロジェクト</p>	<p>・企業と連携した体力・体組成測定データの活用による健康増進 (データ分析・活用、競技力向上支援)</p> <p>・東京2025世界陸上を契機としたバーチャルランの実施 (eスポーツの活用に関する調査や体験会の実施など)</p>	<p>○東京都シニア・コミュニティ交流大会にeスポーツ種目を追加</p> <p>○イベント等でバーチャルスポーツに触れる機会を提供</p>
<p>b. スポーツとともに育つ チルドレン・スポーツ・プロジェクト</p>	<p>○子供の体力・運動能力や運動実施時間は<u>コロナ前の値には回復しておらず、学年が上がるにつれて、「スポーツをすることが好き」な子供の割合は減少している</u></p> <p>○子供が今よりもスポーツが好きになるためには、「気軽にスポーツができる場所」(68.7%)や「知らないスポーツを知り、未経験のスポーツを体験できる機会」(49.3%)等が必要</p> <p>○障がいのある子供は、「ルールが簡単」(46.9%)「自分のペースに合わせることができる」(36.2%)スポーツへの参加を希望</p> <p>○幼児期の運動習慣とその後のスポーツ習慣には強い相関がある</p> <p>また、保護者がスポーツに関する正しい知識を有している場合の方が、子供が運動好きである割合が高い</p> <p>・幼児期からの運動習慣形成に関する普及・啓発</p> <p>・保育士や教職員への気軽に楽しめるスポーツの周知</p> <p>・ジュニア世代の選手発掘・育成</p> <p>・学齢進行に伴うスポーツ離れ抑制のためのサポートなど</p>	<p>○障がいのある子供がスポーツに出会える・楽しめる機会を提供</p> <p>・都立特別支援学校を活用した体験教室における親子教室など、障がい種別に応じたきめ細かなプログラムの実施</p> <p>・放課後等デイサービスへの指導者の派遣により運動習慣の定着を図る取組を実施</p>
<p>c. 多様性があふれる スポーツ・ダイバシティ・プロジェクト</p>	<p>○令和6(2024)年の障がい者(18歳以上)のスポーツ実施率は46.6%で上昇傾向にあるが都民全体の実施率(63.3%)より低い状況であり、障がい者の5割超が、スポーツや運動に「関心がない」「できない」と回答</p> <p>○「スポーツ・運動の実施に必要な支援」として「障がいに関心がない」と回答した割合は、「プログラム」(16.0%)、「バリアフリー化」(交通機関やまち：11.6%、体育館などの建物等：9.9%)、「適切な指導者等」(11.3%)等の割合が高い</p> <p>○器具利用者のスポーツ活動には、用具が高額であること、身近に触れる機会が少ないなど様々な課題があり、スポーツを始める障壁になっている</p>	<p>○高齢者： ねんりんピックの東京開催を契機としたシニアスポーツ振興</p> <p>スポーツを通じた健康維持・増進</p> <p>→ 高齢者が気軽にスポーツをするきっかけを提供</p> <p>・身近な地域における健康づくりを実施する区市町村の取組を後押し</p> <p>・健康状態を見える化することで、健康への関心を高め、健康増進に貢献</p>

	内容	プロジェクト詳細(本業務関連)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者向けのeスポーツの実施</li> <li>・女性がスポーツにポジティブな意識を持てるような情報発信や連携</li> <li>・特別支援学校や福祉施設も活用した活動の場の充実</li> <li>・障がいのある人となない人が交流するボッチャ大会の拡大など</li> <li>・多種多様な大会の誘致・開催支援</li> <li>・東京 2025 世界陸上・デフリンピックを通じた機会創出や情報保障</li> <li>・東京マラソンを世界最高水準の大会へ成長させる</li> <li>・国際大会のレガシー活用による支援など</li> </ul>	
<p>d. スポーツの力で世界をリードする TOKYOの魅力向上プロジェクト</p> <p>e. スポーツを楽しむ環境を実現する SPORTS FACILITIES プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トップレベルの試合開催や競技力向上拠点としての強化</li> <li>・都市型スポーツや氷上スポーツの場の創出</li> <li>・スポーツ以外のイベントでの活用促進</li> <li>・施設利用に関する総合相談窓口(コンシェルジュ)の発信力強化など</li> </ul>	<p>○都立スポーツ施設の取組</p> <p>①身近にトップレベルの試合に触れることができるスポーツの拠点</p> <p>②多様なニーズに応え、新たなスポーツ環境や様々な体験機会を提供し都民のウェルビーイングの向上に寄与</p> <p>③誰もがいつまでも、身近にスポーツを楽しむことができる環境が実現</p> <p>①→競技会場、パラスポーツ振興の拠点(障がいのあ る人が気軽に楽しむ)の整備</p> <p>②、③→コミュニケーションなど多目的利用を想定した 整備(ex 子供ヨット体験:東京アクアテ クスセンター、ファッションショー:夢の島 公園アーチェリー場など)</p>
<p>f. スポーツを支える仕組みを創る 支える担い手確保プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの活躍機会拡大による担い手確保</li> <li>・新たな担い手確保策に関する関係者会議の設置</li> <li>・地域スポーツクラブ等への指導者資格取得支援</li> <li>・東京 2025 大会のボランティア活動継続に向けたネットワーク活用を促進など</li> </ul>	<p>○スポーツにおける人材の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材の高齢化や不足が課題</li> <li>・ボランティア活動を継続、充実する環境整備の不足</li> </ul>

## 2.2 関連統計・調査結果の整理

	統計・調査	概要
2.2.1	スポーツの実施状況等に関する世論調査 (文部科学省 スポーツ庁)	スポーツ庁が毎年実施している、国民のスポーツの実施状況や意識を把握し、今後のスポーツ振興施策の参考にすることを目的とした調査
2.2.2	スポーツライフに関する調査2024 (笹川スポーツ財団)	1992年から隔年で実施されている、成人の運動・スポーツ活動の現状や問題点を明らかにすることを目的とした調査

### 2.2.1 スポーツの実施状況等に関する世論調査 (スポーツ庁：令和6年11月実施)

#### (1) 目的

スポーツの実施状況等に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。

#### (2) 主な調査項目

①	スポーツの実施状況について	スポーツを「する」
②	スポーツ観戦について	スポーツを「みる」
③	スポーツを支える活動について	スポーツを「支える」
④	スポーツ全体に対する価値と幸福感	

#### ① スポーツの実施状況について—スポーツを「する」

##### ○年代別スポーツ実施希望率とスポーツ実施率の差

- ・20歳以上の週1日以上「運動・スポーツ実施率」(以下「スポーツ実施率」という。)は、52.5%、週1日以上「運動・スポーツを実施したいと思う者の割合」(以下「スポーツ実施希望率」という。)は、66.6%と乖離が見られる。<sup>\*1</sup>
- ・特に20代~40代女性でその乖離が大きい。(高い順に40代→30代→20代)<sup>\*2</sup>

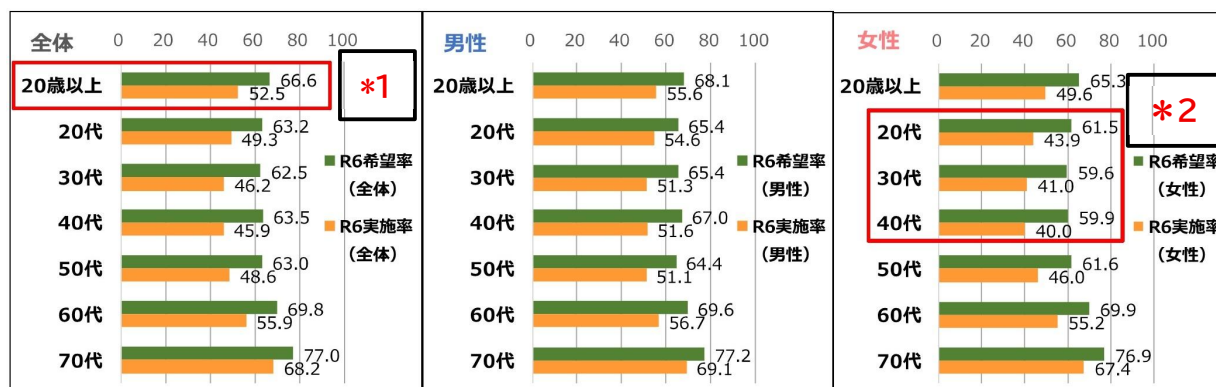
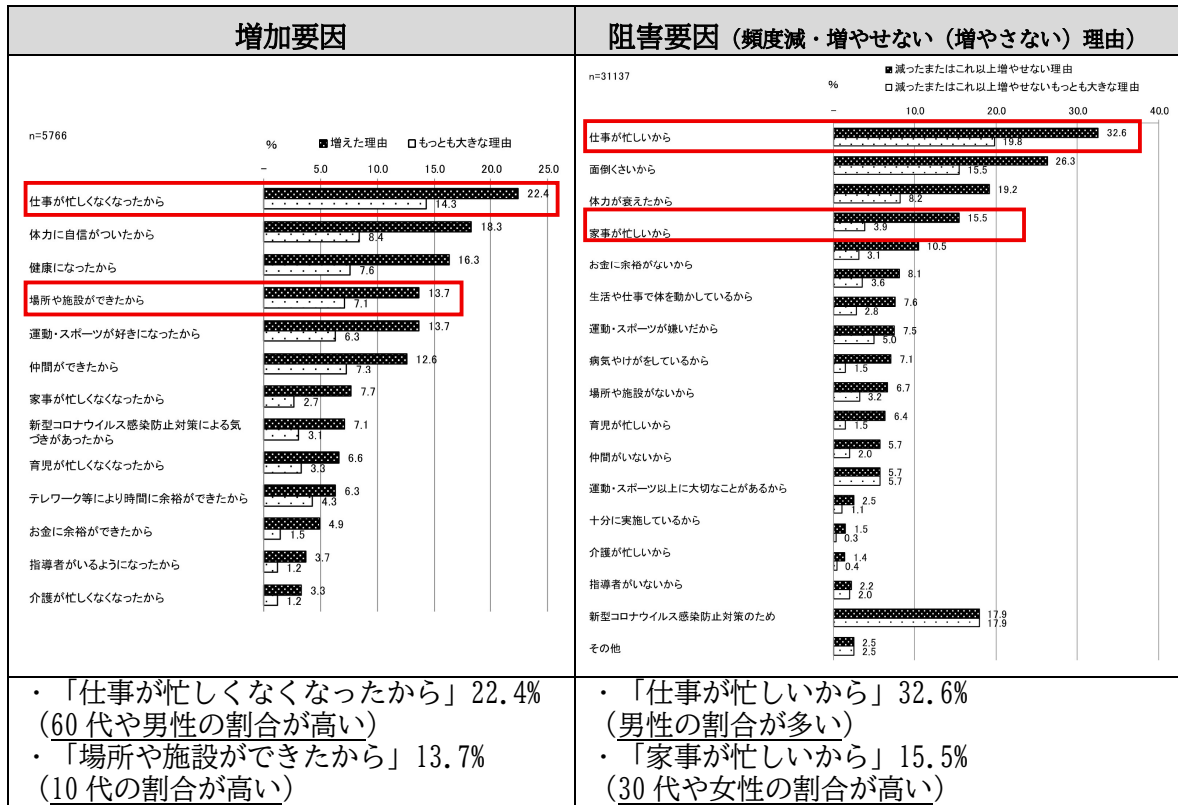


図 年代別スポーツ実施希望率とスポーツ実施率 (全体、男性、女性)

○スポーツの実施増加要因・阻害要因



※年代別の評価は次ページ以降の表を参照

表 運動・スポーツの実施増加要因

	n =	仕事 が忙し くなく なった から	体力に 自信が ついた から	健康に なった から	場所や 施設が できた から	運動・ スポー ツが好 きにな ったか ら	仲間が できた から	家事が 忙しく なくな ったか ら	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 防 止 対 策 に よ る ス ポ ー ツ の 価 値 ( 必 要 性 ) へ の 気 づ き が あ っ た か ら	育 児 が 忙 し く な く な っ た か ら	テ レ ウ ー ク 等 に よ り 時 間 に 余 裕 が で き た か ら	お 金 に 余 裕 が で き た か ら	指 導 者 が い る よ う に な っ た か ら	介 護 が 忙 し く な く な っ た か ら	そ の 他	特 に 理 由 は な い	わ か ら な い	%	
全体	5766	22.4	18.3	16.3	13.7	13.7	12.6	7.7	7.1	6.6	6.3	4.9	3.7	3.3	12.9	17.8	1.7		
男性	2789	27.9	19.3	17.7	12.0	15.8	12.4	7.2	6.9	5.8	7.8	5.4	3.0	3.1	9.7	17.7	1.8		
女性	2972	17.3	17.3	15.0	15.3	11.6	12.8	8.0	7.3	7.3	4.8	4.5	4.3	3.5	15.8	18.0	1.5		
10代	199	26.6	20.6	9.5	21.1	19.1	20.6	8.0	4.0	6.0	10.6	9.5	8.0	5.0	14.1	12.6	3.0		
20代	995	28.2	16.9	16.4	14.0	16.7	15.0	9.1	3.2	7.6	7.4	9.1	4.1	4.1	9.7	15.0	2.1		
30代	975	21.0	15.0	11.1	10.8	12.5	9.6	6.4	3.9	9.8	6.6	4.3	2.5	2.1	14.1	19.9	1.9		
40代	1124	19.8	17.5	14.2	10.9	14.9	10.8	6.7	5.5	9.3	5.4	4.0	2.3	2.0	14.1	19.0	1.3		
50代	937	18.5	16.2	16.2	13.6	12.7	9.8	7.2	8.2	7.0	6.8	3.7	2.9	3.0	14.0	21.3	1.4		
60代	811	30.1	17.8	18.7	15.8	11.7	11.1	9.1	9.0	2.2	4.8	4.6	4.4	5.2	11.8	17.4	1.2		
70代	725	15.6	28.6	25.8	17.2	11.2	19.2	7.9	16.4	0.8	5.5	2.2	6.1	4.1	12.8	14.3	1.7		
男性10代	120	33.3	20.8	9.2	22.5	20.0	20.8	9.2	5.0	9.2	12.5	11.7	8.3	7.5	11.7	12.5	4.2		
男性20代	526	32.9	19.8	18.3	12.7	18.1	14.1	14.4	4.4	10.3	6.8	9.5	4.9	6.3	6.8	12.2	2.5		
男性30代	509	23.6	17.7	13.8	10.0	13.4	11.0	8.1	4.1	8.3	7.7	4.9	2.6	3.7	10.0	22.4	0.8		
男性40代	574	25.3	16.7	14.3	9.8	17.2	11.8	5.4	6.3	5.7	6.1	4.4	1.9	1.9	11.5	19.2	2.1		
男性50代	427	23.9	17.1	17.3	11.9	15.9	8.7	4.4	7.3	4.0	10.1	3.5	1.6	0.9	10.1	23.2	1.6		
男性60代	358	37.2	19.3	20.1	13.1	13.1	10.3	3.9	9.5	1.4	7.3	4.5	2.2	1.7	10.6	15.1	1.4		
男性70代	275	23.3	29.8	32.7	13.1	14.5	17.8	3.6	14.9	0.4	8.4	2.2	3.3	1.8	8.4	13.5	1.1		
女性10代	78	16.7	19.2	10.3	19.2	16.7	20.5	6.4	2.6	1.3	6.4	6.4	6.4	1.3	17.9	12.8	1.3		
女性20代	465	23.2	13.8	14.4	15.5	15.1	16.1	3.0	1.7	4.7	8.0	8.8	3.2	1.3	13.1	18.3	1.5		
女性30代	466	18.2	12.0	8.2	11.6	11.6	8.2	4.5	3.6	11.6	5.4	3.6	2.4	0.2	18.5	17.2	3.2		
女性40代	550	14.2	18.4	14.2	12.2	12.4	9.6	8.0	4.7	13.1	4.7	3.6	2.7	2.0	16.9	18.9	0.5		
女性50代	510	13.9	15.5	15.3	14.9	10.0	10.8	9.4	9.0	9.6	4.1	3.9	3.9	4.7	17.3	19.8	1.2		
女性60代	453	24.5	16.6	17.7	17.9	10.6	11.7	13.2	8.6	2.9	2.9	4.6	6.2	7.9	12.8	19.2	1.1		
女性70代	450	10.9	27.8	21.6	19.8	9.1	20.0	10.4	17.3	1.1	3.8	2.2	7.8	5.6	15.6	14.9	2.0		
東京23区・政令指定都市	1395	23.7	16.0	14.2	13.7	14.1	12.0	7.3	8.0	5.0	7.4	5.4	3.4	4.2	13.3	18.4	0.9		
東京都区部	576	24.8	17.9	17.5	13.9	15.5	14.1	6.9	8.9	4.7	9.5	7.6	4.5	4.3	11.8	15.1	1.4		
政令指定都市	819	23.0	14.7	11.8	13.6	13.2	10.6	7.6	7.4	5.3	5.9	3.8	2.6	4.0	14.3	20.8	0.5		
大都市	2163	24.4	19.3	17.0	14.1	13.9	13.3	8.1	6.9	7.4	6.8	5.3	3.8	3.4	12.9	16.6	1.9		
小都市	1690	19.2	18.4	16.6	13.0	13.1	12.2	7.5	6.6	6.9	5.4	4.7	3.4	2.8	12.7	18.9	1.8		
町村	518	21.2	20.1	18.3	14.1	13.1	12.4	7.3	6.9	6.4	4.1	3.1	5.2	2.7	12.0	17.6	2.3		
直近1年の運動頻度 週に1日以上	4807	24.2	20.5	17.8	14.5	15.2	12.4	8.2	7.6	6.6	6.9	5.1	3.8	3.7	12.1	16.4	1.1		
直近1年の運動頻度 週1日未満・わからない	959	13.6	7.4	9.0	9.4	5.7	13.3	4.8	4.4	6.7	3.2	4.3	3.2	1.8	16.5	25.1	4.4		
この1年間に運動・スポーツはしなかった・わからない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1年以上継続した運動頻度 週に2日以上 ※1	2636	27.1	25.5	21.1	15.4	18.9	13.3	9.0	9.4	6.6	8.8	5.4	3.9	4.0	10.1	13.7	0.9		
1年以上継続した運動頻度 週2日未満・わからない ※1	2293	20.1	13.9	13.4	12.6	10.5	12.7	7.5	6.0	7.2	4.3	5.1	3.8	3.0	11.7	19.9	2.7		
1年以上運動を継続しなかった・わからない ※1	837	13.9	7.5	9.2	11.2	5.9	10.0	3.9	3.0	5.0	3.9	3.2	2.9	2.2	24.6	25.0	1.1		
する・みる・ささえる ※2	895	39.6	22.9	21.1	17.1	22.5	20.1	18.2	9.5	15.8	12.7	8.8	8.0	8.8	8.6	4.5	0.7		
する・みる ※2	2904	21.8	20.1	17.6	14.6	14.4	11.5	6.7	8.4	4.6	6.2	4.3	2.7	2.9	13.2	17.5	0.9		
する・ささえる ※2	55	21.8	21.8	12.7	10.9	16.4	18.2	5.5	1.8	7.3	5.5	7.3	5.5	3.6	7.3	18.2	3.6		
みる・ささえる ※2	953	17.0	19.2	15.4	12.1	10.9	7.7	3.7	3.8	3.9	3.8	3.8	3.1	1.0	12.6	23.9	2.0		
するのみ ※2	100	29.0	6.0	8.0	16.0	6.0	19.0	12.0	1.0	18.0	6.0	5.0	7.0	5.0	11.0	8.0	2.0		
みるのみ ※2	572	12.4	7.9	9.4	10.0	6.6	15.7	4.5	6.3	5.6	3.0	4.4	2.1	1.7	18.0	25.3	2.3		
ささえるのみ ※2	8	12.5	-	-	12.5	-	-	12.5	12.5	12.5	-	12.5	-	-	12.5	25.0	-		
スポーツに参画しなかった ※2	279	10.4	7.2	8.6	5.7	3.9	6.8	2.5	1.4	4.7	2.9	3.6	4.3	0.7	15.4	30.8	9.7		

※1 1日30分以上の軽く汗をかく運動を、1年以上継続した頻度

※2 「する」の割合は、「この1年間に運動やスポーツを実施した日数」で週に1日以上と回答した者の割合

※2 「みる」の割合は、「直接現地」または「テレビやインターネット」のいずれかで観戦と回答した者の割合

※2 「ささえる」の割合は、「運動・スポーツをささえる活動」で「行っていない」と「わからない」を除いた割合

表 運動・スポーツの実施阻害要因

96

	n =	仕事 が忙しい から	面 倒くさい から	体 力が衰え たから	家 事が忙し いから	お 金に余裕 がないから	生 活や仕事 で体を動 かしている から	運 動・スポ ーツが嫌 いだから	病 気やけが をしている から	場 所や施設 がないから	育 児が忙し いから	仲 間がいな いから	運 動・スポ ーツ以上 に大切な ことがある から	十 分に実施 している から	介 護が忙し いから	指 導者がい ないから	新 型コロナ ウイルス 感染防止 対策のため	そ の他	特 に理由は ない	わ からない
全体	31137	32.6	26.3	19.2	15.5	10.5	8.1	7.6	7.5	7.1	6.7	6.4	5.7	5.7	2.5	1.5	1.4	2.2	17.9	2.5
男性	15678	37.1	22.0	18.6	10.1	9.2	6.3	4.2	7.1	6.8	5.1	6.8	5.4	6.6	2.0	1.3	1.3	1.8	18.5	2.9
女性	15433	28.0	30.7	19.8	21.1	11.9	10.0	11.2	7.9	7.5	8.4	6.0	6.1	4.8	2.9	1.7	1.6	2.7	17.4	2.1
10代	642	34.9	33.0	12.5	8.4	13.4	6.2	10.6	5.0	19.0	3.0	13.4	12.0	1.9	2.5	5.3	0.9	5.1	14.6	3.9
20代	3597	49.2	29.5	10.5	16.2	12.3	5.4	8.5	4.1	10.7	9.5	10.0	6.0	2.2	2.1	1.8	1.0	1.0	13.1	4.1
30代	4172	47.4	30.2	11.7	26.9	11.9	5.1	8.8	4.4	8.0	23.5	6.9	6.4	2.4	1.6	1.8	0.6	1.6	13.8	3.1
40代	5608	44.0	31.3	15.1	20.4	13.3	6.4	9.0	5.7	6.5	11.2	6.0	5.4	4.0	1.9	1.2	0.9	1.7	15.5	2.5
50代	5915	36.6	27.8	18.3	15.3	11.2	8.4	8.3	7.8	5.9	1.7	5.4	4.8	4.6	3.2	1.2	1.2	1.9	19.2	2.1
60代	5178	21.8	24.1	23.6	10.6	9.5	10.6	6.7	10.3	6.6	0.3	5.4	5.3	7.2	3.6	1.4	1.6	2.6	21.2	1.8
70代	6025	6.9	16.7	31.2	7.8	5.9	11.4	4.9	11.0	5.4	0.2	5.3	5.4	11.9	2.3	1.4	3.0	3.6	22.1	1.9
男性10代	287	38.0	24.4	8.0	8.7	12.2	5.9	9.4	4.2	16.4	3.5	13.2	12.5	2.1	1.7	4.5	1.0	3.8	19.2	4.2
男性20代	1827	50.9	23.4	9.7	13.5	10.6	4.9	5.3	4.3	10.1	7.8	9.7	6.6	3.5	3.3	1.4	1.0	0.8	14.6	4.0
男性30代	2152	53.8	22.6	10.4	19.7	10.5	3.3	4.4	4.2	7.3	15.9	7.4	5.8	3.1	1.8	1.6	0.7	0.8	15.8	3.7
男性40代	2903	50.1	23.0	12.5	13.1	10.7	4.8	3.9	5.0	6.0	8.3	5.9	4.8	5.5	1.9	1.2	0.6	1.4	16.1	3.0
男性50代	3069	41.9	23.3	17.1	8.2	9.0	6.5	5.0	7.2	5.1	1.5	5.5	4.4	5.4	1.9	0.9	1.2	1.6	19.6	2.5
男性60代	2585	24.5	22.4	24.8	5.5	9.0	7.8	3.9	9.6	7.1	0.2	6.2	5.4	8.3	2.6	1.3	1.5	2.1	21.9	2.2
男性70代	2855	8.4	17.4	34.1	3.7	5.7	9.6	2.5	11.2	5.8	0.2	6.5	5.1	12.6	1.2	1.2	2.6	3.3	21.0	2.2
女性10代	350	32.3	40.6	16.0	8.3	14.3	6.6	11.7	5.4	21.4	2.6	13.4	11.7	1.7	2.9	6.0	0.9	6.0	11.1	3.4
女性20代	1753	47.6	35.8	11.2	19.1	14.0	6.0	11.7	3.8	11.3	11.4	10.4	6.8	0.7	1.0	2.2	0.9	1.2	11.6	4.1
女性30代	2019	40.6	38.3	13.1	34.6	13.4	7.1	13.5	4.6	8.8	31.6	6.2	7.1	1.6	1.4	2.0	0.5	2.4	11.7	2.4
女性40代	2702	37.5	40.2	18.0	28.3	16.1	8.0	14.4	6.5	7.1	14.3	6.1	6.1	2.3	1.9	1.1	1.1	2.0	14.9	2.0
女性50代	2846	30.8	32.7	19.5	22.9	13.5	10.4	11.9	8.4	6.7	1.9	5.3	5.1	3.8	4.5	1.4	1.2	2.3	18.8	1.7
女性60代	2593	19.0	25.8	22.5	15.8	10.0	13.3	9.6	10.9	6.2	0.5	4.6	5.2	6.2	4.6	1.6	1.7	3.0	20.6	1.5
女性70代	3170	5.6	16.0	28.6	11.5	6.1	13.1	7.1	10.9	4.9	0.1	4.2	5.8	11.2	3.2	1.6	3.3	3.9	23.0	1.5
東京23区・政令指定都市	7639	32.2	26.6	18.4	13.8	9.9	7.4	8.3	8.1	6.7	5.9	6.2	5.9	6.6	2.3	1.2	1.4	2.2	18.3	2.2
東京都区部	2767	33.6	25.9	17.1	12.6	9.0	6.5	7.2	8.0	6.7	5.4	6.3	5.9	6.4	2.3	1.4	1.3	2.4	18.1	2.9
政令指定都市	4872	31.3	26.9	19.2	14.5	10.4	8.0	8.8	8.1	6.7	6.1	6.1	5.9	6.7	2.3	1.1	1.5	2.1	18.3	1.9
大都市	11352	32.1	25.1	19.5	14.6	10.1	8.2	6.9	7.2	6.9	6.4	6.3	5.8	6.3	2.6	1.3	1.5	2.3	17.7	2.3
小都市	9247	33.3	27.9	19.3	17.5	11.6	8.3	8.2	7.7	7.4	7.6	6.6	5.7	4.9	2.5	1.8	1.3	2.2	17.7	2.6
町村	2899	33.5	24.9	19.8	17.4	10.4	9.3	7.0	6.8	8.3	7.6	7.1	5.1	3.9	2.6	1.8	1.6	2.0	18.7	3.4
直近1年の運動頻度 週に1日以上	15917	31.5	19.0	19.8	14.6	8.3	8.7	4.3	7.1	6.7	5.3	5.1	6.0	11.1	2.9	1.5	1.5	2.8	16.3	1.8
直近1年の運動頻度 週1日未満・わからない	8396	39.0	33.0	19.3	17.4	11.0	7.2	8.6	6.7	7.7	9.3	8.4	5.9	0.2	1.9	1.5	1.3	1.7	14.9	3.8
この1年間に運動・スポーツはしなかった・わからない	6824	27.1	35.1	17.6	15.3	15.2	8.1	14.3	9.4	7.4	7.0	7.0	4.7	-	2.2	1.5	1.4	1.5	25.3	2.5
1年以上継続した運動頻度 週に2日以上 ※1	7953	24.8	10.4	17.5	11.5	6.5	7.9	2.3	5.6	4.9	3.2	3.6	4.9	20.2	2.3	1.2	1.6	3.4	18.9	2.3
1年以上継続した運動頻度 週2日未満・わからない ※1	11981	40.7	26.6	19.9	17.4	10.2	8.2	5.6	7.3	7.9	7.9	7.3	6.4	1.1	2.9	1.7	1.5	1.8	14.1	3.1
1年以上運動を継続しなかった・わからない ※1	11203	29.4	37.3	19.7	16.3	13.8	8.3	13.6	9.1	7.9	8.0	7.4	5.5	0.3	2.2	1.5	1.3	1.9	21.3	1.9
する・みる・ささえる ※2	1890	47.1	12.5	19.1	22.2	9.3	7.7	3.1	11.1	10.9	13.0	6.5	8.4	8.5	7.8	2.8	1.9	2.4	6.8	0.6
する・みる ※2	10451	29.1	19.6	21.8	13.6	8.5	9.8	3.9	7.1	6.5	3.9	5.4	6.0	12.3	2.4	1.5	1.8	3.2	16.3	1.3
する・ささえる ※2	130	34.6	13.8	13.8	19.2	8.5	5.4	6.2	3.8	7.7	6.9	3.8	6.9	8.5	3.1	-	0.8	-	19.2	6.2
みる・ささえる ※2	3446	30.2	21.0	14.2	13.3	7.1	6.2	6.2	5.1	5.0	5.2	3.4	4.9	8.9	1.5	1.0	0.7	2.1	21.4	3.5
するのみ ※2	692	54.0	25.1	19.9	26.9	12.7	8.2	6.1	9.8	11.1	16.8	9.5	9.0	-	4.0	1.6	1.4	1.6	6.1	1.4
みるのみ ※2	8581	35.0	36.6	22.1	16.4	13.8	9.0	10.2	9.2	8.5	7.7	9.0	5.8	0.1	2.4	1.6	1.7	1.9	17.1	1.6
ささえるのみ ※2	112	45.5	17.9	15.2	16.1	15.2	6.3	8.0	4.5	11.6	11.6	9.8	4.5	-	0.9	4.5	2.7	-	11.6	17.0
スポーツに参画しなかった ※2	5835	29.1	31.4	13.2	15.4	11.5	5.4	13.2	5.9	5.7	8.0	5.7	4.4	0.2	1.4	1.3	0.8	1.2	25.0	5.5

※1 1日30分以上の軽く汗をかく運動を、1年以上継続した頻度

※2 「する」の割合は、「この1年間に運動やスポーツを実施した日数」で週に1日以上と回答した者の割合

※2 「みる」の割合は、「直接現地」または「テレビやインターネット」のいずれかで観戦と回答した者の割合

※2 「ささえる」の割合は、「運動・スポーツをささえる活動」で「行っていない」と「わからない」を除いた割合

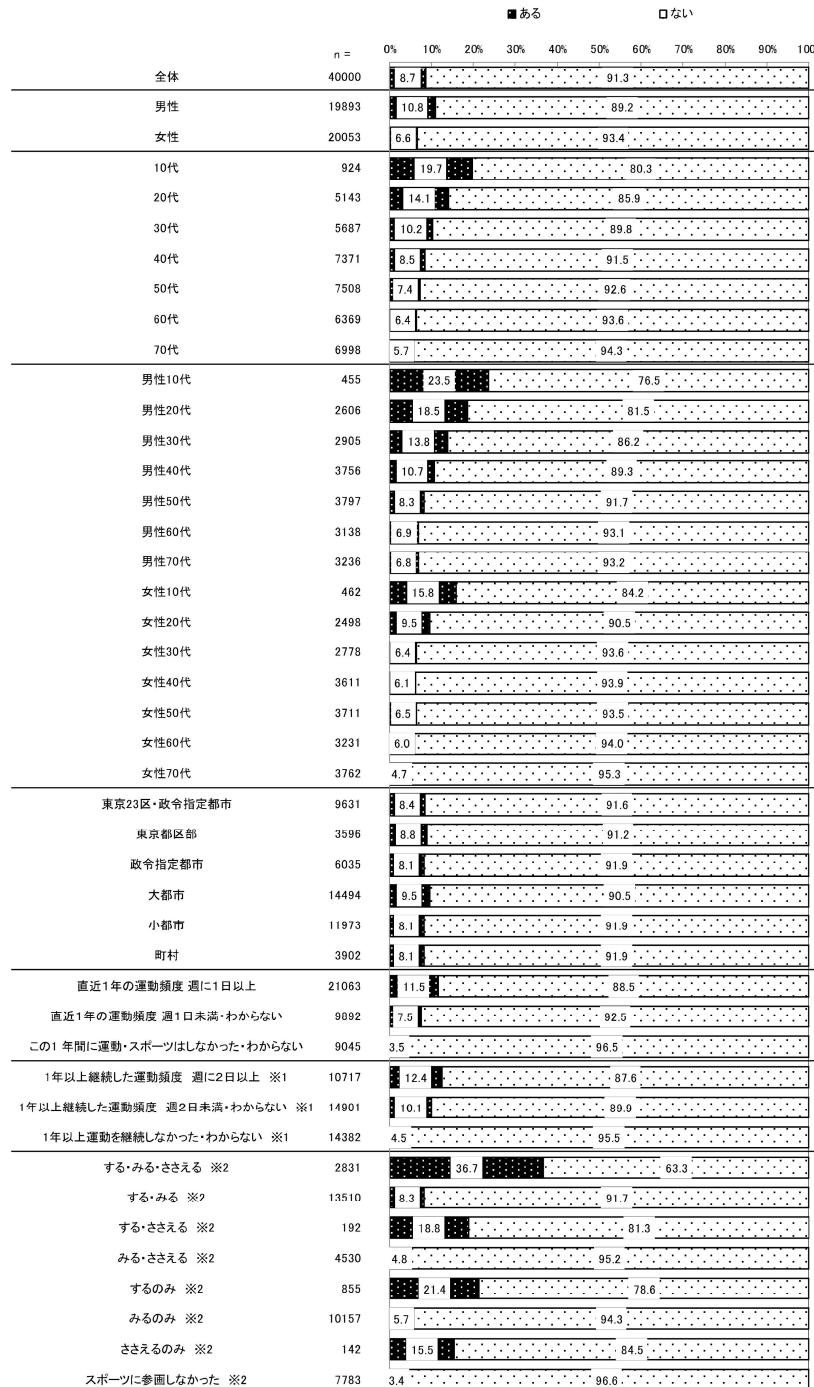
○障がい※のある人・ない人による運動・スポーツ実施有無

障がいのある人とない人で一緒になって、運動・スポーツを実施したことがあるかについて

- ・「ない」人の割合は91.3%、「ある」人は8.7%と大きな差が見られる。
- ・「ある」人の割合は年代別では10代が最も高く、高年代になるにつれ低くなっている。

(「ある」人の運動・スポーツ実施割合は(する・みる・支える)すべてに参画している人の割合が36.7%と最も高い) ※下図を参照

(※障がいは身体障がい、知的障がい、精神障がいの3つに分類し、障がい及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるものとする)



※1 1日30分以上の軽く汗をかく運動を、1年以上継続した頻度  
 ※2 「する」の割合は、「この1年間に運動やスポーツを実施した日数」で週に1日以上と回答した者の割合  
 ※2 「みる」の割合は、「直接現地」または「テレビやインターネット」のいずれかで観戦と回答した者の割合  
 ※2 「ささえる」の割合は、「運動・スポーツをささえる活動」で「行っていない」と「わからない」を除いた割合

図 障がいのある人・ない人による運動・スポーツ実施有無

② スポーツ観戦について—スポーツを「みる」

- ・過去1年間にスポーツを「直接現地」で観戦した割合は26.4%→10代が多い  
テレビやインターネットの割合は67.5%→70代が多い ※次ページ表を参照
- ・直接現地：プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）（13.2%）、Jリーグ（J1、J2、J3）（4.9%）、高校野球（3.8%）

テレビやインターネット：プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）（49.7%）、高校野球（30.9%）、サッカー日本代表（28.6%）

※下図を参照

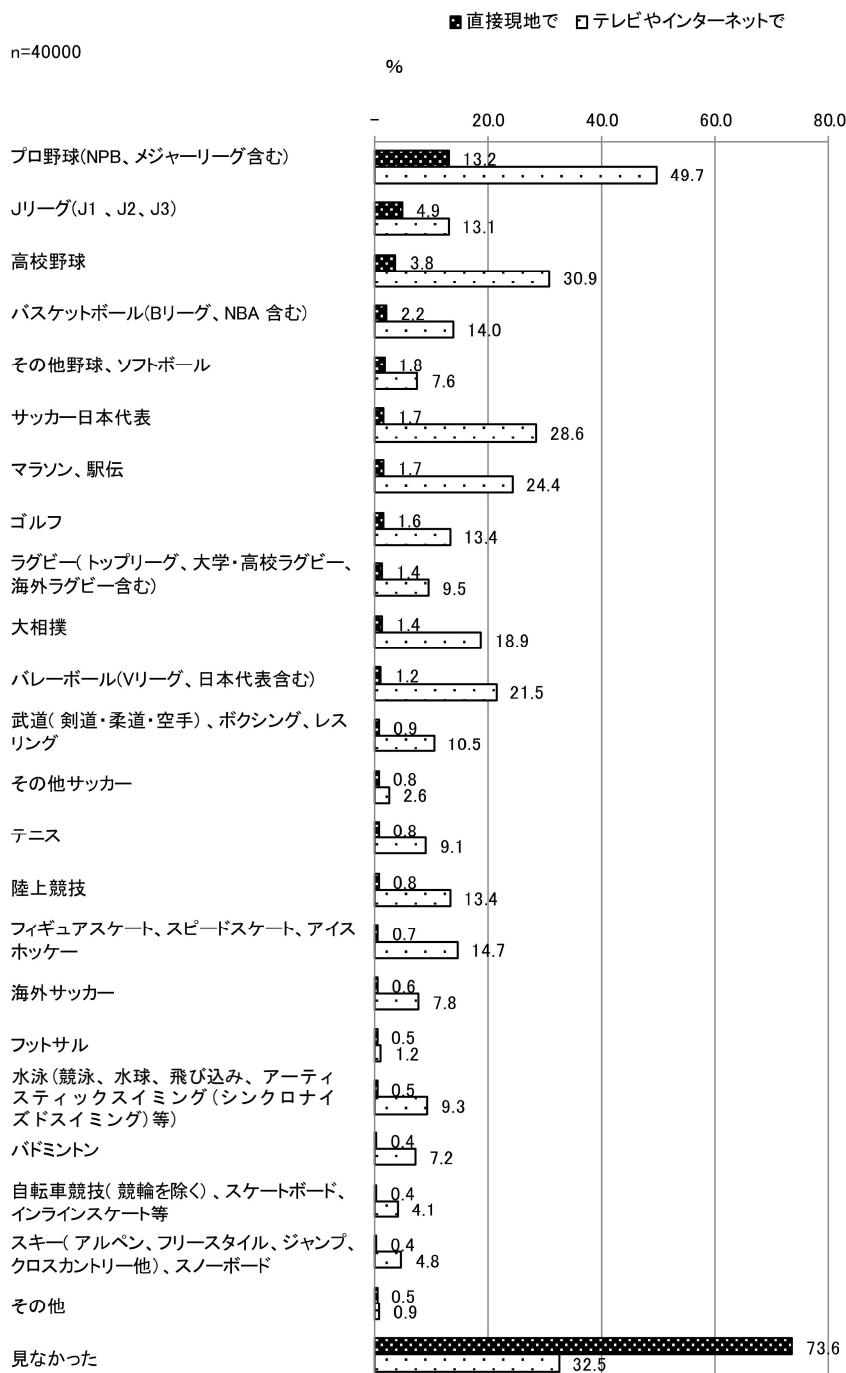


図 この1年間に観戦したスポーツ種目 上位20位抜粋

表 この1年間に観戦したスポーツ種目【直接現地】

	プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）	Jリーグ（J1、J2、J3）	高校野球	バスケットボール（Bリーグ、NBA含む）	その他野球、ソフトボール	サッカー日本代表	マラソン、駅伝	ゴルフ	ラグビー（トップリーグ、大学・高校ラグビー、海外ラグビー含む）	大相撲	バレーボール（Vリーグ、日本代表含む）	武道（剣道・柔道・空手）、ボクシング、レスリング	その他サッカー	テニス	陸上競技	フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー	海外サッカー	フットサル	水泳（競泳、水球、飛び込み、アーティスティックスイミング（シンクロ、水球）等）	バドミントン	自転車競技（競輪を除く）、スケートボード、インラインスケート等	他、スノーボード	スキー（アルペン、フリースタイル、ジャンプ、クロスカントリー）	その他	見なかった	
全体	40000	13.2	4.9	3.8	2.2	1.8	1.7	1.7	1.6	1.4	1.4	1.2	0.9	0.8	0.8	0.8	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	73.6	
男性	19893	17.2	6.8	5.5	2.5	2.5	2.3	2.0	2.5	2.0	1.5	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.6	0.6	0.4	0.5	0.6	0.5	67.4	
女性	20053	9.3	3.0	2.2	2.0	1.1	1.0	1.4	0.7	0.8	1.2	1.3	0.6	0.6	0.6	0.9	0.3	0.3	0.4	0.5	0.3	0.3	0.3	0.5	79.7	
10代	924	19.3	7.5	8.2	3.0	3.5	3.2	2.1	1.4	1.8	1.3	1.8	1.8	2.4	1.4	2.1	0.6	1.8	1.6	1.2	1.4	1.8	1.5	0.5	62.8	
20代	5143	20.1	8.0	5.7	2.5	3.5	3.2	1.3	0.8	1.4	1.0	1.7	0.9	1.4	1.0	0.9	0.8	1.9	1.0	0.7	0.9	0.7	0.9	0.5	64.2	
30代	5687	13.9	6.0	3.7	2.8	2.3	2.1	1.1	0.8	1.1	0.9	1.1	0.8	0.9	0.6	0.7	0.5	1.0	0.8	0.4	0.5	0.5	0.4	0.5	72.7	
40代	7371	12.5	5.4	4.1	2.8	2.1	1.9	1.6	1.1	1.3	1.0	1.1	1.1	0.9	0.7	1.0	0.7	0.5	0.4	0.5	0.4	0.3	0.4	0.6	73.3	
50代	7508	12.7	4.1	3.4	2.2	1.1	1.1	1.7	1.7	1.7	1.2	1.2	0.9	0.6	0.7	0.7	0.6	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5	75.3	
60代	6369	10.9	3.8	2.8	1.7	1.1	1.0	1.9	2.1	1.6	1.7	1.1	0.6	0.5	0.8	0.5	0.9	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.5	76.8	
70代	6998	10.4	2.8	3.2	1.2	1.2	0.9	2.4	2.9	1.3	2.2	1.1	0.7	0.5	1.0	0.8	0.8	0.1	0.1	0.5	0.4	0.2	0.3	0.4	78.2	
男性10代	455	25.9	10.5	11.4	2.9	4.6	4.2	2.0	2.0	2.2	1.5	1.3	2.2	3.1	2.4	1.5	1.1	2.9	2.4	1.3	1.3	2.2	1.0	0.7	56.0	
男性20代	2606	26.2	11.1	7.8	2.6	5.3	4.4	1.6	1.2	1.8	1.3	1.5	1.1	1.7	1.3	1.2	0.8	2.9	1.5	1.0	0.7	0.9	1.1	0.5	55.6	
男性30代	2905	17.7	8.2	5.7	3.1	3.2	3.0	1.6	1.3	1.5	1.2	1.1	1.0	1.3	0.7	1.1	0.6	1.5	1.2	0.6	0.6	0.7	0.5	0.5	66.2	
男性40代	3756	16.3	8.0	5.7	3.0	2.6	2.8	1.9	1.7	1.8	0.9	1.0	1.2	1.0	0.7	1.1	0.4	0.6	0.6	0.6	0.4	0.4	0.5	0.7	67.7	
男性50代	3797	16.2	5.1	4.5	2.5	1.4	1.7	1.8	2.5	2.4	1.4	1.1	1.2	0.7	0.9	0.9	0.3	0.4	0.3	0.4	0.2	0.4	0.4	0.5	70.2	
男性60代	3138	14.1	5.4	4.4	1.9	1.5	1.3	2.0	3.4	2.5	1.8	0.8	0.9	0.7	1.1	0.6	0.5	0.2	0.3	0.3	0.2	0.5	0.7	0.4	71.0	
男性70代	3236	13.4	3.7	4.9	1.5	1.8	1.1	2.9	4.9	2.2	2.6	1.0	1.1	0.5	1.1	1.0	0.5	0.1	0.1	0.5	0.4	0.2	0.4	0.4	72.5	
女性10代	462	12.8	4.5	5.2	3.2	1.9	2.4	2.2	0.9	1.5	1.1	2.4	1.5	1.5	0.4	2.6	0.2	0.6	0.6	1.1	1.3	1.3	1.3	0.4	69.7	
女性20代	2498	13.9	4.8	3.6	2.4	1.7	2.0	0.9	0.4	1.1	0.6	1.9	0.8	0.9	0.6	0.6	0.8	1.0	0.6	0.4	1.0	0.5	0.6	0.5	72.9	
女性30代	2778	9.9	3.7	1.7	2.4	1.4	1.1	0.6	0.3	0.6	0.7	1.0	0.5	0.5	0.4	0.2	0.4	0.5	0.5	0.2	0.5	0.2	0.3	0.4	79.5	
女性40代	3611	8.4	2.7	2.4	2.5	1.5	0.9	1.3	0.6	0.8	1.1	1.2	1.0	0.7	0.8	0.9	1.0	0.3	0.2	0.4	0.4	0.2	0.2	0.6	79.1	
女性50代	3711	9.2	3.1	2.2	2.0	0.7	0.5	1.5	0.8	1.1	0.9	1.3	0.6	0.5	0.5	0.5	0.8	-	0.2	0.3	0.3	0.1	0.1	0.6	80.6	
女性60代	3231	7.8	2.3	1.2	1.6	0.8	0.8	1.8	0.9	0.9	1.6	1.3	0.3	0.2	0.6	0.4	1.3	0.2	0.1	0.3	0.4	0.3	0.2	0.7	82.3	
女性70代	3762	7.8	2.0	1.8	0.9	0.8	0.7	1.9	1.1	0.5	1.9	1.1	0.3	0.5	0.9	0.6	1.1	0.1	0.1	0.5	0.3	0.2	0.2	0.3	83.1	
東京23区・政令指定都市	9631	16.5	6.2	3.6	2.4	1.9	2.0	2.0	1.6	2.1	1.6	1.1	0.9	0.7	0.9	0.7	0.6	0.7	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.7	70.3
東京都区部	3596	14.6	5.5	3.5	2.2	2.0	2.4	2.1	1.6	2.6	1.8	1.2	1.1	0.8	1.2	0.8	0.6	0.9	0.6	0.3	0.4	0.6	0.5	0.8	70.6	
政令指定都市	6035	17.7	6.6	3.6	2.5	1.9	1.7	1.9	1.6	1.8	1.5	1.1	0.7	0.6	0.7	0.7	0.6	0.6	0.3	0.5	0.4	0.3	0.4	0.6	70.0	
大都市	14494	15.0	5.4	4.4	2.5	2.0	1.8	1.9	2.0	1.5	1.5	1.2	0.8	0.8	0.9	0.8	0.8	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	71.2	
小都市	11973	9.8	3.9	3.5	1.8	1.7	1.3	1.4	1.3	1.0	1.1	1.2	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	77.6	
町村	3902	9.1	3.3	3.4	1.7	1.4	1.2	1.3	1.3	0.9	1.0	1.5	1.2	0.7	0.6	1.1	0.6	0.4	0.5	0.5	0.6	0.3	0.4	0.4	78.6	
直近1年の運動頻度 週に1日以上	21063	16.3	6.1	5.0	2.7	2.6	2.2	2.5	2.3	1.9	1.8	1.5	1.2	1.0	1.2	1.1	0.8	0.9	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7	67.4	
直近1年の運動頻度 週1日未満・わからない	9892	12.9	5.2	3.8	2.4	1.5	1.4	1.2	1.3	1.3	1.1	1.2	0.7	0.9	0.5	0.7	0.7	0.6	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	73.5	
この1年間に運動・スポーツはしなかった・わからない	9045	6.5	2.0	1.2	0.9	0.6	0.5	0.4	0.3	0.5	0.6	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2	0.4	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	88.2	
1年以上継続した運動頻度 週に2日以上 ※1	10717	17.2	5.6	5.4	2.6	2.6	2.3	3.1	2.5	1.9	2.2	1.4	1.3	0.8	1.2	1.3	0.8	0.8	0.6	0.8	0.7	0.6	0.6	0.7	66.6	
1年以上継続した運動頻度 週2日未満・わからない ※1	14901	15.6	6.5	4.7	2.7	2.3	2.2	1.7	2.1	1.8	1.4	1.4	0.9	1.1	1.0	0.9	0.8	0.9	0.6	0.5	0.5	0.5	0.6	0.5	68.2	
1年以上運動を継続しなかった・わからない ※1	14382	7.9	2.8	1.8	1.4	0.8	0.6	0.7	0.4	0.7	0.7	0.8	0.5	0.4	0.3	0.3	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.4	84.4	
する・みる・ささえる ※2	2831	37.4	15.0	16.6	7.3	11.5	9.3	6.0	5.3	5.5	3.6	4.0	4.1	4.4	4.3	4.0	2.8	4.5	3.5	2.7	2.7	2.9	3.0	1.6	21.3	
する・みる ※2	13510	17.6	6.3	4.3	2.7	1.6	1.6	2.6	2.5	1.8	2.1	1.4	1.0	0.6	1.0	0.8	0.7	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.4	0.7	65.6	
する・ささえる ※2	192																								100.0	
するのみ ※2	4530																								100.0	
するのみ ※2	855	29.8	15.8	14.9	6.2	8.4	6.9	3.6	3.9	4.6	2.2	4.4	3.2	4.9	2.7	3.3	2.2	3.7	2.7	1.8	1.8	1.8	1.6	1.8	24.8	
みるのみ ※2	10157	15.9	5.5	3.5	2.6	1.2	1.3	1.3	1.2	1.3	1.4	1.3	0.7	0.7	0.5	0.6	0.9	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5	70.0	
ささえるのみ ※2	142																								100.0	
スポーツに参画しなかった ※2	7783																								100.0	

※1 1日30分以上の軽汗をかく運動を、1年以上継続した頻度  
 ※2 「する」の割合は、「この1年間に運動やスポーツを実施した日数」で週に1日以上と回答した者の割合  
 ※2 「みる」の割合は、「直接現地」または「テレビやインターネット」のいずれかで観戦と回答した者の割合  
 ※2 「ささえる」の割合は、「運動・スポーツをささえる活動」で「行っていない」と「わからない」を除いた割合

表 この1年間に観戦したスポーツ種目【テレビやインターネット】

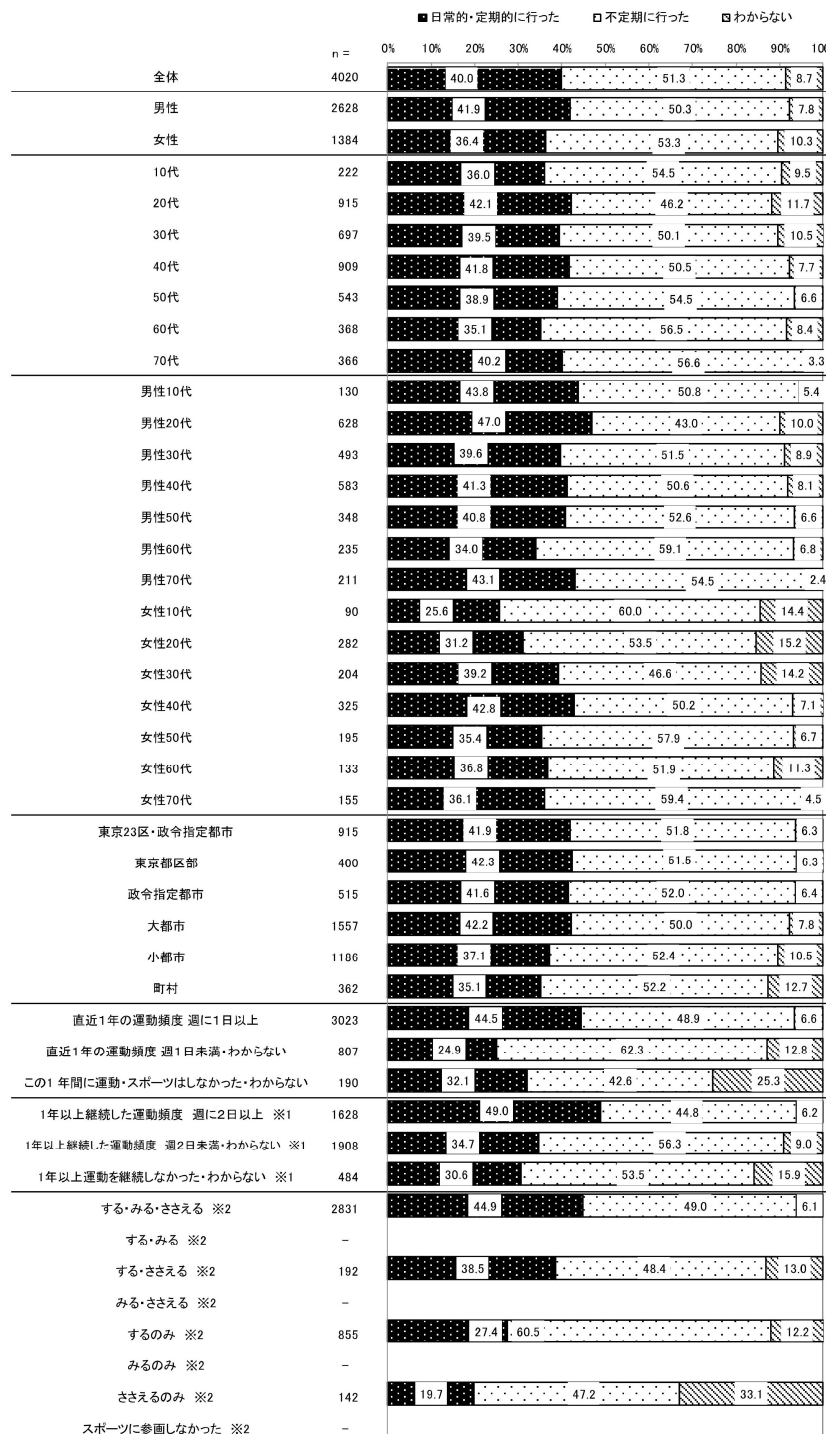
	プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）	高校野球	サッカー日本代表	マラソン、駅伝	バレーボール（Vリーグ、日本代表含む）	大相撲	フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー	バスケットボール（Bリーグ、NBA含む）	ゴルフ	陸上競技	Jリーグ（J1、J2、J3）	武道（剣道・柔道・空手）、ボクシング、レスリング	ラグビー（トップリーグ、大学・高校ラグビー、海外ラグビー含む）	水泳（競泳、水球、飛び込み、アーティスティックスイミング（シンクロ）等）	テニス	体操・新体操	海外サッカー	その他野球、ソフトボール	バドミントン	その他	見なかった	
全体	40000	49.7	30.9	28.6	24.4	21.5	18.9	14.7	14.0	13.4	13.1	10.5	9.5	9.3	9.1	8.4	7.8	7.6	7.2	0.9	32.5	
男性	19893	58.1	36.2	37.1	26.2	18.5	23.2	10.3	14.5	18.9	15.0	18.9	13.0	13.6	8.5	9.9	7.1	12.4	10.5	7.4	1.0	25.7
女性	20053	41.5	25.7	20.1	22.6	24.6	14.6	19.1	13.6	8.0	11.9	7.4	8.0	5.5	10.2	8.2	9.8	3.2	4.8	7.0	0.8	39.1
10代	924	34.1	26.5	19.0	11.5	19.7	6.9	6.6	11.3	5.1	7.1	11.8	7.1	4.3	7.7	6.4	4.8	10.1	8.9	7.7	0.6	38.0
20代	5143	35.2	23.0	19.3	10.4	15.7	5.1	4.6	10.2	4.2	6.4	11.0	5.2	3.9	4.8	4.2	3.3	8.4	7.3	4.3	0.4	42.3
30代	5687	38.4	25.0	22.7	12.8	15.4	8.5	5.6	12.3	6.8	7.7	12.5	6.5	5.7	6.0	5.4	4.4	9.2	7.3	4.4	0.7	42.9
40代	7371	43.6	28.2	27.6	17.5	17.7	12.8	9.1	13.8	9.2	10.3	12.7	9.2	7.5	7.2	6.6	5.7	8.8	7.4	5.1	0.9	37.6
50代	7508	51.7	31.9	29.2	23.9	22.5	17.1	13.9	13.7	13.4	12.7	12.0	11.6	10.3	7.8	8.7	7.5	7.0	7.1	6.6	1.1	32.6
60代	6369	60.4	35.3	35.4	33.8	27.2	27.3	22.4	17.0	19.8	18.4	15.1	13.8	14.2	12.7	12.6	13.0	6.9	7.5	10.2	1.1	23.9
70代	6998	66.2	40.0	35.5	44.9	28.6	39.6	30.5	16.6	25.2	23.3	14.9	15.1	14.4	16.5	15.8	15.5	6.5	8.7	11.5	0.8	18.2
男性10代	455	39.8	28.8	22.9	10.5	14.1	8.4	5.7	11.6	5.7	7.7	15.6	7.8	4.6	7.9	7.5	4.2	14.1	11.9	7.5	0.9	34.5
男性20代	2606	42.1	26.7	24.9	10.7	11.5	6.9	3.4	10.8	5.4	7.6	15.3	6.1	4.6	4.5	5.8	2.8	12.5	9.9	4.5	0.5	34.9
男性30代	2905	46.6	31.0	30.3	14.8	13.7	11.3	4.5	13.6	9.7	9.8	18.3	7.7	8.3	6.1	7.4	4.7	15.1	10.4	5.1	0.7	34.0
男性40代	3756	53.2	32.8	37.0	19.4	15.9	16.3	6.3	15.7	13.6	12.0	20.0	11.4	10.8	7.0	7.9	5.1	14.6	9.7	5.6	1.1	29.1
男性50代	3797	60.3	36.7	38.1	25.9	18.9	21.1	8.8	13.4	18.5	14.6	16.7	14.4	14.7	7.0	8.9	6.1	11.0	9.6	6.6	1.3	25.8
男性60代	3138	68.9	41.3	46.3	35.7	23.2	34.3	15.1	16.2	27.8	19.2	21.5	16.9	20.7	10.9	12.7	10.6	10.9	10.3	9.7	1.2	18.7
男性70代	3236	76.3	48.1	45.3	50.0	26.8	49.2	23.5	17.1	37.5	26.4	21.3	20.3	22.2	15.3	16.6	13.0	10.1	12.9	12.3	0.7	12.3
女性10代	462	28.8	24.2	15.4	12.3	25.1	5.4	7.4	11.0	4.5	6.7	8.0	6.9	4.1	7.6	5.4	5.4	6.3	6.1	7.6	0.4	41.8
女性20代	2498	28.3	19.3	13.6	10.1	20.4	3.2	5.9	9.6	3.0	5.3	6.6	4.3	3.2	5.1	2.6	3.8	4.1	4.6	4.1	0.4	49.7
女性30代	2778	29.9	18.7	14.8	10.6	17.1	5.7	6.8	10.9	3.8	5.5	6.4	5.2	3.1	5.9	3.3	4.1	3.0	4.1	3.7	0.6	52.2
女性40代	3611	33.6	23.3	17.9	15.5	19.6	9.2	12.1	11.9	4.7	8.6	5.2	6.9	4.1	7.4	5.1	6.4	2.7	4.9	4.6	0.8	46.5
女性50代	3711	42.9	26.9	20.2	21.8	26.3	13.1	19.0	13.9	8.1	10.9	7.2	8.8	5.8	8.5	8.5	8.9	2.8	4.5	6.7	0.9	39.6
女性60代	3231	52.2	29.4	24.9	31.9	31.2	20.6	29.4	17.7	12.0	17.7	8.9	10.8	8.0	14.5	12.5	15.3	3.1	4.9	10.7	1.1	29.0
女性70代	3762	57.5	33.0	27.1	40.5	30.1	31.3	36.5	16.3	14.6	20.7	9.3	10.7	7.7	17.5	15.1	17.7	3.4	5.2	10.9	0.9	23.2
東京23区・政令指定都市	9631	52.1	30.6	31.4	26.3	21.0	18.9	15.5	14.0	14.0	14.5	14.8	10.4	10.7	10.4	10.0	8.9	9.0	7.3	7.8	1.0	30.0
東京都区部	3596	47.5	27.5	30.0	24.6	18.3	18.1	14.5	13.2	13.3	12.6	12.1	10.1	10.8	9.6	10.5	8.0	9.7	6.9	6.9	1.0	32.8
政令指定都市	6035	54.8	32.4	32.2	27.3	22.7	19.3	16.1	14.5	14.4	15.6	16.4	10.6	10.7	10.8	9.7	9.4	8.5	7.6	8.3	1.0	28.4
大都市	14494	53.0	33.1	30.6	26.0	21.5	20.5	15.5	14.5	14.9	13.9	13.8	11.2	10.7	9.9	10.0	8.7	8.6	8.4	7.5	0.8	29.3
小都市	11973	46.0	29.5	25.9	22.2	21.8	17.5	13.9	13.8	12.0	12.3	11.7	9.9	7.8	8.4	7.8	8.0	6.4	7.1	6.8	0.9	36.0
町村	3902	43.1	28.1	22.5	20.2	21.7	17.1	12.4	13.2	10.7	12.1	10.1	9.8	7.5	7.5	7.0	7.4	5.9	6.8	5.9	0.5	39.3
直近1年の運動頻度 週に1日以上	21063	56.5	35.8	33.7	30.1	24.9	23.6	18.6	16.9	17.1	16.9	15.6	12.6	12.2	12.1	11.8	10.3	9.5	9.2	9.0	1.0	23.2
直近1年の運動頻度 週1日未満・わからない	9892	48.2	30.7	27.9	21.2	21.4	15.6	11.5	13.6	12.4	11.4	12.6	9.6	8.1	7.6	7.2	7.3	7.7	7.0	6.4	0.7	33.6
この1年間に運動・スポーツはしなかった・わからない	9045	35.7	19.6	17.4	14.5	13.8	11.5	9.3	7.8	5.9	7.4	7.6	6.5	4.8	4.9	4.6	5.2	3.8	4.4	3.8	0.6	52.8
1年以上継続した運動頻度 週に2日以上 ※1	10717	58.6	36.6	34.4	32.6	24.5	25.6	19.1	17.0	18.3	18.3	16.1	13.4	13.4	13.0	12.8	11.0	9.6	9.4	9.8	1.1	22.3
1年以上継続した運動頻度 週2日未満・わからない ※1	14901	51.6	33.3	31.1	24.6	22.7	18.6	14.2	15.3	15.1	13.5	14.8	10.7	10.0	9.1	9.4	8.4	9.2	8.8	7.4	0.8	28.3
1年以上運動を継続しなかった・わからない ※1	14382	41.3	24.1	21.6	18.0	18.0	14.1	12.0	10.5	8.0	9.6	9.0	8.1	6.1	6.8	5.9	6.6	4.9	5.0	5.1	0.8	44.4
する・みる ※2	2831	60.3	41.3	39.8	29.3	27.8	23.0	17.6	22.7	20.3	19.1	25.4	16.3	16.1	15.0	17.0	11.9	17.2	19.0	13.0	1.3	1.2
する・みる ※2	13510	75.5	47.2	44.2	40.8	32.9	31.9	25.3	21.6	22.4	22.3	19.0	16.2	15.7	15.7	14.9	13.6	11.2	10.4	11.4	1.4	1.0
する・ささえる ※2	192																					100.0
みる・ささえる ※2	4530																					100.0
するのみ ※2	855	59.2	43.4	37.5	25.6	29.0	18.9	14.4	21.6	15.1	15.0	22.8	14.0	13.5	10.9	10.3	10.4	16.1	13.6	9.9	1.1	1.6
みるのみ ※2	10157	73.7	43.7	39.5	31.4	30.7	23.9	18.2	18.4	16.1	16.5	17.2	13.9	11.0	10.9	10.3	10.9	9.6	9.6	8.7	1.2	1.5
ささえるのみ ※2	142																					100.0
スポーツに参画しなかった ※2	7783																					100.0

※1 1日30分以上の軽く汗をかく運動を、1年以上継続した頻度  
 ※2 「する」の割合は、「この1年間に運動やスポーツを実施した日数」で週に1日以上と回答した者の割合  
 ※2 「みる」の割合は、「直接現地」または「テレビやインターネット」のいずれかで観戦と回答した者の割合  
 ※2 「ささえる」の割合は、「運動・スポーツをささえる活動」で「行っていない」と「わからない」を除いた割合

### ③ スポーツを支える活動について—スポーツを「支える」

#### ○支援活動の実施状況

- ・全体では運動・スポーツを支える活動を「日常的・定期的に行った」割合は40.0%「不定期に行った」割合を含めると91.3%を占めている。
- ・性別、年代別では男性の方が支援活動を行った割合が高く、「日常的・定期的に行った」割合は全体で20代が最も高い割合を占めている。 ※下図を参照



※1 1日30分以上の軽く汗をかく運動を、1年以上継続した頻度

※2 「する」の割合は、「この1年間に運動やスポーツを実施した日数」で週に1日以上と回答した者の割合

※2 「みる」の割合は、「直接現地」または「テレビやインターネット」のいずれかで観戦と回答した者の割合

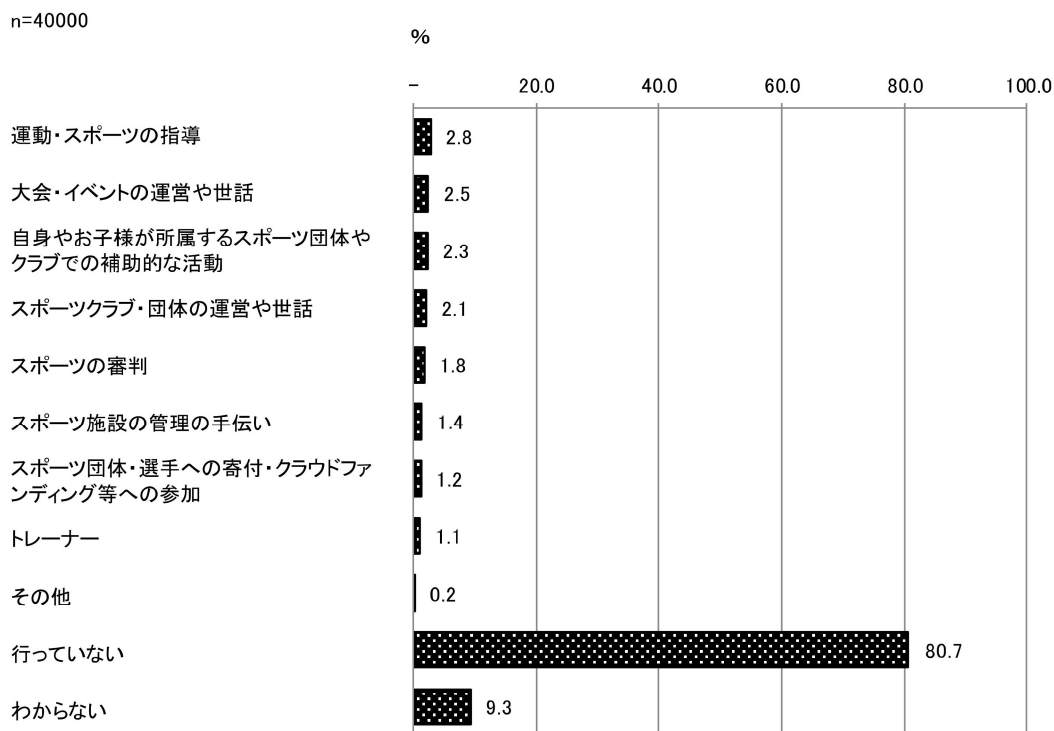
※2 「ささえる」の割合は、「運動・スポーツをささえる活動」で「行ってない」と「わからない」を除いた割合

図 運動・スポーツを支える活動の実施頻度

○支援活動の内容

- ・「運動・スポーツの指導」(2.8%)が最も多く、次いで「大会・イベントの運営や世話」(2.5%)、「自身やお子様が所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動」(2.3%)
- ・ほぼすべての支援活動において男性の割合が高く、「自身やお子様~~が所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動~~」は40代で割合が高い。

※次ページ表を参照



※スポーツイベントでの募金やオークションなどのチャリティ活動含む

図 この1年間の「運動・スポーツを支える活動」への参加有無

表 この1年間の「運動・スポーツを支える活動」への参加有無

	n =											%	
		運動・スポーツの指導	大会・イベントの運営や世話	自身やお子様所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動	スポーツクラブ・団体の運営や世話	スポーツの審判	スポーツ施設の管理の手伝い	スポーツイベントでの募金やオークションなどのチャリティ活動含む	スポーツ団体・選手への寄付・クラウドファンディング等への参加	トレーナー	その他	行っていない	わからない
全体	40000	2.8	2.5	2.3	2.1	1.8	1.4	1.2	1.1	0.2	80.7	9.3	
男性	19893	4.3	3.3	2.4	2.9	2.9	2.0	1.4	1.6	0.2	77.9	8.9	
女性	20053	1.3	1.6	2.1	1.2	0.6	0.8	0.9	0.6	0.3	83.5	9.6	
10代	924	6.5	9.4	3.5	6.0	5.4	3.4	1.9	3.2	0.6	63.9	12.1	
20代	5143	4.7	5.0	2.9	4.3	3.5	3.8	1.8	2.8	0.2	69.6	12.6	
30代	5687	3.5	2.4	3.0	2.7	2.3	1.9	1.3	1.8	0.2	75.5	12.3	
40代	7371	3.4	2.4	4.3	2.2	2.1	1.4	1.3	1.1	0.1	77.6	10.0	
50代	7508	1.9	1.7	1.8	1.1	1.2	0.7	1.1	0.6	0.3	83.8	9.0	
60代	6369	1.9	1.6	0.7	1.2	1.0	0.5	0.8	0.3	0.3	87.3	7.0	
70代	6998	1.3	1.5	0.8	1.2	0.6	0.5	0.9	0.2	0.3	89.3	5.5	
男性10代	455	9.9	10.1	3.5	7.0	7.9	3.7	2.6	4.4	-	58.9	12.5	
男性20代	2606	7.4	6.8	4.0	6.0	5.8	5.4	2.0	4.0	-	64.4	11.6	
男性30代	2905	5.7	3.2	3.4	4.0	3.7	2.8	1.7	2.8	0.2	70.9	12.1	
男性40代	3756	5.4	3.2	3.8	3.0	3.6	2.1	1.8	1.6	0.1	74.4	10.0	
男性50代	3797	3.0	2.2	1.6	1.7	2.1	0.9	0.9	0.8	0.4	82.5	8.3	
男性60代	3138	2.7	2.0	0.6	1.8	1.5	0.7	1.1	0.3	0.3	86.2	6.3	
男性70代	3236	1.5	2.3	1.2	1.4	0.7	0.8	1.1	0.2	0.2	88.5	5.0	
女性10代	462	3.2	8.7	3.5	4.8	3.0	2.8	1.3	2.2	1.3	68.8	11.7	
女性20代	2498	2.0	3.2	1.6	2.5	1.2	2.2	1.6	1.6	0.3	75.3	13.4	
女性30代	2778	1.2	1.5	2.7	1.3	0.8	1.0	0.8	0.7	0.3	80.3	12.4	
女性40代	3611	1.3	1.5	4.9	1.3	0.5	0.7	0.9	0.6	0.2	81.0	10.0	
女性50代	3711	0.8	1.2	2.0	0.6	0.4	0.5	1.2	0.4	0.3	85.1	9.7	
女性60代	3231	1.1	1.1	0.8	0.6	0.5	0.3	0.6	0.3	0.3	88.3	7.6	
女性70代	3762	1.2	0.8	0.5	1.0	0.5	0.2	0.7	0.2	0.3	90.0	5.9	
東京23区・政令指定都市	9631	2.8	2.0	2.1	2.0	1.6	1.3	1.2	1.1	0.3	82.3	8.2	
東京都区部	3596	3.6	2.1	2.0	2.3	1.6	1.5	1.6	1.6	0.5	79.8	9.0	
政令指定都市	6035	2.3	2.0	2.1	1.8	1.5	1.2	0.9	0.8	0.2	83.8	7.7	
大都市	14494	3.1	2.7	2.3	2.3	2.0	1.5	1.3	1.3	0.2	80.9	8.3	
小都市	11973	2.5	2.6	2.2	1.9	1.6	1.4	1.1	0.9	0.3	79.9	10.2	
町村	3902	2.3	2.4	2.5	1.9	1.7	1.0	1.1	1.0	0.2	78.2	12.6	
直近1年の運動頻度 週に1日以上	21063	4.4	3.7	2.9	3.1	2.8	2.2	1.6	1.7	0.3	78.5	7.2	
直近1年の運動頻度 週1日未満・わからない	9892	1.5	1.8	2.3	1.5	1.1	0.9	1.1	0.7	0.3	80.2	11.7	
この1年間に運動・スポーツはしなかった・わからない	9045	0.3	0.4	0.8	0.2	0.1	0.1	0.3	0.1	0.1	86.5	11.4	
1年以上継続した運動頻度 週に2日以上 ※1	10717	5.3	3.7	2.7	3.5	3.1	2.3	1.6	1.9	0.3	77.3	7.5	
1年以上継続した運動頻度 週2日未満・わからない ※1	14901	3.2	3.3	3.0	2.5	2.2	1.8	1.5	1.4	0.3	76.5	10.7	
1年以上運動を継続しなかった・わからない ※1	14382	0.5	0.7	1.2	0.5	0.3	0.3	0.5	0.2	0.1	87.5	9.1	
する・みる・ささえる ※2	2831	29.9	25.8	20.7	22.5	20.2	15.6	11.9	11.3	2.3	-	-	
する・みる ※2	13510	-	-	-	-	-	-	-	-	-	93.2	6.8	
する・ささえる ※2	192	43.2	22.4	14.6	10.9	6.8	5.7	2.1	19.8	2.6	-	-	
みる・ささえる ※2	4530	-	-	-	-	-	-	-	-	-	86.8	13.2	
するのみ ※2	855	17.5	22.0	30.8	18.1	13.1	10.3	13.5	6.5	2.5	-	-	
みるのみ ※2	10157	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90.7	9.3	
ささえるのみ ※2	142	23.2	19.7	21.8	11.3	6.3	9.9	13.4	13.4	6.3	-	-	
スポーツに参画しなかった ※2	7783	-	-	-	-	-	-	-	-	-	84.0	16.0	

※1 1日30分以上の軽く汗をかく運動を、1年以上継続した頻度  
 ※2 「する」の割合は、「この1年間に運動やスポーツを実施した日数」で週に1日以上と回答した者の割合  
 ※2 「みる」の割合は、「直接現地」または「テレビやインターネット」のいずれかで観戦と回答した者の割合  
 ※2 「ささえる」の割合は、「運動・スポーツをささえる活動」で「行っていない」と「わからない」を除いた割合

○支援活動を行うきっかけや動機づけ

- ・「好きなスポーツの普及・支援」(17.2%)が最も高く、次いで「特に動機づけは必要ない」(12.9%)、「出会い・交流の場」(11.9%)
- ・「好きなスポーツの普及・支援」や「出会い・交流の場」は比較的若い年代で割合が高い傾向にある。

※次ページ図を参照

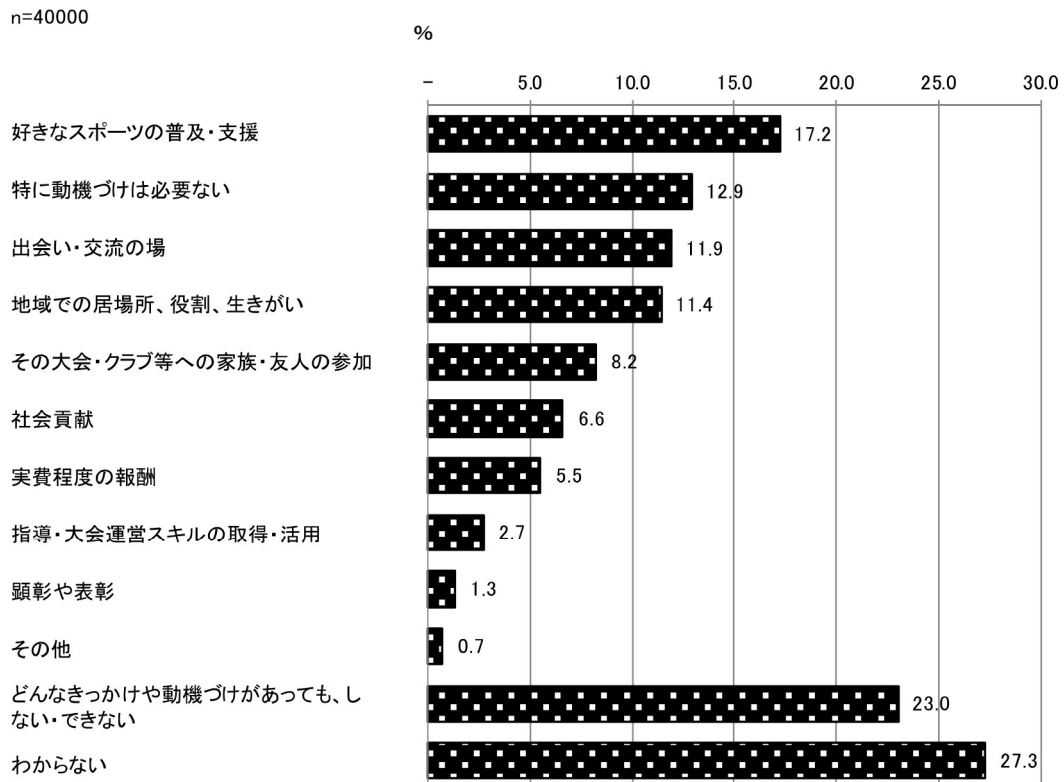


図 運動・スポーツを支える活動を行うきっかけや動機づけ

表 運動・スポーツを支える活動を行うきっかけや動機づけ

96

	n =	好きなスポーツの普及・支援	特に動機づけは必要ない	出会い・交流の場	地域での居場所、役割、生きがい	その大会・クラブ等への家族・友人の参加	社会貢献	実費程度の報酬	指導・大会運営スキルの取得・活用	顕彰や表彰	その他	あっても、しなない・できない	わからない
全体	40000	17.2	12.9	11.9	11.4	8.2	6.6	5.5	2.7	1.3	0.7	23.0	27.3
男性	19893	20.7	12.5	14.1	13.1	7.4	8.2	6.2	3.6	1.9	0.6	20.9	25.7
女性	20053	13.8	13.2	9.8	9.7	9.0	5.0	4.8	1.7	0.7	0.8	25.0	28.8
10代	924	29.4	7.9	19.4	14.8	12.1	11.3	11.1	7.1	4.8	0.3	17.9	20.1
20代	5143	21.0	9.5	16.3	12.7	9.3	7.4	9.2	5.9	3.6	0.3	22.2	22.6
30代	5687	18.9	10.8	14.2	12.2	9.1	6.3	7.8	3.5	2.3	0.8	22.8	25.1
40代	7371	17.7	12.6	12.2	11.4	8.9	5.9	5.8	2.7	1.0	0.7	22.4	27.3
50代	7508	16.3	13.7	9.9	10.3	7.6	6.2	4.7	1.7	0.6	0.9	21.7	30.3
60代	6369	16.0	14.4	10.2	11.3	7.0	7.0	3.8	1.7	0.4	0.7	22.1	30.0
70代	6998	13.1	15.7	9.3	10.7	7.4	6.5	2.4	1.1	0.3	0.7	27.0	27.7
男性10代	455	30.8	9.0	18.7	14.5	10.3	12.1	11.9	8.4	5.7	0.4	17.4	18.9
男性20代	2606	24.2	9.6	17.6	15.3	9.5	9.5	10.5	7.9	5.3	0.3	19.2	20.4
男性30代	2905	22.9	10.4	16.0	13.7	9.0	8.2	9.0	4.5	3.0	0.7	20.8	22.9
男性40代	3756	22.0	12.3	15.7	13.4	7.4	7.6	6.7	3.9	1.6	0.6	19.4	25.4
男性50代	3797	19.3	13.7	12.2	11.7	6.1	7.0	4.7	2.4	0.8	0.8	20.1	28.9
男性60代	3138	19.2	14.0	11.7	12.4	5.6	8.5	3.9	2.2	0.4	0.8	21.3	28.8
男性70代	3236	15.9	14.8	11.7	12.6	7.3	8.2	3.0	1.4	0.4	0.6	24.9	26.9
女性10代	462	28.4	6.5	20.3	14.9	14.1	10.6	10.4	5.4	3.7	0.2	18.4	21.4
女性20代	2498	17.7	9.6	15.0	10.1	9.0	5.2	8.0	3.8	1.9	0.4	25.3	24.5
女性30代	2778	14.6	11.2	12.4	10.5	9.1	4.2	6.5	2.4	1.5	0.8	24.8	27.4
女性40代	3611	13.3	13.0	8.6	9.3	10.4	4.1	4.9	1.4	0.4	0.9	25.5	29.3
女性50代	3711	13.2	13.6	7.6	8.8	9.1	5.3	4.7	0.9	0.3	1.0	23.4	31.7
女性60代	3231	12.8	14.8	8.7	10.3	8.4	5.4	3.7	1.2	0.3	0.6	22.8	31.2
女性70代	3762	10.7	16.5	7.2	9.1	7.5	5.0	1.8	0.8	0.1	0.7	28.9	28.3
東京23区・政令指定都市	9631	17.7	13.7	12.6	11.4	8.6	7.1	6.3	2.5	1.2	0.9	23.1	25.7
東京都区部	3596	17.2	13.1	13.4	11.7	8.4	7.6	6.8	3.0	1.4	1.1	22.1	26.3
政令指定都市	6035	18.0	14.1	12.1	11.2	8.6	6.7	6.0	2.3	1.0	0.7	23.7	25.3
大都市	14494	18.7	12.7	12.5	12.0	8.4	7.2	6.0	3.1	1.6	0.6	21.7	26.6
小都市	11973	15.7	12.7	11.2	10.9	7.9	5.8	4.7	2.4	1.2	0.6	23.9	28.3
町村	3902	15.1	12.2	10.4	10.7	7.8	5.6	4.5	2.5	1.1	0.5	24.3	30.4
直近1年の運動頻度 週に1日以上	21063	22.5	13.7	15.1	15.0	10.4	9.1	6.7	4.0	1.8	0.7	17.4	22.8
直近1年の運動頻度 週1日未満・わからない	9892	16.4	13.5	11.7	11.0	8.1	5.7	5.8	2.0	1.2	0.9	19.8	29.9
この1年間に運動・スポーツはしなかった・わからない	9045	5.8	10.2	4.7	3.5	3.2	1.8	2.5	0.5	0.3	0.5	39.2	34.9
1年以上継続した運動頻度 週に2日以上 ※1	10717	22.8	14.3	14.5	14.7	9.5	9.0	5.7	4.3	1.7	0.7	17.4	23.5
1年以上継続した運動頻度 週2日未満・わからない ※1	14901	21.0	12.9	14.3	13.7	9.3	7.9	6.5	3.2	1.8	0.8	16.5	27.2
1年以上運動を継続しなかった・わからない ※1	14382	9.2	11.9	7.5	6.6	6.1	3.4	4.3	1.0	0.4	0.6	33.8	30.2
する・みる・ささえる ※2	2831	50.8	5.2	28.4	32.1	21.5	21.0	11.4	17.3	8.2	0.8	0.2	3.0
する・みる ※2	13510	22.0	15.2	14.7	14.3	10.0	8.6	6.6	2.1	0.9	0.6	16.6	23.7
する・ささえる ※2	192	28.6	14.6	17.2	20.8	13.0	8.3	7.8	9.4	4.2	2.6	-	13.0
みる・ささえる ※2	4530	5.9	14.6	7.9	6.2	4.7	3.0	4.0	0.8	0.5	0.6	31.5	32.6
するのみ ※2	855	40.8	7.5	20.7	24.0	23.0	17.4	9.5	9.9	6.4	1.1	0.5	7.4
みるのみ ※2	10157	15.4	14.6	10.5	9.4	7.1	4.6	4.8	1.2	0.6	0.8	22.3	30.3
ささえるのみ ※2	142	18.3	9.9	14.8	11.3	14.1	9.9	10.6	5.6	5.6	0.7	2.1	25.4
スポーツに参画しなかった ※2	7783	2.7	9.0	4.1	2.9	2.1	1.2	2.8	0.3	0.2	0.5	41.6	37.7

※1 1日30分以上の軽く汗をかく運動を、1年以上継続した頻度

※2 「する」の割合は、「この1年間に運動やスポーツを実施した日数」で週に1日以上と回答した者の割合

※2 「みる」の割合は、「直接現地」または「テレビやインターネット」のいずれかで観戦と回答した者の割合

※2 「ささえる」の割合は、「運動・スポーツをささえる活動」で「行っていない」と「わからない」を除いた割合

#### ④ スポーツ全体に対する価値と幸福感

・この1年間でスポーツを「する」「みる」「支える」のいずれかに参画した者の割合は80.6%\*1（男性 85.0%、女性 76.3%）※当調査スポーツ庁報道発表資料より

（※「する」の割合は、「この1年間に運動やスポーツを実施した日数」で週1日以上と回答した者の割合  
「みる」の割合は、“直接現地で”または“テレビやインターネットで”のいずれかで観戦した者の割合  
「支える」の割合は、「運動・スポーツを支える活動」で「行っていない」と「分からない」を除いた割合）

・スポーツへの参画の仕方によって幸福感に差があり、複合的な参画ほど幸福感が高まる傾向が見られ、「する・みる・支える」すべてに参画した者は、日常生活の幸福感（7.7点/10点満点）が最も高い。\*2※次ページ図を参照

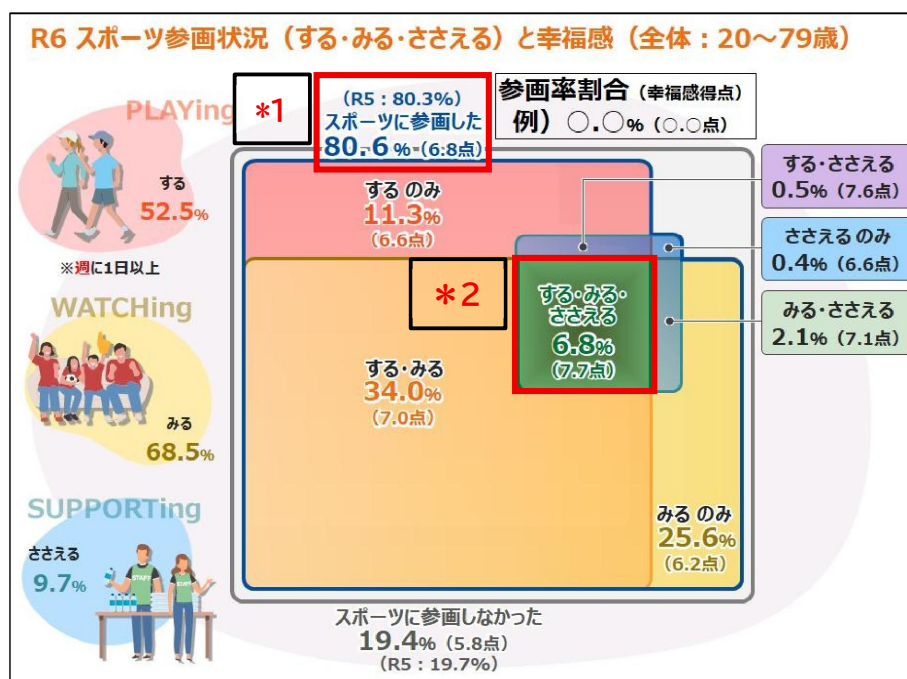
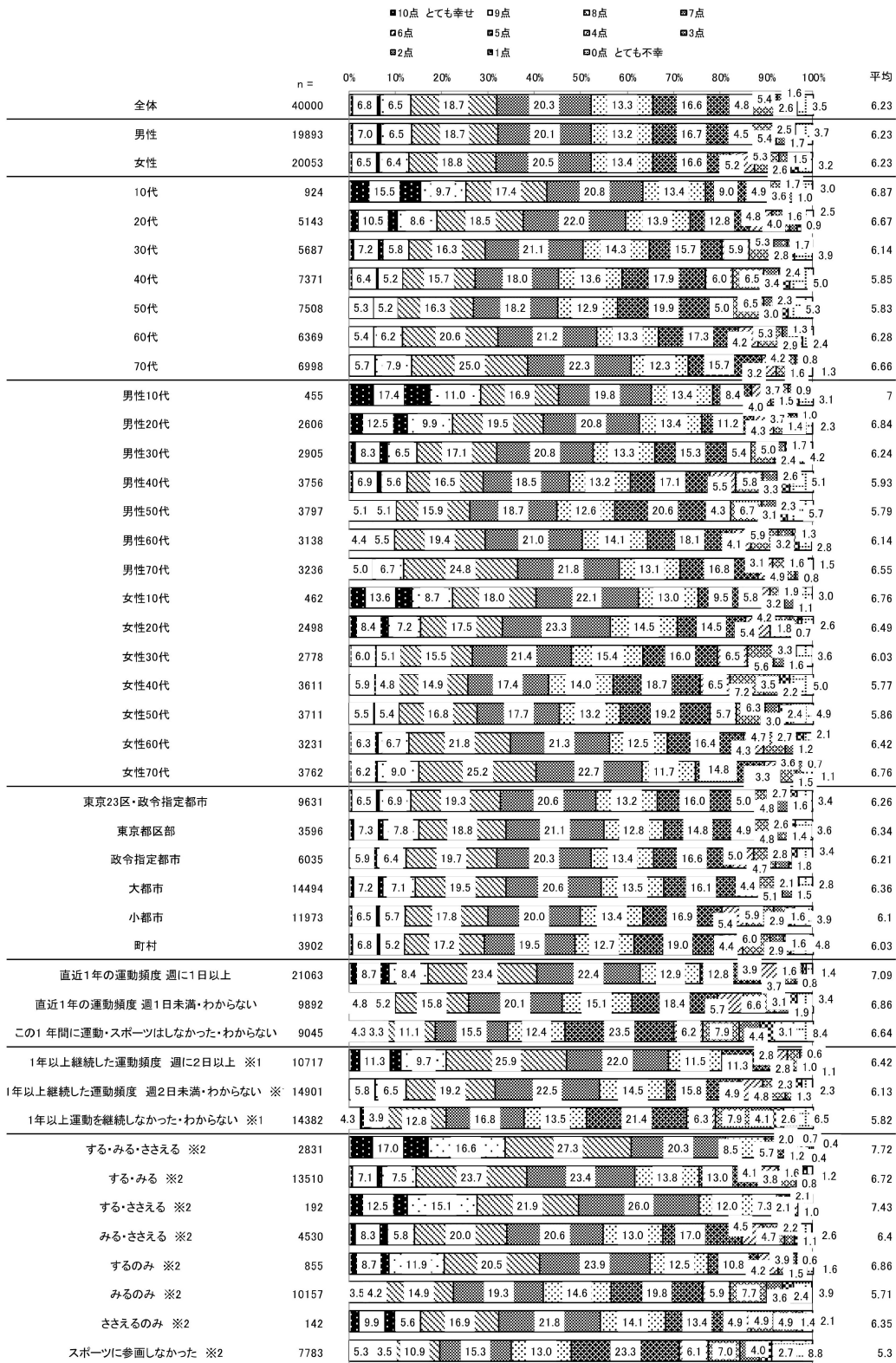


図 スポーツの参画状況と幸福感について



※1 1日30分以上の軽く汗をかく運動を、1年以上継続した頻度  
 ※2 「する」の割合は、「この1年間に運動やスポーツを実施した日数」で週に1日以上と回答した者の割合  
 ※2 「みる」の割合は、「直接現地」または「テレビやインターネット」のいずれかで観戦と回答した者の割合  
 ※2 「ささえる」の割合は、「運動・スポーツをささえる活動」で「行っていない」と「わからない」を除いた割合

図 日常生活における充実感

## 2.2.2 スポーツライフに関する調査 2024（笹川スポーツ財団：令和6年6月実施）

### (1) 目的

平成4年を第1回として今回で17回目となる統計的調査研究で、成人の運動・スポーツ実施状況を把握する。

### (2) 調査内容

過去1年間の運動・スポーツ実施種目／実施頻度／実施時間／実施強度、スポーツクラブ、スポーツ観戦、スポーツボランティア、日常の身体活動（GPAQ）、生活習慣など

### (3) 調査対象

全国の市区町村に居住する満18歳以上の男女3,000人

### (4) 運動・スポーツ実施率

#### ① 現状・傾向

- ・年1回以上の実施率は69.8%（平成18年以來の6割台）\*1
- ・アクティブ・スポーツ人口（週2回以上、1回30分以上、運動強度「ややきつい」以上で実施する層）は18.3%で微減傾向にある。\*2

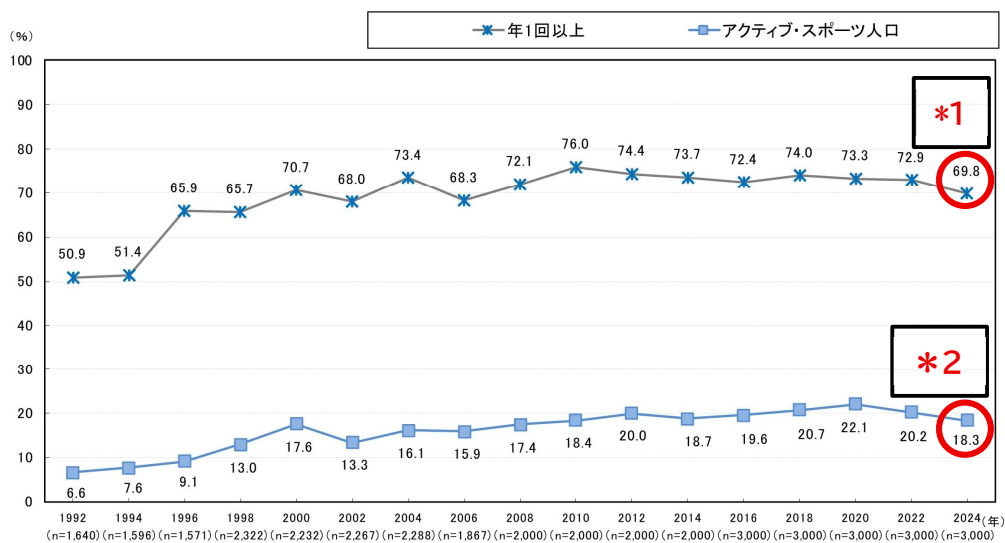


図 運動・スポーツ実施率の年次推移

#### ② 種目別：

- ・1位：散歩（ぶらぶら歩き）、2位：ウォーキング、3位：体操（軽い体操、ラジオ体操など）、4位：筋力トレーニング、5位：ジョギング・ランニングの結果となり、2022年から変動はなかった。※スポーツライフ・データ 2024（速報値）より

表 年1回以上の種目別運動・スポーツ実施率及び推計人口

順位	実施種目	実施率 (%)	推計人口 (万人)	順位	実施種目	実施率 (%)	推計人口 (万人)
1	散歩 (ぶらぶら歩き)	30.1	3,152	16	ヨガ	4.0	419
2	ウォーキング	27.5	2,880		キャンプ	3.9	408
3	体操 (軽い体操、ラジオ体操など)	17.3	1,812	17	サッカー	3.9	408
4	筋力トレーニング	16.0	1,675		登山	3.9	408
5	ジョギング・ランニング	7.7	806	20	卓球	3.7	387
6	ゴルフ (コース)	6.9	723	21	ハイキング	3.2	335
7	ゴルフ (練習場)	6.8	712	22	野球	3.0	314
8	ボウリング	6.3	660	23	スノーボード	2.7	283
9	サイクリング	6.2	649	24	バレーボール	2.6	272
	釣り	6.2	649	25	テニス (硬式テニス)	2.4	251
11	水泳	4.8	503	26	バスケットボール	2.3	241
12	キャッチボール	4.6	482	27	スキー	2.1	220
	なわとび	4.6	482	28	フットサル	1.7	178
14	バドミントン	4.5	471	29	ソフトボール	1.6	168
15	海水浴	4.1	429	30	グラウンドゴルフ	1.4	147

(5) 直接スポーツ観戦率

- ・スタジアム等での直接観戦 26.2%は過去最低の前回 2022 年から 6.9pt 増加 (コロナ禍による影響)

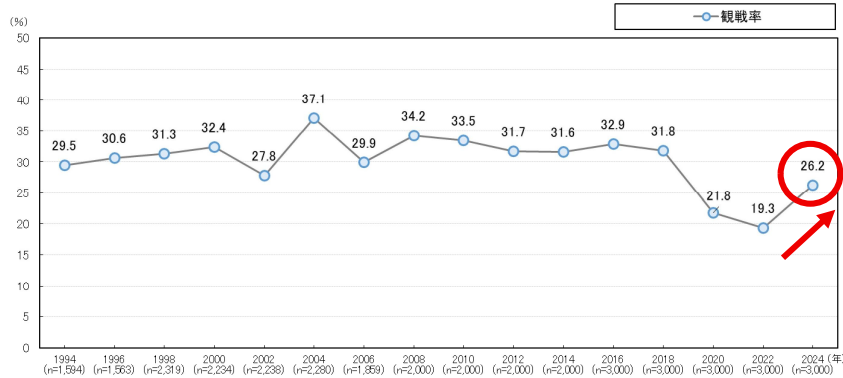


図 直接スポーツ観戦率の年次推移

(6) 運動不足感

- ・「とても感じる」：35.3%→2022 年から微増 (※スポーツライフ・データ 2024 (速報値) より)
- ・男性は大きな変化は無く、女性は 3.5pt 増加 (※スポーツライフ・データ 2024 (速報値) より)
- ・男性「とても感じる」「少しは感じる」→50 代がピーク、20~50 代にかけて増加\*1
- ・女性は 30 代が運動不足を感じる割合が最も多い。\*2

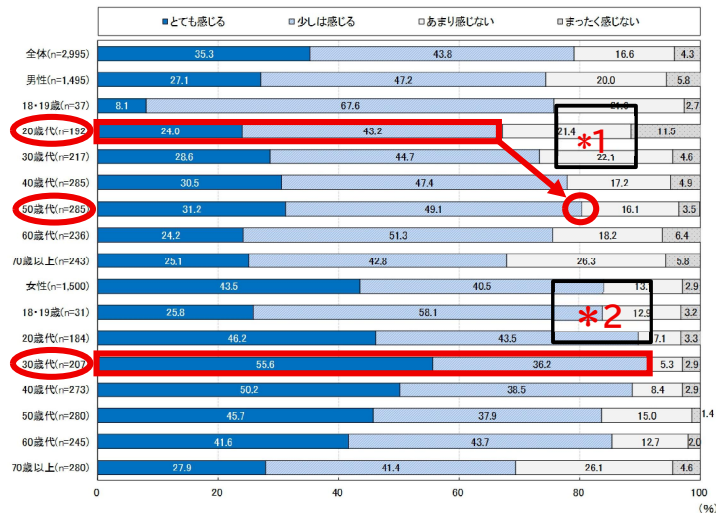


図 運動不足感 (全体・性別×年代別)

(7) 日常生活における身体活動量の WHO 基準達成率 (GPAQ)

- ・世界保健機関 (WHO) が示す身体活動量基準 (中強度を週 150 分または高強度を週 75 分等) の達成率は全体で 51.4%となり、2022 年から微減  
(※男性が 58.3%、女性が 44.5%で、いずれも 2022 年から減少)
- ・年代別では、50 代を除く各年代で WHO 基準達成率が減少

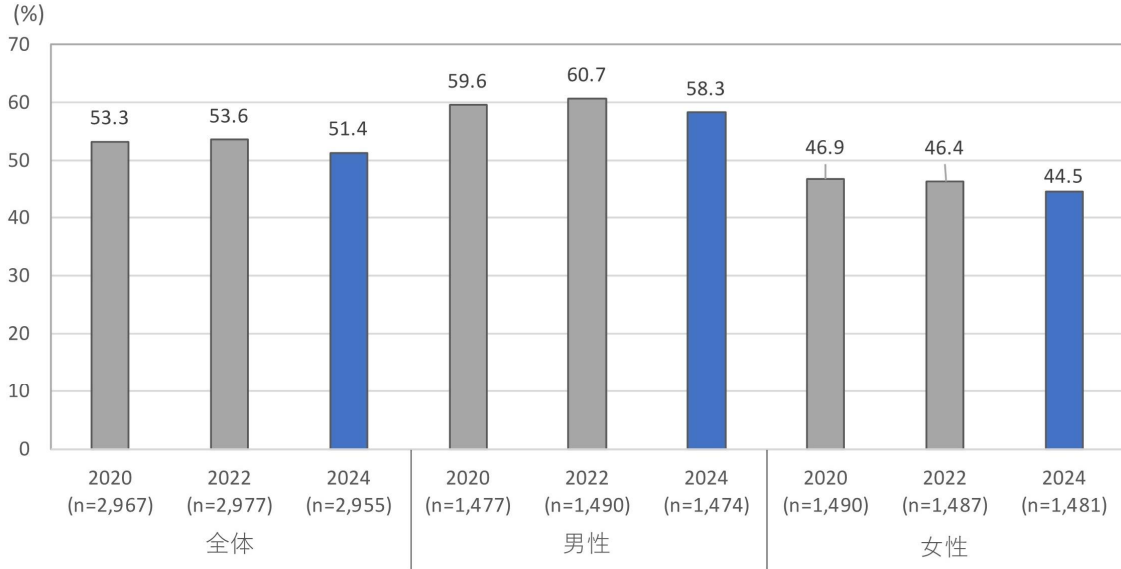


図 身体活動量における WHO 基準の達成率 (全体・性別)

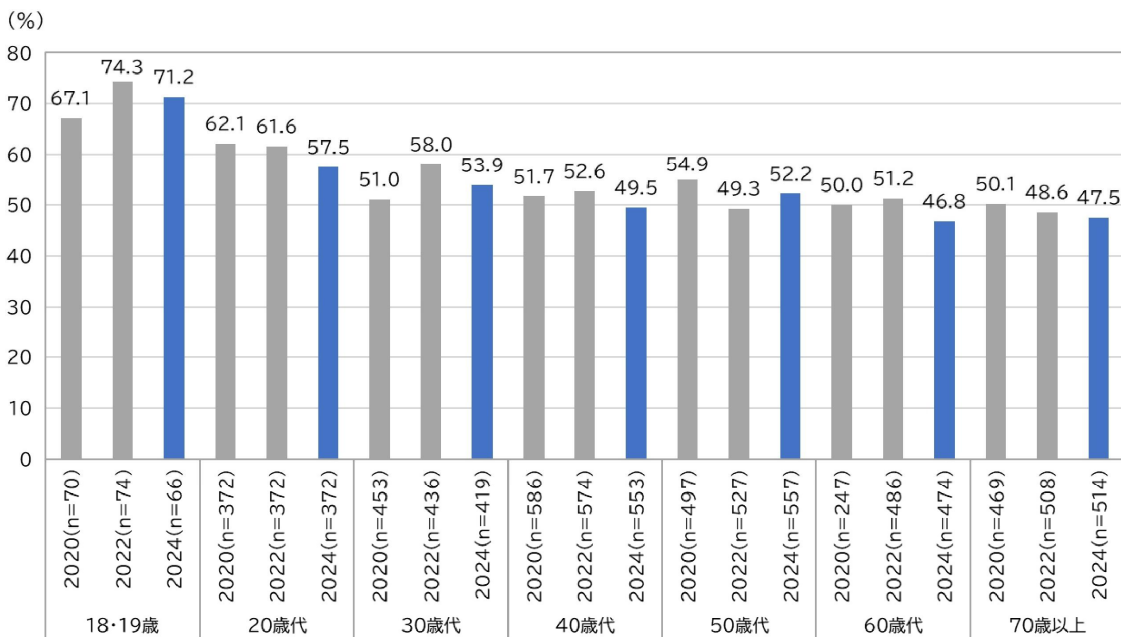


図 身体活動量における WHO 基準の達成率 (年代別)

## 2.3 第2章まとめ

### (1) スポーツに関する施策の方向性

#### ○ユニバーサルデザインの場の創出

- ・障がいの有無にかかわらず一緒に活動できる環境や、既存の学校体育施設・オープンスペースの有効活用といった、ユニバーサルデザインの場の創出における「質・量」両面での充実が求められている。

#### ○多目的利用と拠点の強化

- ・都立スポーツ施設をトップレベルの試合に触れられる拠点とするだけでなく、子供のヨット体験やファッションショー、ユニークベニューなど多目的利用を想定した整備がプロジェクトとして進められている。

### (2) 統計データから読み取るスポーツ実施の傾向

#### ○男女のスポーツ実施率の乖離と運動不足感

- ・20歳以上の層では「スポーツを実施したい(66.6%)」という希望に対し「実際の実施率(52.5%)」は低く、理想と現実に乖離が見られる。特に20代から40代の女性でこの傾向が顕著である。

#### ○障がい者と健常者によるスポーツ共同実施有無の割合の乖離

- ・障がいのある人とない人で一緒になって、運動・スポーツを実施したことが「ない」人は91.3%、「ある」人は8.7%、また「ある」人の中でも年代別に乖離が見られることから、障がいの有無や年代に影響されない、包括的なスポーツの実施環境やユニバーサルスポーツ推進に向けた取組が求められる。

### (3) 今後のスポーツ環境におけるニーズ

#### ○時間と場所に関する制限の改善

- ・スポーツ実施を阻害する最大の理由は「仕事が忙しい」ことであり、次いで「面倒くさい」が続いていることから、身近で手軽に利用できる施設が重要視される。

#### ○複合的なスポーツの参画

- ・スポーツを「する」だけでなく、「みる」「支える」といった多角的な形で関わることで、日常生活の幸福感(ウェルビーイング)が高まることがデータで示されていることより、体育館などのスポーツ施設に対し観戦機会の「みる」やボランティア等の「支える」活動を創出する機能が期待される。

#### ○インクルーシブなスポーツ環境

- ・障がいのある子供からは「自分のペースに合わせてできる」ことや「ルールが簡単なスポーツへの参加希望が多く、障がいのある成人一般利用者からは「障がい種別やレベルに合わせた教室・プログラム」や「建物のバリアフリー化」へのニーズが高まっており、障がいの有無を問わない包括的なスポーツ環境の整備が求められる。

### 3. 他自治体の最新事例調査

#### 3.1 他自治体事例一覧表

他自治体における体育館の最新事例調査を行った。調査にあたっては、整備の経緯ならびに整備や維持管理に関する事業スキームのほか、施設概要（施設面積、導入施設、対応可能なスポーツ種目、防災施設、交通アクセス/施設内動線の改善等）や事業スケジュールなどの整理を行った。調査する施設は以下の掲載項目に係る情報が比較的多く確認出来た事例を抽出し、計 20 事例とした。

一覧表掲載項目と掲載対象の体育館事例を以下に示す。

一覧表掲載項目
市区名
人口
対象体育館
整備状況
施設概要
施設面積（敷地面積、延床面積、建築面積）
導入施設
対応可能なスポーツ種目
整備年月日
整備/管理・運営方式
防災施設
交通アクセス/施設内動線の改善
事業費

事例番号	対象体育館（別称）
1	品川区立総合体育館
2	上井草スポーツセンター
3	袋井市総合体育館（さわやかアリーナ）
4	むつ市総合体育館（むつマエダアリーナ）
5	塩尻市総合体育館（ユメックスアリーナ）
6	大浜体育館（大浜だいしんアリーナ）
7	日野市立南平体育館（フクシ・エンタープライズ南平アリーナ）
8	滋賀県立体育館（滋賀ダイハツアリーナ）
9	太田市総合体育館（オープンハウスアリーナ太田）
10	千葉公園総合体育館（YohaS アリーナ）
11	飯塚市総合体育館
12	つがる市総合体育館（伊藤鉱業アリーナつがる）
13	鳥取市民体育館（エネトピアアリーナ）
14	野洲市総合体育館
15	越谷市立地域スポーツセンター
16	小金井市総合体育館
17	かほく市総合体育館（とり野菜みそ BLUECATS ARENA）
18	出雲市総合体育館（出雲だんだんとまとアリーナ）
19	大牟田市総合体育館（おおむたアリーナ）
20	柴田町総合体育館

次ページにて事例一覧表を掲載する。

他自治体最新事例 一覧表

事例番号	自治体名	人口(人) 令和2年 国勢調査より	対象体育館	整備状況	施設面積(m <sup>2</sup> )			施設概要		整備年月日 (整備種別/開館年月日 詳細内容)	整備/管理・運営方式	防災施設	交通アクセス/施設内動線の改善	事業費
					敷地面積(m <sup>2</sup> )	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築面積(m <sup>2</sup> )	導入施設	対応可能なスポーツ種目					
1	東京都品川区	422,488	品川区立総合体育館	整備済	10,178.86	8,479.00	7,657.94	競技場(アリーナ) バスケットボール(2面)、バレーボール(3面)、バドミントン(10面-12面)、テニス(2面)、卓球(34台) 武道場 柔道(柔道場)、合気道(柔道場)、剣道(剣道場)、空手道(剣道場)、その他武道 卓球・レクリエーション室 卓球(6台)、ダンス、日本民謡、社交ダンス 温水プール (日野学園温水プールを区民開放) トレーニング室 トレーニング (マシンジムなど)	移転/平成18年4月 (旧体育館は昭和50年6月竣工) 品川区立日野学園(小中一貫校) との複合施設として開館	指定管理者制度 <公益財団法人品川区スポーツ協会>	避難所	<動線改善> ○学校利用者との動線混在 →・地下2階から地上1階が体育施設、地上2階から6階が日野学園とし、動線を分離 ・地下の温水プールにて、利用時間帯を分離し、学校・一般利用者の干渉を防止	総建設費 約24億円 (学校建設費を含む)	
2	東京都杉並区	591,108	上井草スポーツセンター	整備済	45,088.00	10,279.17	-	体育館 バスケットボール、バドミントン、バレーボール、卓球など 小体育館 卓球・バドミントン・剣道など トレーニング室 マシントレーニング 温水プール 一般用:6コース(25m×13m・水深1.2m~1.35m) 幼児用(15m×9m・水深0.4mと0.75m) 弓道場 弓道、アーチェリー ゲートボール場・小運動場 ゲートボール、フットサル、ミニサッカーなど	改修/平成31年4月 (旧「上井草総合運動場」から平成10年に大規模改修を経て、リニューアルオープン) 平成30年11月~平成31年3月に大規模改修工事	指定管理者制度 <TAC・FC東京・MELTEC共同事業体>	広域避難場所	<動線改善> ○施設内のバリアフリー非対応 →・車いすエレベーターの設置 ・点字ブロックの敷設	総改修費 3億4,560万円 (上井草運動場の改修工事費を含む)	
3	静岡県袋井市	87,864	袋井市総合体育館 (さわやかアリーナ)	整備済	35,068.25	7,768.51	9,747.00	メインアリーナ バスケットボール、バドミントン、バレーボール サブアリーナ バスケットボール、バドミントン、バレーボール 武道場兼多目的広場 柔道(2面)、剣道(2面)など武道の他、多目的 トレーニング室 各種トレーニング	改築/令和2年4月 (令和元年9月に全面改築、防災拠点機能も持つ複合施設)	PF1-BT0方式 <袋井アリーナPFI株式会社>	大規模災害時の避難拠点施設 指定避難所	<動線改善> ○施設内のバリアフリー非対応 →・段差の解消 ・階段の蹴上高を下げる ○施設内回遊性の不十分 →・館内四隅に退避場所を設け、安全を確保	総事業費 約62億7,000万円 (建設費、15年間の管理運営費を含む)	
4	青森県むつ市	54,103	むつ市総合体育館 (むつマエタアリーナ)	整備済	32,539.31	8,010.00	6,660.00	メインアリーナ バスケットボール(2面)、バレーボール(2面)、バドミントン(10面)、テニス(2面)、卓球(12面) サブアリーナ バスケットボール(1面)、バレーボール(1面)、バドミントン(4面)、テニス(1面)、卓球(6面) ランニングコース - トレーニング室 各種トレーニング ボルダリング室 傾斜角度が異なる9つの壁面、競技会も開催可能 多目的室 -	移転/令和2年9月 (令和2年6月30日竣工) 同年9月供用開始、隣接地に新築	指定管理者制度 <山内土木株式会社>	広域避難所 防災備蓄倉庫 地域防災拠点	<動線改善> ○施設内のバリアフリー非対応 →・段差の解消 ・エレベーター、スロープの設置	総建設費 約44億9,293万円 (管理運営費は除く)	
5	長野県塩尻市	67,241	塩尻市総合体育館 (ユメックスアリーナ)	整備済	23,067.61	6,009.52	5,450.00	メインアリーナ バスケットボール(2面、センターコート1面)、バレーボール(2面、センターコート1面)、バドミントン(10面・移動式支柱、8面・差込式支柱)、卓球(12面)、ソフトテニス(レクリエーションサイズ2面)、フットサルコート(レクリエーションサイズ2面) サブアリーナ バスケットボール(1面)、バレーボール(1面)、バドミントン(3面・移動式支柱、4面・差込式支柱)、卓球(4面)、剣道(2面) ランニングコース 1周180m トレーニング室 トレッドミル(10台)、バイク(4台)、リカバントバイク(4台)等 スタジオ ミラーウォール、音響(マイク、CD、USB、Bluetooth) ボルダリング 高さ約3.5m 屋外3×3バスケットコート - 会議室 プロジェクター・スクリーン、ヒアリングループ(難聴者支援設備)等	新築/令和3年4月	指定管理者制度 <ミズノ・アシスト&ソリューショングループ>	指定避難所 指定緊急避難所	<動線> ○バリアフリー設備 ・全フロアにエレベーターを完備 ・アリーナコリドー:メインアリーナとサブアリーナ間の通路 -2階はランニングコースを兼ねており、ランニングやウォーキングなどで利用可能 (可動壁や扉は開閉でき、メイン/サブアリーナを一体的、別々に使用可能)	総建設費 36億2,855万円 (5年間の管理運営費は除く)	
6	大阪府堺市	826,161	大浜体育館 (大浜だいしんアリーナ)	整備済	18,694.61	12,908.55	9,152.13	メインアリーナ バスケットボール(3面)、バレーボール(4面)、バドミントン(16面)、フットサル(2面) サブアリーナ バスケットボール(2面)、バレーボール(3面)、バドミントン(10面)、フットサル(1面) 武道場 柔道(4面)、剣道(4面)、空手(4面)(公式試合場が同時に設置可能) 弓道場 弓道 多目的室 各種競技	改築/令和3年4月	PF1-BT0方式 <つながりアリーナ大浜PFI株式会社> (代表企業:大和リース) 令和元年4月~令和18年3月の18年間	指定避難所	<アクセス改善> ○自動車アクセスの不足 →・敷地内の駐車台数の増加 <動線改善> ○施設内のバリアフリー非対応 →・段差の解消 ・点字ブロックの敷設	総事業費 79億3,227万8,000円 (建設費、管理運営費を含む)	
7	東京都日野市	190,435	日野市立南平体育館 (フクシ・エンタープライズ南平アリーナ)	整備済	6,673.00	5,032.00	3,651.19	アリーナ バスケットボール(2面)、バレーボール(2面)、バドミントン(8面)、卓球(24面)、フットサル(1面)、ハンドボール(1面)、剣道(9面) 多目的室1・2: 間仕切りを外せば両面使用可能 多目的室3: 会議・各種サークル活動 トレーニング室 ランニングマシン、エアロバイク等 (トレーナーを常時1名配置) 弓道場 日野市弓道連盟加盟者、日野市アーチェリー協会加盟者が利用可能	改築/令和4年4月 (令和元年12月解体工事 令和4年3月建設工事了)	指定管理者制度 <株式会社フクシ・エンタープライズ> 令和7年4月1日より	指定避難所	<アクセス改善> ○公共交通アクセスの不足 →・体育館前バス停「南平体育館」の新設 (日野市ミニバス) <動線改善> ○施設内のバリアフリー非対応 →・段差の解消 ・最寄りのバス停からエントランス、入口から受付までの点字ブロックの敷設 ・駐車場からエントランスへの屋根の設置 ○施設内回遊性の不十分 →・施設内はガラスウォールを多様し、居室の視認性を向上	総建設費 約30億円 (5年間の管理運営費は除く)	

他自治体最新事例 一覧表

事例番号	自治体名	人口（人） 令和2年 国勢調査より	対象体育館	整備状況	施設面積（㎡）			施設概要		整備年月日 （整備種別/開館年月日 詳細内容）	整備/管理・運営方式	防災施設	交通アクセス/施設内動線の改善	事業費
					敷地面積(㎡)	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	導入施設	対応可能なスポーツ種目					
8	滋賀県大津市	345,070	滋賀県立体育館 (滋賀ダイハツアリーナ)	整備済	約112,300	14,547.71	9,990.92	メインアリーナ バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、ハンドボール、フットサル、ソフトテニス サブアリーナ バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、ハンドボール、フットサル、ソフトテニス トレーニング室 マシン約35種：有酸素トレーニング、筋力トレーニング、フリーウエイト、ストレッチコーナー 多目的室 ダンス、ヨガなど 会議室 大会議室（120席）、小会議室（30席×2室、24席×2室）	改築/令和4年12月	指定管理者制度 <しがクロス株式会社> (三菱HCキャピタル株式会社 、ミスノ株式会社などが出資) 令和4年12月～令和19年3月の15年間	広域防災活動拠点 物資集積拠点	<アクセス改善> ○公共交通アクセスの不足 →・体育館前のバス停の設置 ・プロバスケットボールチームの試合時には、臨時直行バスやシャトルバスを運行 <動線改善> ○施設内のバリアフリー非対応 →・段差の解消	総事業費 97億1,735万204円 (建設費、15年の管理運営費を含む)	
9	群馬県太田市	223,014	太田市総合体育館 (オープンハウスアリーナ太田)	整備済	158,789.35	10,611.61	7,327.23	メインアリーナ バスケットボール、バレーボール（6人制・9人制）、卓球、バドミントン、ソフトバレーボール、テニス（公式・軟式）、体操・ダンス（機器を使わないもの） サブアリーナ バスケットボール 多目的室 —	改築/令和5年4月	指定管理者制度 <群馬シティマネジメント>	指定避難所 指定緊急避難所	<アクセス改善> ○公共交通アクセスの不足 →・イベント開催時のシャトルバスの運行	総事業費 78億6,400万円 (建設費：76億6,700万円、 管理運営費：1億9,700万円)	
10	千葉県千葉市	974,951	千葉公園総合体育館 (Yoha5アリーナ)	整備済	10,417.06	8,194.88	5,075.69	メインアリーナ バスケットボール（2面・ミニバス2面）、バレーボール（2面）、バドミントン（10面）、卓球（30台）、フットサル（1面）、ハンドボール（1面）、体操競技等 サブアリーナ バスケットボール（1面・ミニバス1面）、バレーボール（2面）、バドミントン（4面）、卓球（20台）、フットサル（1面） トレーニング室 各種トレーニング 柔道場 畳張り（2面） 剣道 剣道、空手、拳法、なぎなた他 弓道・アーチェリー場 — 屋外バスケットコート (3×3) 3×3コート（1面）、練習用ゴール（1基） 屋外プール 水泳・水中運動 多目的室 ダンス、体操、会議他	改築/令和5年4月 (平成30年度基本設計 令和元年度実施設計 令和2～4年度建設工事)	指定管理者制度 <千葉市スポーツ協会>	指定避難所 井戸設備やマンホールトイレなど防災機能を備えた施設	<動線改善> ○施設内のバリアフリー非対応 →・段差の解消 ○施設内回遊性の不十分 →・隣接する中央図書館を往来できるプロムナードを整備 ・車いすやベビーカーのために館内通路幅を拡幅	総建設費 約60億円 ※概算工事費のみ記載あり (管理運営費は除く)	
11	福岡県飯塚市	126,364	飯塚市総合体育館	整備済	28,499.55	8,967.80	7,828.03	メインアリーナ バスケットボール（3面）、6人制・9人制バレーボール（3面）、バドミントン（12面） サブアリーナ（多目的ホール） バスケットボール（1面）、6人制・9人制バレーボール（1面）、バドミントン（4面）、剣道・柔道（2面） ランニングコース — 弓道場 — 多目的室 — 会議室 —	改築/令和5年4月	指定管理者制度 <一般社団法人飯塚市スポーツ協会>	指定避難所 指定緊急避難所	<アクセス改善> ○公共交通アクセスの不足 →・JR新飯塚駅からのバス路線の整備（飯塚駅周辺地区整備計画）	総建設費 38億5,655万3,444円 (管理運営費は除く)	
12	青森県つがる市	30,934	つがる市総合体育館 (伊藤鑑業アリーナつがる)	整備済	50,028.21	10,794.84	8,155.82	メインアリーナ バスケットボール（2面）、バレーボール（2面）、バドミントン（8面）、卓球（16台）、テニス（2面）、フットサル（1面） サブアリーナ バスケットボール（1面）、バレーボール（1面）、バドミントン（3面）、卓球（4台）、テニス（1面）、フットサル（1面） ランニングコース 1周260m トレーニング室 各種トレーニング 武道場 柔道（2面）、剣道（2面）、空手、少林寺 多目的室 多目的室A・Bを1室として利用可能	改築/令和5年6月	指定管理者制度 <Tsugaruまちづくりパートナーズ>	指定避難所 指定緊急避難所	<アクセス改善> ○自動車アクセスの不足 →・敷地内駐車場台数を増加 <動線改善> ○施設内の回遊性の不十分 →・館内にランニングコースを整備（屋外積雪時でも利用が可能、また館内の回遊性向上にも寄与）	総建設費 約68億円 (管理運営費は除く)	
13	鳥取県鳥取市	188,465	鳥取市民体育館 (エネトピアアリーナ)	整備済	19,689.00	10,769.00	4,976.00	メインアリーナ バスケットボール（2面（センターコート1面））、バレーボール（3面（センターコート1面））、フットサル（2面）、バドミントン（12面）、テニス（3面）、卓球（55台） サブアリーナ バレーボール（1面）、バドミントン（1面）、卓球（8台） 多目的に利用可能 研修室 壁面鏡、バリエーションがあり、主にスタジオとして利用可能 トレーニング室 有酸素マシン（18台）、筋力トレーニングマシン（16台）、ストレッチマシン（6台）、動体視力マシンなど フットサル場 主にフットサル スケートボード場 スケートボードなど 多目的室 体操・ダンス、社交ダンス、舞踊 レクリエーション、軽スポーツ	改築/令和5年6月	PFI-BT0方式 <PFI鳥取市民体育館株式会社>	指定避難所 応急給水拠点	<アクセス改善> ○公共交通アクセスの不足 →・バス停「市民体育館前」の設置（体育館へのバス利用によるアクセス促進のため） <動線改善> ○施設内のバリアフリー非対応 →・エレベーター、スロープの設置 ・段差の解消	総事業費 54億9,998万6,479円 (建設費、15年間の維持管理 運営費を含む)	
14	滋賀県野洲市	50,513	野洲市総合体育館	整備済	約48,000	7,254.00	—	メインアリーナ バスケットボール（3面）、バレーボール（6人制3面、9人制2面）、バドミントン（12面）、卓球（16台）、テニス（2面） サブアリーナ バスケットボール（1面）、バレーボール（6人制1面）、バドミントン（3面）、卓球（7台） ランニングコース — トレーニング室 — 柔剣道場 —	改築/令和5年7月 (大規模改修工事の後 リニューアルオープン)	指定管理者制度 <野洲市スポーツ協会>	指定避難所 指定緊急避難所	<アクセス改善> ○公共交通アクセスの不足 →・体育館前におけるコミュニティバスの停車 <動線改善> ○施設内のバリアフリー非対応 →・スロープの設置	総改修費 7億3,330万円	
15	埼玉県越谷市	341,621	越谷市立地域スポーツセンター	整備済	7,286.00	2,749.00	2,400.00	アリーナ バスケットボール、バレーボール、バドミントン 卓球場 卓球 ランニングマシン用スペース —	建替/令和6年4月 (旧大沢地区センターと旧市立第1・第2体育館を一体化した敷地に建替え)	リース方式 <大和リース株式会社> (20年間)	指定避難所 防災備蓄倉庫 非常用発電機	<アクセス改善> ○自動車アクセスの不足 →・敷地内駐車場台数の増加 <動線改善> ○施設内のバリアフリー非対応 →・案内板の設置 ・段差の解消 ・視覚障がい者向けの音声案内システムの導入	総事業費 22億3,300万円 (建設費、20年6か月の 建物賃借料を含む)	

他自治体最新事例 一覧表

事例番号	自治体名	人口(人) 令和2年 国勢調査より	対象体育館	整備状況	施設面積(m <sup>2</sup> )			施設概要		整備年月日 (整備種別/開館年月日 詳細内容)	整備/管理・運営方式	防災施設	交通アクセス/施設内動線の改善	事業費
					敷地面積(m <sup>2</sup> )	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築面積(m <sup>2</sup> )	導入施設	対応可能なスポーツ種目					
16	東京都小金井市	126,074	小金井市総合体育館	整備済	10,000.00	7,341.37	—	メインアリーナ サブアリーナ 柔道場 剣道場 屋内プール トレーニング室 会議室	バスケットボール(2面)、バドミントン(8面)、卓球(20台) 各種ダンス、エアロビクス、卓球等 柔道、合気道等 剣道、空手等 25m×6コース、幼児用(水深40cm) ウェイトトレーニング、ランニングマシン等	改修/令和6年4月 (令和元年度～令和5年度にかけ、改修工事を実施。令和11年度から長寿命化に向けた大規模修繕を実施予定)	指定管理者制度 <みんなであつなごう小金井のまち共同事業体>	指定避難所 帰宅困難者一時滞在施設	<動線改善> ○施設内バリアフリー非対応 →・段差の解消 ・スロープの設置	総改修費 2億8,320万円 (令和元年度:1億7,820万円 令和4年度:記載無し 令和5年度:1億500万円)
17	石川県かほく市	34,889	かほく市総合体育館 (とり野菜みそ BLUECATS ARENA)	整備済	—	8,835.11	5,954.78	アリーナ トレーニング室 スタジオ 柔剣道場 弓道場 会議室	バスケットボール(2面)、バレーボール(3面)、バドミントン(12面) ストレッチ、ファンクショナル・カーディオ系、ウェイト系 フィットネス、ヨガ(壁面鏡・音響装置あり)	改築/令和6年4月	PFI-BT0方式 <かほくPFIアリーナ株式会社> (代表企業:清水建設株式会社) 令和6年4月1日から令和21年3月31日までの15年間	指定避難所	<動線改善> ○施設内回遊性の不十分 →・スポーツモジュールを整備 (スポーツモジュール:アリーナと柔剣道場エリアの間に設けた誰もが自由に通り抜ける吹抜空間) -アリーナ・弓道場・トレーニング室への視線・動線を確保し、回遊性向上に寄与	総建設費 約53億円 (管理運営費は除く)
18	島根県出雲市	172,775	出雲市総合体育館 (出雲だんだんとまとアリーナ)	整備済	31,700.00	9,476.11	7,701.38	メインアリーナ サブアリーナ ランニングコース トレーニング室 多目的室 会議室	バスケットボール(2面・センター1面)、バレーボール(2面・センター1面)、バドミントン(10面)、テニス(3面)、卓球(12面)、フットサル(1面)等 バスケットボール(1面・非公式2面)、バレーボール(1面・非公式2面)、バドミントン(6面)、テニス(1面)、卓球(6面)、フットサル(1面)等 1周約200m 体組成計、動体視力マシン、有酸素マシン(8台)、筋力トレーニングマシン(9台)、コンディショニングマシン(1台) 多目的室A:壁面に備付の鏡あり 多目的室B:移動式の鏡を設置 4分割の利用が可能、会議室1・4にプロジェクター、スクリーンあり	新築/令和6年4月 (出雲市体育館、平田体育館、斐川第2体育館の3体育館廃止の後、統合した拠点として開設)	PFI-BT0方式 <出雲アリーナパートナーズ株式会社> (代表企業:ミズノスポーツサービス株式会社)	指定避難所 指定緊急避難所	<アクセス改善> ○自動車・公共交通アクセスの不足 →・幹線道路へのアクセス道の整備 ・本体育館を川跡駅徒歩8分に新たに建設	総建設費 約63億円 (管理運営費は除く)
19	福岡県大牟田市	111,281	大牟田市総合体育館 (おおむたアリーナ)	整備済	27,465.58	10,136.63	8,350.62	メインアリーナ サブアリーナ(多目的ホール) トレーニング室 柔道場 剣道場 卓球場 会議室	バスケットボール(2面)、バレーボール(3面)、バドミントン(10面)、卓球(公式12面、一般33面)、ハンドボール(1面)、体操(1面) バスケットボール(2面)、バレーボール(一般2面)、バドミントン(6面)、テニス(2面)、卓球(10面)、フットサル(1面)、ポッチャ(8面)、アーチェリー(4面)	改築/令和6年4月 (令和4年4月より工事着工 令和6年3月竣工、 4月より開館)	指定管理者制度 <NP0法人大牟田市体育協会>	指定避難所 指定緊急避難所	<動線改善> ○施設内のバリアフリー非対応 →・館内の視覚障がい者用の誘導ブロックを段差の少ないものに採用	総建設費 102億5,829万7,532円 (管理運営費は除く)
20	宮城県柴田郡柴田町	38,271	柴田町総合体育館	整備済	30,614.40	3,936.88	—	アリーナ トレーニング室 多目的室	バスケットボール(メイン1面、サブ2面)、バレーボール(6人制メイン1面、サブ2面、9人制1面)、フットサルコート(メイン1面、サブ2面)、バドミントン(8面)、テニス(2面、硬式・軟式)、卓球(20台) ランニングマシン、フィットネスバイクなどの有酸素系マシン、チェストプレスマシン、レッグエクステンション、ダンベルなどのウェイトスタック式マシン 多目的室1: 110.7m <sup>2</sup> (9.5m×10.4m)-軽運動、会議・研修等(30名程度) 多目的室2: 77.5m <sup>2</sup> (11.6m×6.4m)-会議・研修等(20名程度)	建替/令和6年12月 (旧町民体育館が東日本大震災で被害を受け解体したことにより、新たに総合体育館を建設)	建物賃貸借方式 管理運営: <フクシ・オーエンス共同事業体> (株式会社フクシ・エンタープライズ、株式会社オーエンス)	優先避難所 緊急避難場所 地域防災拠点 防災機能を備えた施設	<動線改善> ○施設内のバリアフリー非対応 →・駐車場内にて車いす専用駐車スペースを整備	総事業費 約70億6,330万1,000円 (建設費、20年間の建物賃料、維持管理運営費を含む)

※個票 20 事例は巻末資料に掲載する。

## 3.2 第3章まとめ

### (1) 利用可能なスポーツ種目の傾向

#### ○トレンドに合わせたニュースポーツ競技への対応

- ・ボルダリングやスケートボードに対応した体育館など、若年層のニーズを取り込んだ整備を設ける体育館が見られる。

#### ○健康維持/軽運動のための施設整備

- ・ウォーキングコースを施設内の利用動線に合わせて整備した、競技空間以外での活用を行う体育館が見られる。

### (2) 施設内におけるバリアフリー/ユニバーサルデザインの導入状況

#### ○障がいの有無における物理的なバリアフリーの推進

- ・体育館整備時のエレベーターやバリアフリートイレ、スロープなどの設備設置の標準化により、障がいの有無による施設の利用しづらさの解消を目指す体育館が見られる。

#### ○ユニバーサルデザインの導入

- ・新たな体育館整備に伴い、点字ブロックや視覚障がい者に向けた音声案内システムの導入といった設備が設けられている。

#### ○多目的/インクルーシブな施設の活用

- ・高齢者に向けたスポーツイベントや障がいの有無を問わない体験教室など、共生社会実現に向けた施設の活用が推進されている。

### (3) 体育館整備後の施設機能/アクセスの向上

#### ○地域と連携したイベントの実施

- ・体育館の空間を活用し、地域サークル活動や地域文化イベントの開催などスポーツ活動以外の多様な目的で施設を利用する傾向も見られる。

#### ○防災拠点としての活用

- ・災害時における避難所だけでなく防災備蓄倉庫や給水拠点、非常用発電機を備える体育館が多く見られる。

#### ○交通アクセスの向上

- ・改築/改修の場合は駐車場台数の増加やバス停の新設、コミュニティバスの運行、移転の場合は駅に近い位置での整備といった、整備に当たり旧体育館の交通面の課題に対応したアクセス改善を実施する施設が多く見られる。

### (4) 運営方式の採用傾向

#### ○民間活力を導入した事例の増加

- ・体育館の管理運営に当たり、指定管理者制度やPFI-BTO方式といった民間企業の資金やノウハウを活用し、スポーツ教室やイベントの実施を推進する事例が多く見られる。

#### 4. ユニバーサルスポーツ振興に求められる施設整備／パラスポーツの充実に向けた施設整備／バリアフリーの導入事例

##### 4.1 上位計画・法令の整理

	計画・法令名	策定年度	目的	内容
ユニバーサルスポーツ	スポーツ基本法 (文部科学省)	平成23年8月策定	・「スポーツを通じて、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むことができる社会の実現」を目指す。 ・国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成等に寄与する。	・スポーツに関し、基本理念を定め、国や地方公共団体の責務・スポーツ団体の努力等の策定 ・スポーツの基本的施策（指導者の養成、スポーツ施設の整備、学校施設の利用、スポーツ産業の事業者との連携等）の実施
	スポーツ基本計画 (文部科学省)	令和4年3月策定	年齢や性別、障がい等を問わず、広く人々が、関心、適性等に応じてスポーツに参画することができる環境を整備することを基本的な政策課題として定め、障がい者スポーツの推進を図る。	・性別や年齢、障がい、経済・地域事情などによるスポーツの差が生じない社会を目指し、柔軟かつ適切な手法を通じたスポーツ機会の創出を図る。
	誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業（スポーツ施設におけるユニバーサルデザイン化等推進事業） (スポーツ庁)	令和4年より開始	年齢や性別、能力等に関係なく施設を利用しやすくするユニバーサルデザイン化を推進するため、ハード・ソフト両面において配慮すべき事項や取組事例を収集整理し、ガイドブックに取りまとめるとともに、セミナー等による普及啓発等を行い、現場での対策を促進する。	○スポーツにおけるユニバーサルデザインの7原則 ・公平性、自由性、単純性、わかりやすさ、安全性、省体力、スペース確保 ○これからのスポーツの場に対する考え方 ・空間として、障がいがある人となない人の区別・分離から「インテグレーション（統合）」、さらに「インクルージョン（包摂）」（高齢者を優先としながらも健常者も利用できる「共用型」へ変化）、公共施設でもバリアフリーからユニバーサルデザインの考え方への変換 ・ユニバーサルデザイン化を推進するため、構想・計画/設計・建設/管理・運営/改修等の各フェーズにおける配慮事項を整理
パラスポーツ	スポーツ基本法 (文部科学省)	平成23年8月策定	・「スポーツを通じて、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むことができる社会の実現」を目指す。 ・国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成等に寄与する。	・スポーツ施設のバリアフリー化（施設を新設・改修する際） ・障がい者がスポーツ施設の利用を拒否されるような不当な差別的扱いを防ぐ。（心のバリアフリー）
	スポーツ基本計画 (文部科学省)	令和4年3月策定	年齢や性別、障がい等を問わず、広く人々が、関心、適性等に応じてスポーツに参画することができる環境を整備することを基本的な政策課題として定め、障がい者スポーツの推進を図る。	・障がい者や女性のスポーツ実施環境を整備し、スポーツを通じた共生社会の実現を図る。
	U-SPORT PROJECT (スポーツ庁)	令和6年10月より開始	障がいのある人となない人が身近な場所でスポーツをともに実施できる環境の整備や、パラスポーツ団体、民間企業・地方公共団体等の関係団体の連携体制の構築等を促進していく。	①企業と競技団体による障がい者スポーツ大会や特別支援学校等が参加する全国大会、インクルーシブなスポーツ大会の整備 ②デジタル技術を活用した障がい者スポーツ実施環境の整備 ③オープンスペースを活用したインクルーシブなスポーツ実施環境の整備 ④地域の課題に対応した障がい者に対するスポーツの振興、実施環境の整備 ・実行委員会の設置・開催 ・効果の検証 ・実施事業に関する情報発信 ・事業成果の報告
バリアフリー	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法） (国土交通省)	平成18年12月策定	旅客施設、建築物、道路、公園、公共交通機関等のバリアフリー化を促進するための基本的な法律	建築物の新築・改修時におけるバリアフリー基準の遵守、公共交通機関における移動等円滑化の基準など
	バリアフリー法（建築物分野） (国土交通省)	平成18年12月策定	高齢者や障がい者等が建築物を円滑に利用できるようにすること	建築物移動等円滑化基準（最低限のレベル） ・高齢者や障がい者等が円滑に利用できるようにするために必要な、建築物特定施設の構造及び配置に関する基準（・車いす使用者と人がすれ違える廊下幅を1.2m以上確保など） 建築物移動等円滑化誘導基準（望ましいレベル） ・高齢者や障がい者等が円滑に利用できるようにするために誘導すべき、建築物特定施設の構造及び配置に関する基準 （車いす使用者同士がすれ違える廊下幅の確保など） ① 2,000㎡以上（公衆便所については50㎡以上）の新築、増築、改築又は用途変更について、建築物移動等円滑化基準への適合義務 ② 2,000㎡未満、及び既存建築物に対して建築物移動等円滑化基準への適合努力義務 ※公共体育館：特別特定建築物
	ユニバーサルデザイン政策大綱 (国土交通省)	平成17年7月策定	高齢者や障がいのある人のみならず可能な限りすべての人を対象として想定し、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方にに基づき、今後の社会資本整備、交通分野における取組方針を定める。	・ユニバーサルデザインの考え方を踏まえた多様な関係者の参画の仕組みの構築、評価・情報共有の仕組みの創設（ユニバーサルデザイン・アセスメント） ・一体的・総合的なバリアフリー施策の推進 ・ユニバーサルデザインの考え方を踏まえた基準・ガイドラインの策定 ・ソフト面での施策の充実（「心のバリアフリー」社会の実現等）
	バリアフリー環境整備促進事業 (国土交通省)	平成18年以降各年度実施	バリアフリー法に基づく基本構想・条例等の策定、移動システム（スロープ・エレベーター等）の整備、小規模店舗をはじめとした既存建築ストックのバリアフリー改修工事等を支援し、障がい者等が安心して暮らせる環境の整備を図る。	○移動システム等整備事業 ・屋外の移動システム整備（スロープ、エレベーター等） ○認定特定建築物整備事業 ・屋外の移動システム整備（建築物敷地内の平面経路に限る。） ・屋内の一定の移動システム整備（エレベーター等の整備） ○既存建築物バリアフリー改修事業 ・段差の解消、バリアフリースロープ、エレベーター等の設置

パラスポーツ：障がいのある方でもスポーツ活動ができるよう、障がいの程度に応じ競技規則や実施方法を変更したり、用具等を用いて障がいを補ったりする工夫・適合・開発がされたスポーツのことを指す。  
ユニバーサルスポーツ：障がいの有無、年齢、性別、運動能力などにかかわらず、特別な配慮がなくても参加者全員が一緒に楽しむことができるスポーツのこと。

※巻末資料の個票 20 事例に各事例のユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況を記載する。

## 4.2 第4章まとめ

### (1) ユニバーサルデザインの導入

#### ○ユニバーサルデザインの考え方の推進

- ・バリアフリーだけでなく、高齢者や障がい者、性別などを問わずすべての人を対象に「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」という考え方に基づいたユニバーサルデザインの考え方が推進されている。

#### ○ユニバーサルデザイン7原則の適用

- ・公平性、自由性、単純性、分かりやすさ、安全性、省体力、スペースの確保の7原則を体育館整備における事業構想から管理運営までハード・ソフト両面で配慮する必要がある。

### (2) 法令に基づく基準

#### ○適合義務

- ・バリアフリー法により、2,000 m<sup>2</sup>以上の新築、増築、改築、用途変更を行う際、建築物移動等円滑化基準（バリアフリー基準）への適合が義務付けられている。

#### ○廊下幅の基準：

- ・最低限レベル：車いす使用者と人がすれ違える幅（1.2m以上）を確保する必要がある。
- ・望ましいレベル（誘導基準）：車いす使用者同士がスムーズにすれ違える幅の確保が推奨されている。
- ・移動システムの整備：エレベーター、スロープの設置、段差の解消、バリアフリートイレの整備など、屋外から屋内までの連続した移動経路の確保が必須とされている。

### (3) スポーツ実施に対する支援体制の構築

#### ○官民が連携した事業体制

- ・障がいのある人とない人が身近な場所で共にスポーツを実施できるよう、デジタル技術の活用や施設内オープンスペースの活用といった民間企業や地方公共団体、特別支援学校等が連携する体制の構築が図られている。

### (4) 施設内におけるソフト面での配慮

#### ○心のバリアフリーの充実

- ・障がい者が施設の利用を拒否されるような不当な差別的扱いを防ぎ、誰もが安心して利用できる管理運営体制の構築が推進されている中で、国民への意識啓発や障がい者支援の人材育成といった取組も重要とされている。

## 5. 学校教育と公共の体育館との連携のあり方

他自治体での学校教育と公共の体育館との連携（部活動の地域移行、プール授業の活用等）について事例調査を行い、今後の学校施設と公共の体育館との連携のあり方、課題等を整理した。

### 5.1 上位計画・方針の整理

学校教育と公共の体育館との連携に係る上位計画・方針を以下に示す。

事例番号	計画・方針	策定年月日	令和4年12月	
1	<u>学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン</u>	策定元	スポーツ庁 文化庁	
	内容			
	学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示			
	各施策内容		主な取組方針	
	①学校部活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理の実施（外部指導者の配置、体罰・ハラスメントの根絶の徹底など）</li> <li>・週当たり2日以上以上の休養日の設定や1日の活動時間を平日2時間程度、学校休業日3時間程度に設定</li> </ul>		
	②新たな地域クラブ活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と連携した地域スポーツ協会等の関係部隊との体制の整備</li> <li>・競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目など生徒の志向に適したプログラムの提供</li> </ul>		
③学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日における部活動の地域移行を優先的に実施</li> <li>・平日の環境整備は休日の進捗状況に応じて実施</li> </ul>			
④大会等の在り方の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会参加資格を地域クラブ活動の会員等も参加できるように見直し</li> <li>・可能な限り教職員が引率しない体制を整備</li> </ul>			

事例 番号	計画・方針	策定年月日	令和3年度より毎年実施
2	地域運動部活動推進事業	策定元	文部科学省
	内容		
	①休日の部活動の段階的な地域移行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国各地の拠点校（地域）において実践研究を実施し、研究成果を普及することで、休日の地域部活動の全国展開に寄与</li> </ul>	
	②合理的で効率的な部活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市・過疎地域での合同部活動によるスポーツ活動機会の充実に向けた実践研究を実施</li> </ul>	
③生徒にとって望ましい大会の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加大会数の設定や参加大会の精選の考え方・手法等の明確化</li> <li>・学校単位に限らず、生徒の多様なニーズに対応できる大会形式やレギュレーション等のあり方を検討</li> </ul>		

5.2 学校教育と公共の体育館との連携事例一覧

他自治体における学校教育と公共の体育館との連携事例一覧を以下に示す。

分類型：	<span style="background-color: #f8d7da;">■</span> A. 学校部活動種目の地域スポーツ施設での実施	<span style="background-color: #d1ecf1;">■</span> B. 学校プール授業の地域移行
	<span style="background-color: #d4edda;">■</span> C. 学校施設と地域スポーツ施設との複合施設化	<span style="background-color: #fff3cd;">■</span> D. 既存にない新部活動種目の地域スポーツ施設での実施

分類型	事例番号	自治体名	対象学校/体育館	開館年月日	運営主体	活動頻度	実施しているスポーツ種目	特徴	課題	対策/あり方
A	1	新潟県 魚沼市	近隣の小中学校 / 魚沼市堀之内体育館	学校施設： 記載無し/ 体育施設： 平成8年	魚沼市スポーツ協会	週4回	バスケットボール バレーボール 卓球 柔道 剣道	・総合型地域スポーツクラブ(エンジョイスportsクラブ魚沼)を創設し軟式野球に加えてバスケットボールや卓球など、8種目11地域クラブ活動を実施 ・平日と休日の一貫した指導を実現するため、休日だけでなく平日の部活動も含めた一体的な移行に向けた取組を促進	①移動に伴う保護者の負担  ②新たな価値創造のための持続的な運営が必要	①・移動円滑化や費用負担についての対応策の検討が必要 ・平日における地域クラブ活動開始時刻までの食事時間の確保や就寝時間の変化に対する生徒への影響も検討が必要 ②スポーツ協会や総合型スポーツクラブ等の地域団体と連携し、総括コーディネーターを中心とした各地域クラブ活動の統括管理体制の整備、これまでの部活動にはない多項目体験型クラブの創設の検討
	2	神奈川県 箱根町	箱根町総合体育館 (星槎レイクアリーナ箱根)	体育施設： 平成9年4月	星槎グループ 学校法人国際学園	—	バスケットボール バレーボール等の 体育館競技	・指定管理者は本施設の運営のほか、宿泊場所の提供や部活動の受け入れ、地域クラブの運営などを実施	①専門性や資質を有する指導者の不足 ②地域スポーツに支払う会費の保護者に対する負担	①公認スポーツ指導者資格の取得義務付けや研修を実施 ②・学校施設の低額での貸与など地方公共団体や国からの支援や用具の確保等を促進 ・地方公共団体における困窮する家族へのスポーツにかかる費用を補助
	3	石川県 かほく市	河北台中学校/かほく市総合体育館	学校施設： 昭和33年4月/ 体育施設： 令和6年4月	かほくPFI アリーナ 株式会社	—	バスケットボール バドミントン テニス 柔道 剣道	・隣接する河北台中学校が授業や部活動でアリーナや武道場を利用(河北台健民体育館、七塚武道館を同校が利用していた経緯を踏まえ、引き続き学生の利用を優先) ※かほく市総合体育館は上記2体育館を含む4つのスポーツ施設老朽化に伴い、集約・統合され建設	①運営主体と中学校との連携体制の不十分	①委託先となる団体(民間事業者を含む)の確保やコーディネーターの配置を通して、連絡調整等を実施
	4	富山県 朝日町	朝日町立朝日中学校/ 隣接の体育施設	学校施設： 昭和52年4月/ 体育施設： 記載無し	朝日町型部活動 コミュニティ クラブ	週1～3回	バスケットボール バレーボール ソフトテニス 卓球 柔道 剣道 陸上	・令和3年4月から、学校部活動の一部を地域クラブの活動に移行 ・地域クラブ活動の指導者は、原則、従来は学校部活動の指導に関わっている部活動指導員・スポーツエキスパート・競技協会員であり、学校部活動との連携に寄与	①生徒の体調や外部との接触の際等の安全管理体制の不足 ②学校側と地域スポーツ施設側の費用負担や財源確保のあり方の不十分	①安全管理についての緊急対応等の徹底やフローの作成が必要 ②次年度以降の事業補助等、受益者負担金での運用検討を実施

分類型	事例番号	自治体名	対象学校/ 体育館	開館年月日	運営主体	活動頻度	実施している スポーツ種目	特徴	課題	対策/あり方
B	5	東京都 調布市	調布市立 調和小学校	学校施設： 平成 11 年 4 月	三井物産グループ（プール運営は㈱ハリマビステム、セントラルスポーツ㈱）	学校利用： プール授業時 一般利用： 上記時間外	水泳	・小学校に地域図書館分館、体育館、温水プールが併設、学校プールは一般開放 ・小学校、図書館の運営は市、温水プールの地域開放に伴う運営業務は PFI 事業者が担当	①学校児童と一般利用者の利用動線や利用時間の混在による、児童の安全に対する不安	①扉やシャッターによる動線の遮断、開放用の出入り口の設置、一般利用を児童の休日や下校後の時間に充てるなど、スペースシェアリングやタイムシェアリングを図り、児童の安全を確保
	6	東京都 目黒区	向原小学校 /コナミス スポーツクラ ブ碑文谷	学校施設： 昭和 4 年 12 月/ 体育施設： 平成 17 年 1 月	当スポーツ施設	5 月下旬 ～11 月 月上旬 毎週水曜日 の午前中	水泳	・目黒区学校施設更新計画第一期において建て替え対象 ・学校の建て替えに伴い、令和 5 年度にプールを解体し、バス移動で学校外プールを活用 ・水着に着替えた状態で施設に移動し、指導後に現地で普段着に着替え、帰校 ・プール指導は、スポーツ施設のインストラクターが担当	①移動時の安全確保  ②バスでの忘れ物や児童置き去り事故への対策	①学級担任（2～3名）と補助の教職員（1～2名）で引率し、施設到着後は、各施設のスタッフも誘導に加わる。 ②バス移動の際、停車中もバスには常に運転手が乗車し車内を確認
	7	神奈川県 川崎市	近隣小学校 /多摩スポ ーツセンタ ー	学校施設： 記載無し/ 体育施設： 平成 23 年 3 月	コナミスポ ーツ	学校利用： プール授業 時 一般利用： 上記時間外	水泳	・プールでは、近隣小学校の水泳授業を毎年実施し、教師とともに指定管理者も指導を実施 →指導やプール管理の工数が減り、教師の負担が軽減	①プール授業時期と一般利用の夏場繁忙期の重複	①夏場の繁忙期にレジャー利用者が多いことから、効率的な施設利用を図るため、プール授業は下期に実施
	8	東京都 葛飾区	水元小学校 /水元総合 スポーツセ ンター	学校施設： 明治 40 年 10 月/ 体育施設： 平成 28 年 3 月	住友不動産エ スフォルタ・東 洋管財共同事 業体	対象学校の プール授業 時間	水泳	【区の方針】 区立小学校は、学校の改築や大規模改修の時期に合わせて奥戸・水元総合スポーツセンターや民間の屋内温水プールを活用した水泳指導へ移行 ・校舎の改築工事に伴い、既存プールを解体 ・民間スポーツ施設の専門インストラクターを活用しプール授業を実施	①・移動時間の増加 ・移動時の安全確保  ②夏休み中の水泳指導の実施が困難	①移動をバスとすることで移動時間を減らし、誘導員を確保することで移動の安全確保と円滑化に寄与 ②・連携するスポーツ施設が学校を通して短期水泳教室を夏休み中に開催し、希望者に対する集中的な指導を促進 ・児童のプール利用促進のため、夏季中の水泳教室にかかる費用は公費で負担

分類型	事例番号	自治体名	対象学校/体育館	開館年月日	運営主体	活動頻度	実施しているスポーツ種目	特徴	課題	対策/あり方
C	9	愛知県 半田市	半田市立成岩中学校/ 半田市成岩地区総合型地域スポーツクラブ ハウス	学校施設： 昭和 22 年 4 月/ 体育施設： 平成 15 年 12 月	NPO 法人 ソシオ成岩 スポーツクラブ	基本的に 土日	バスケットボール バレーボール テニス 卓球 剣道	・半田市成岩地区総合型地域スポーツクラブハウス：学校と地域が共同で利用、成岩中学校の敷地内に設置 ・施設の利用割合：学校利用（成岩中学校）が 65%、地域利用が 35% ・中学生以下を対象に、サッカー/野球/バドミントン等 11 種目の部活動を支援するスクール活動を実施（コーチは、所定の研修を受けた当法人公認のボランティアアシスタント）	①公共性の担保に対する住民理解の不足 ②学校利用者と一般利用者の施設内における混在	①利用者の定義を「総合型地域スポーツクラブが運営する事業に参加する者」として条例を策定することで、民間の一事業者が運営しながら公共性が担保でき、地域住民誰もが参加できる環境を構築 ②外からの一般利用者を遮断せず、常に地域の人との交流を図ることで抑止力につながり、子供の安全を確保
	10	石川県 かほく市	かほく市立宇ノ気中学校/かほく市宇ノ気体育館	両施設： 平成 19 年 4 月	NPO 法人 クラブパレット	学校利用： 学校行事時に優先利用 一般利用： 上記時間外に開放	バスケットボール バレーボール バドミントン	・中学校の校舎の改築の際、中学校の体育館を、かほく市の市立体育館（社会体育施設）として整備（学校行事（授業・部活動）で使用する際は優先して使用し、それ以外では地域に開放し施設を共用）	①平日に対する休日の指導者数の質・量の不足	①休日への部活動移行が進むにつれ、競技団体や文化団体との意見交換や講習会等を行い、連携強化を促進
	11	香川県 仲多度郡 まんのう町	満濃中学校/スポーツセンター まんのう	両施設： 平成 25 年	株式会社 まんでがん パートナーズ	学校利用： 8時から18時頃 一般利用： 毎年1月にその年の利用日を申請	バスケットボール バレーボール バドミントン	・中学校施設の老朽化を契機に改築した、中学校と隣接した複合施設（図書館も同施設に併設、学校の体育館を社会体育施設として登録） ・一般利用以外の日は基本的に中学生が部活動で利用	①複合施設での一体的な整備に伴い、金銭面での支援が必要	①・まんのう町が地域再生協議会を設置し、地域再生計画「民間活力（PPP・PFI）活用によるまんのう町活性化計画」を策定 ・指定金融機関が事業の実施に必要な資金を貸し付け、国が利子補給金を支給
D	12	東京都 中野区	中野区内中学校9校/ 区内スポーツ・コミュニティプラザ	学校施設： -/ 体育施設： 平成 27 年 4 月	株式会社東京 アスレティック クラブ	6月～ 12月 月2回程度	ダンス	・区が所有、管理する施設を利用し、特定の学校の部活動を外部化せず、区全体で生徒の活動の受け皿となる行政主導地域クラブ活動を設立 ・中野区立中学校在籍の生徒、保護者にアンケートを実施した結果、創設して欲しい部活動としてダンス部を希望する声が多数見られたため、行政主導地域クラブ活動として民間事業者へ指導を委託し設立	①生徒より活動実施回数を増やしてほしい等の声があり、内容充実に向けた検討が必要 ②参加費用負担が大きく支援が必要	①・令和7年度は区内2エリアにて20回ずつ（全40回）実施し、発表会を2回開催することで活動実施回数を担保 ・発表会の開催は生徒が一堂に集まる文化発表会等での開催を想定し、より練習に打ち込める環境を構築 ②行政主導地域クラブ活動における指導員報酬及び統括責任者報酬を賄うため、生徒・保護者負担の割合を再度検討

### 5.3 第5章まとめ

#### (1) 上位計画・方針の傾向

- ・学校教職員の部活動への関与について、法令等に基づき労働基準（週当たりの休養日数や1日の活動時間目安、大会時は地域クラブ活動の会員等も参加できるように見直すことで、可能な限り教職員が引率しない体制を整備）を設定し、教職員の業務改善や勤務管理を実施していく。
- ・学校と連携した地域スポーツ協会等の関係部隊との体制を整備し、競技志向の活動だけでなく複数の運動種目など生徒の志向に適したプログラムの提供を行う。
- ・部活動の実施形態として、都市・過疎地域での合同部活動といった、生徒の多様なニーズに対応できる活動形式やレギュレーションのあり方の検討方針を設定する。

#### (2) 学校部活動の地域移行の際に求められる施設機能

##### ○一体的な指導環境の整備

- ・休日だけでなく平日も一貫して指導できる体制が必要とされており、学校施設と公共施設を分け隔てなく利用できる環境整備が進められている。

##### ○指導者の支援や施設の安全管理体制の充実

- ・専門指導者の確保に加え、外部施設利用時の緊急対応フローの作成や、生徒の安全確保のための管理体制構築が課題として挙げられる。

#### (3) 学校のプール授業における施設利用形態の構築

##### ○学校利用者と一般利用者の利用区別化

- ・双方の利用動線混在の防止だけでなく、学校授業時と一般利用者の利用時間帯の混在を考慮し、利用形態を区別する必要がある。

##### ○移動時の安全確保と効率化

- ・安全面での課題に対し、バスによる送迎を実施し教職員や施設スタッフが連携して誘導することで、移動時間の短縮と児童の安全確保（置き去り防止等）を両立させるなどの対策が取られている。

#### (4) 学校施設と公共体育館の複合施設化に対する工夫

##### ○民間活力の導入

- ・複合施設の建設・運営に民間事業者を活用し、民間の資金や運営ノウハウを取り入れることで、公共性を保ちながら持続可能な運営を目指す傾向がある。

##### ○施設内スペースと利用時間帯の区別

- ・学校利用者と一般利用者の混在を防止するため、扉やシャッターによる動線の遮断、専用の出入り口を設置する運用が多く見られる。

## 6. 区民アンケート項目の検討

### 6.1 区民アンケート項目の検討

#### (1) アンケート調査の目的

- ・現在の総合体育館の老朽化による整備につき、施設機能に対する利用者ニーズを把握し、新たに導入が可能な機能等について整理検討を行うため

練馬区では、現在の総合体育館の老朽化や、区民の皆様の多様化するスポーツ・健康づくりへのニーズに対応するため、新総合体育館の建て替えに向けた検討を進めております。

このアンケートは、今後新総合体育館の整備計画（基本構想・基本計画）を策定するに当たり、区民の皆様や施設を利用される皆様から幅広くご意見を伺い、計画の参考とさせていただきますために実施するものです。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

#### 現状の総合体育館の導入施設

屋内施設：競技場、柔道場、剣道場、弓道場、卓球場、トレーニング室、会議室

屋外施設：相撲場、ローラースケート場、エア・ライフル場、駐車場

#### (2) アンケート対象（それぞれで項目検討を行う）

- A. 小学生（保護者を含む）
- B. 中学生、高校生
- C. 学校教職員
- D. その他一般利用者（高齢者を含む）
- E. 〈E-1〉スポーツ団体（団体運営者/団員）  
〈E-2〉障がい者団体（団体運営者/障がいのある方、介護者・スポーツ介助者）

#### (3) アンケートの配布・集計方法

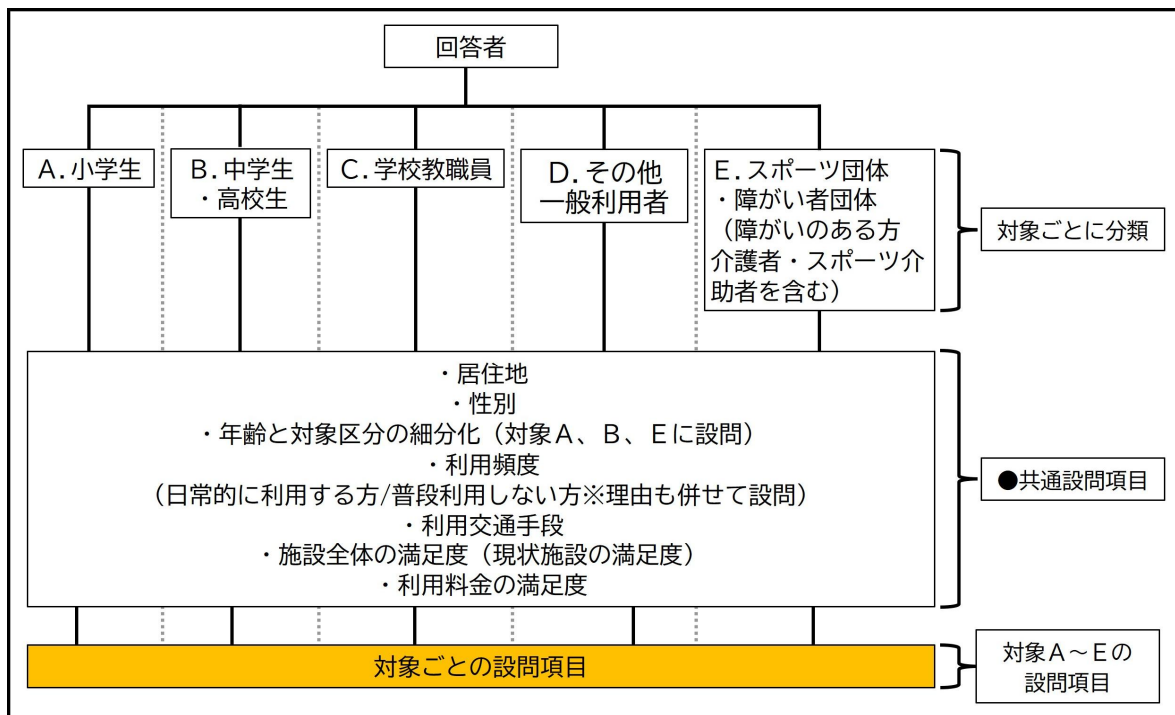
- ・配布場所を対象ごとに区別し、対象 ABC は WEB のみ、DE は紙/WEB 回答を想定する。

以下に対象ごとのアンケート実施や案内の設置場所、回答方法を記載する。

対象	配布・回答方法
A. 小学生 (保護者を含む)	・授業時にて、学校配布タブレットより回答（※GIGA スクール構想より） ・学校内にて QR コードを添付した案内紙を配布し各自宅で回答（保護者同伴で回答する場合）
B. 中学生・高校生	アンケート案内を WEB に掲載し、学校配布タブレット、学校 PC 、スマートフォンより回答
C. 学校教職員	各教育委員会が WEB にて掲載した、アンケート案内より回答
D. その他一般利用者	・アンケート案内を添付した区報を各住宅に配布し回答 ・アンケート案内を区の体育施設窓口に設置し紙にて回答 ・区の HP にて記載のアンケート案内より回答
E. スポーツ団体/ 障がい者団体	各団体運営者に案内をメールにて送付し、団員に周知頂いたうえで各自 WEB より回答

#### (4) アンケート回答フローの検討

##### ●アンケート回答フロー案



#### (5) 共通設問事項

- 居住地
- 性別
- 年齢と対象区分の細分化
- 利用頻度（日常的に利用する方/普段利用しない方※理由も併せて設問）
- 利用交通手段
- アクセス利便性に対する意見
- 施設全体の満足度（現状施設の満足度）
- 利用料金の満足度

次ページに共通設問項目の設問内容を記載する。

(6) 共通設問項目の回答フロー

●共通設問項目

設問項目概要	詳細設問項目
○居住地	<p>○あなたの現在の居住地をお答えください。(1.の場合は下図を参照)</p> <p>1.区内：a.第1地域 /b.第2地域 /c.第3地域 /d.第4地域 / e.第5地域 /f.第6地域 /g.第7地域</p> <p>2.区外の市区町村(東京都内) /3.その他</p>  <p style="text-align: center;">練馬区 地域区分図</p> <p>※第1地域：東武東上線及び東京メトロ有楽町線・副都心線沿線地域            第2地域：西武池袋線・豊島線、西武有楽町線、東京メトロ有楽町線・副都心線沿線及び都営地下鉄大江戸線沿線地域            第3地域：西武池袋線・豊島線及び都営地下鉄大江戸線沿線地域            第4地域：市街地として独立している光が丘地区を中心とした地域            第5地域：都営地下鉄大江戸線の延伸予定地域            第6地域：西武池袋線沿線地域            第7地域：西武新宿線沿線地域 (練馬区都市マスタープランより)</p>
○性別	<p>○あなたの性別をお選びください。</p> <p>1.男性 /2.女性 /3.その他 /4.回答しない</p>
○年齢と対象区分の細分化	<p>○あなたの年齢をお答えください。</p> <p>年齢：( )歳</p> <p>○あなたは次の項目のどれに含まれますか。</p> <p>【小学生】</p> <p>1.小学校低学年(1,2年) /2.小学校中学年(3,4年) /3.小学校高学年(5,6年)</p>

	<p>【中学生・高校生】</p> <p>1. 中学1年生 /2. 中学2年生 /3. 中学3年生 / 4. 高校1年生 /5. 高校2年生 /6. 高校3年生</p> <p>【スポーツ団体・障がい者団体】</p> <p>1. スポーツ団体の運営者 /2. スポーツ団員 / 3. 障がい者団体の運営者 /4. 障がいのある方(団員) / 5. 介護者・スポーツ介助者(団員)</p> <p>【「4.障がいのある方」を選択した方へ】</p> <p>○障がいの種別を回答可能な範囲でお答えください。</p> <p>※ご自身での回答が難しい場合、介護者の方も回答可能です。</p> <p>1. 身体障がい(視覚・聴覚障がい、肢体不自由など) /2. 知的障がい / 3. 精神障がい (参照：日本パラスポーツ協会)</p>
○利用頻度	<p>○あなたは、この総合体育館を利用したことがありますか。</p> <p>1. 利用したことがある /2. いいえ、利用したことがない</p> <p>【「1」を選択した方へ】現在、総合体育館をどの程度の頻度で利用していますか。</p> <p>1. 週に3回以上 /2. 週に1~2回 /3. 月に1~3回 / 4. 年に数回程度</p> <p>【「2」を選択した方へ】総合体育館を利用したことがない主な理由は何ですか。(複数回答可)</p> <p>1. 興味が無い /2. 自宅や職場から遠い /3. 利用料金が高いと感じる /4. 設備・サービス内容が自分のニーズに合わない /5. 営業時間が合わない(遅い、早いなど) / 6. その他( )</p>
○利用交通手段	<p>○総合体育館への利用交通手段は何ですか。</p> <p>1. 徒歩 /2. 自転車 /3. 車 /4. 電車 /5. バス</p> <p>(※小学生、中学生・高校生の場合、3.車は「3.保護者送迎の車」と記載)</p>
○アクセス利便性に対する意見	<p>○総合体育館へのアクセスについて現在の満足度をお聞かせください。</p> <p>1. 非常に満足(アクセスしやすい) /2. ある程度満足 /3. やや不満(アクセスしにくい) / 4. 非常に不満</p>
○施設全体の満足度	<p>○総合体育館の施設全体に対する総合的な満足度をお答えください。</p> <p>1. 非常に満足 /2. やや満足 /3. どちらでもない /4. やや不満 /5. 非常に不満</p>
○利用料金の満足度	<p>○総合体育館の現在の利用料金(施設利用料、教室参加費など)に満足していますか。</p> <p>1. 大いに満足 /2. ある程度満足 /3. やや不満 /4. 大いに不満</p>

次ページ以降にて、対象別設問項目の概要、対象別の設問回答フローを記載する。

(7) 対象別設問項目の概要

アンケート対象		対象者の活動目的	設問用途方針	設問項目概要
A. 小学生 (保護者を含む)		<ul style="list-style-type: none"> <li>遊び</li> <li>スポーツ教室/イベントの参加</li> <li>保護者と同伴の活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①利用目的</li> <li>②施設利用の満足度</li> <li>③保護者視点での安心/安全体制</li> <li>④付帯施設</li> <li>⑤新施設への意見</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①利用目的</li> <li>②施設利用の満足度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用環境の課題</li> </ul> </li> <li>③保護者視点での防犯体制に対する意見 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯体制の充実度</li> </ul> </li> <li>④付帯施設の必要性</li> <li>⑤新施設への要望 <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望する遊び場所・内容</li> <li>・希望するスポーツ教室の種目・内容</li> </ul> </li> </ul>
B. 中学生、高校生		<ul style="list-style-type: none"> <li>授業</li> <li>部活動</li> <li>トレーニング</li> <li>スポーツ教室/イベントの参加</li> <li>自習・交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①利用目的</li> <li>②施設利用の満足度</li> <li>③部活動利用に対する意見</li> <li>④付帯施設</li> <li>⑤希望のスポーツ教室・イベント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①利用目的</li> <li>②施設利用の課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・予約システムに対する意見</li> </ul> </li> <li>③部活動トレーニング設備の満足度や不備</li> <li>④付帯施設の必要性 <ul style="list-style-type: none"> <li>・更衣室・ミーティングルームの必要性</li> </ul> </li> <li>⑤学校外部活動種目の希望 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツスクールの必要性</li> </ul> </li> </ul>
C. 学校教職員		<ul style="list-style-type: none"> <li>授業</li> <li>部活動</li> <li>避難訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①利用目的</li> <li>②学校利用時の意見</li> <li>③学校と施設の連携面の課題</li> <li>④施設運営への意見</li> <li>⑤防災設備の充実度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①利用目的</li> <li>②学校側の利用時間帯・形態 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行への要望</li> <li>・部活動の大会運営への意見</li> </ul> </li> <li>③一般利用者との動線・時間帯の混在に対する意見</li> <li>④施設利用の柔軟性に対する意見</li> <li>⑤避難訓練時の不備等</li> </ul>
D. その他一般利用者 (高齢者を含む)		<ul style="list-style-type: none"> <li>各種スポーツの実施</li> <li>トレーニング</li> <li>スポーツ教室・イベントの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①利用目的</li> <li>②利用時間帯</li> <li>③施設利用の満足度</li> <li>④施設設備への意見</li> <li>⑤健康意識/希望のスポーツ教室・イベント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①利用目的</li> <li>②利用時間帯</li> <li>③施設利用の課題</li> <li>④新施設への要望 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設に対して求める機能</li> </ul> </li> <li>⑤利用者の健康意識に対する考え <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に向けたイベントの充実度</li> <li>・希望するスポーツ教室・イベント</li> </ul> </li> </ul>
E.	E-1. スポーツ団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ教室/イベントの開催</li> <li>大会の開催/運営</li> <li>団体内でのスポーツ実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①利用目的</li> <li>②施設の利用状況</li> <li>③現存施設状態の評価</li> <li>④施設の維持管理/運営に対する考え</li> <li>⑤今後の整備/運営方針への考え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①利用目的</li> <li>②回答団体の属性</li> <li>③現状総合体育館の評価</li> <li>④施設の維持管理に対する意見 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会開催時の環境に対する考え</li> <li>・予約公平性への意見</li> <li>・施設の地域貢献への考え</li> </ul> </li> <li>⑤総合体育館管理の方針への考え <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の整備のあり方に対する意見</li> </ul> </li> </ul>
	E-2. 障がい者団体 (障がいのある方/介護者、スポーツ介助者を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者に向けたスポーツ教室/イベントの開催</li> <li>大会の開催/運営</li> <li>パラスポーツの実施(個人利用)</li> <li>障がい者スポーツの実施介助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①利用目的</li> <li>②パラスポーツ実施への意見</li> <li>③希望のバリアフリー設備</li> <li>④希望のスポーツ教室・イベント</li> <li>⑤パラスポーツ実施環境への意見</li> <li>⑥障がい者へのサポート体制</li> <li>⑦災害時における対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①利用目的</li> <li>②パラスポーツ実施可能種目の希望</li> <li>③バリアフリー設備の充実度(介護者・スポーツ介助者視点の意見も含む)</li> <li>④障がい者のための体験教室・イベントの充実度</li> <li>⑤パラスポーツ実施環境の拡充に向けた意見</li> <li>⑥障がい者利用に対する情報・人的サポート体制の充実度</li> <li>⑦災害時の安全・安心体制に対する意見</li> </ul>

(8) 対象別の設問回答フロー

A) 小学生

設問項目概要	詳細設問項目
①利用目的	○総合体育館を利用する目的は何ですか。 1. 遊び /2. スポーツ教室 /3. 保護者と同伴の活動 /4. その他 ( )
↓	
②施設利用の満足度	○今の総合体育館の遊び場は楽しいですか。 1. とてもそう思う /2. まあそう思う /3. あまりそう思わない / 4. 全然そう思わない
②利用環境の課題	○子供の利用で不便な点は何ですか。 1. トイレが古い/洋式が少ない /2. 空調がない/効かず、暑い・寒い / 3. 施設が老朽化し、床や備品が破損 /4. 駐車場が少ない/大会時に混雑 / 5. 飲食・休憩スペースがない、少ない
↓	
③保護者視点での防犯体制に対する意見	○保護者から見た、施設の防犯体制に対する意見をお聞かせください。 1. 施設への外部からの出入り管理が不十分である /2. 監視の目が行き届かない場所や死角が多い /3. 防犯機器（防犯カメラ・非常ベル等）の設置が不足している /4. 防犯教育や緊急時の対応ルールが浸透していない
③防犯体制の充実度	○総合体育館が新しくなったら、もっと安全になるためにどんなことをしてほしいですか。 1. 危ない場所がないかチェックする /2. けがをしたときにすぐに手当てしてもらおう /3. 不審な人がいないか見回る /4. その他 ( )
↓	
④付帯施設の必要性	○総合体育館に、勉強や読書ができる静かな部屋があったら利用したいですか。 1. とても利用したい /2. 利用したい /3. あまり利用したくない /4. 全く利用したくない  ○総合体育館にあったら嬉しいと思う施設は他にありますか。 1. 小さい子向けの遊び場 /2. 飲み物や軽食を買える売店 /3. 荷物を入れておけるロッカー /4. シャワー室 /5. その他 ( )
↓	
⑤新施設への要望	○新総合体育館で最も期待する機能は何ですか。 1. キッズスペース/授乳室の設置 /2. 子供料金の無料化・低額維持 /3. 施設のバリアフリー化（ベビーカー対応） /4. 子供向けのスポーツ教室・イベント /5. 親子で楽しめる多目的室の設置 /6. その他 ( )

次へ続く

⑤希望する遊び場所・内容	○総合体育館で一番やりたい遊びはどれですか。 1. ドッジボール・バスケットボールなどのボール遊び /2. 鬼ごっこ・なわとびなどの運動遊び /3. クライミングウォールなどの遊具遊び /4. 工作・お絵かきなどの静かな遊び /5. その他 ( )
⑤希望するスポーツ教室の種類・内容	○総合体育館で習ってみたい、または参加したいイベントはありますか。 1. ダンス・体操教室 /2. サッカーやバスケなどのスポーツ教室 /3. 工作や料理などの体験イベント /4. お祭りやゲーム大会 /5. その他 ( )  ○習い事やイベントは、どれくらいの時間だと参加しやすいですか。 1. 30分くらい /2. 45分くらい /3. 1時間くらい /4. 1時間以上  ○総合体育館のお知らせはどこで見えていますか。 1. 学校でもらったプリント /2. 家の人から聞いた /3. 総合体育館の掲示板 / 4. その他 ( )  ○子供の利用に適した時間はどれですか。（保護者への質問） 1. 平日の日中 /2. 平日の放課後 /3. 土日祝日の午前中 /4. 土日祝日の午後 / 5. 長期休暇中の平日の日中

B) 中学生・高校生

設問項目概要	詳細設問項目
①利用目的	○総合体育館を利用する目的は何ですか。 1. 授業 /2. 部活動 /3. トレーニング /4. スポーツ教室 /5. 自習・交流 / 6. その他 ( )
↓	
②施設利用の課題	○総合体育館利用で最も困ることはどれですか。 1. 希望の時間帯に予約が取れない /2. 部活動に使える時間帯が短い・少ない /3. 競技備品(ネット、支柱)が古く壊れている /4. 総合体育館の床・ライン が練習に適さない /5. 利用時間が短い(夜間や早朝の開放がない) /6. その他 ( )
②予約システムに対する意見	○予約システムで改善すべき点は何ですか。 1. 予約の抽選回数を増やす /2. 学生団体向けに優先枠を設ける /3. 無断キャン セルへのペナルティを強化する /4. 予約状況をスマホで確認できるように する /5. その他 ( )
↓	
③部活動トレーニング設備の 満足度や不備	○部活動での利用において、トレーニング設備は充実していると思いますか。 1. 大いに充実している /2. ある程度充実している /3. やや不備がある /4. 全 く不備がある  ○競技力向上に最も必要な設備は何ですか。 1. トレーニングジムの充実と利用延長 /2. メイン・サブアリーナの増設/拡大 /3. 最新ルール対応のコートライン整備 /4. 大会・試合形式で利用できる環境 /5. 競技に応じた専用練習室の確保 /6. その他 ( )  ○新総合体育館に特に必要だと思うトレーニング設備はどれですか。 1. ウェイトトレーニング専用器具(バーベル、ベンチなど) /2. ランニングマ シン・エアロバイク /3. 専門的なストレッチ・体幹トレーニングスペース /4. スポーツクライミングウォール /5. その他 ( )  ○部活動で利用する際、最も不足していると感じるスペースは何ですか。 1. 活動コートやフロアの広さ /2. 準備運動・クールダウンのための補助スペ ース /3. 器具庫・倉庫の広さ /4. 観客席の有無や広さ /5. その他 ( )
↓	
④付帯施設の必要性	○総合体育館に試験勉強や自習に利用できる静かなスペースは必要ですか。 1. とても必要(毎日利用したい) /2. 必要(たまに利用したい) /3. あまり必 要ない /4. 全く必要ない  次へ続く

④更衣室・ミーティングルー ムの必要性	○更衣室について、現在の不満点は何ですか。 1. スペースが狭い /2. ロッカーが少ない、またはない /3. プライバシーが保 たれていない /4. 清潔感がない /5. シャワー室がない /6. その他 ( )  ○部活動に利用できるミーティングルームは必要ですか。 1. とても必要(常に利用したい) /2. 必要(あれば利用したい) /3. あまり必 要ない /4. 全く必要ない  ↓
⑤学校外部活動種目の希望	○総合体育館で部活動以外に利用したいスポーツ種目は何か。 1. バドミントン /2. 卓球 /3. フリーウェイトトレーニング /4. ダンス・ヨガ /5. 武道(柔道・剣道など) /6. その他 ( )
⑤スポーツスクールの必要性	○総合体育館で、プロのコーチや専門家から指導を受けられるスポーツスク ール・講座があれば参加したいですか。 1. とても参加したい /2. 参加したい /3. あまり参加したくない /4. 全く参加 したくない

C) 学校教職員

設問項目概要	詳細設問項目
①利用目的	○総合体育館を利用する目的は何ですか。 1. 授業 /2. 部活動 /3. 避難訓練 /4. その他 ( )
↓	
②学校側の利用時間帯・形態	○総合体育館における年間を通じて最も利用頻度が高い時期・時間帯をお選びください。 1. 体育授業時間(平日午前・午後) /2. 部活動時間(平日放課後) /3. 部活動・大会等(土日祝日) /4. 学校行事(始業式、卒業式など) /5. その他 ( )  ○授業・行事・部活動のそれぞれの利用形態において、現行施設で最も支障をきたしている点は何ですか。 1. 器具の出し入れの動線が悪い /2. 一般利用者と利用スペースが混在する / 3. 各部活動の専用スペースがない /4. 利用時間の確保が困難 / 5. その他 ( )
②地域移行への要望	○地域移行で総合体育館に期待する役割は何ですか。 1. 学校に代わる安定した練習場所の提供 /2. 地域指導者の育成・研修の場 / 3. 学校との利用調整をスムーズにすること /4. 学校と連携したスポーツイベントの企画 /5. 施設の予約を数ヶ月単位で可能にすること / 6. その他 ( )
②部活動の大会運営への意見	○学校部活動における大会の運営で改善してほしい点は何ですか。 1. 会議室/控室/医務室などの諸室の充実 /2. 観客席の増設や見やすさの改善 / 3. 競技エリアへの搬入出のしやすさ /4. 駐車場・駐輪場のスペース拡大 / 5. 総合体育館の清潔感と清掃体制の強化 /6. その他 ( )
↓	
③一般利用者との動線・時間帯の混在に対する意見	○新総合体育館において、学校生徒と一般利用者の動線(入口、廊下、更衣室など)は分離されるべきだと思いますか。 1. 完全に分離すべき /2. 可能な限り分離すべき /3. 分離の必要はない / 4. その他 ( )  ○一般利用者が利用する夜間や土日の総合体育館について、学校教職員による巡回・管理体制はどのようにあるべきだと思いますか。 1. 学校が主体となって管理すべき /2. 専門の管理者に完全に委託すべき / 3. 地域ボランティアに任せるべき /4. その他 ( )  ○一般利用者の駐車場や駐輪場が学校敷地内にある場合、生徒の登下校時の安全への影響について懸念点はありますか。 1. 一般乗用車と生徒の接触事故 /2. 一般利用者との利用動線の混在 / 3. 生徒の活動可能エリアの減少 /4. その他 ( )

次へ続く

↓	
④施設利用の柔軟性に対する意見	○施設利用の柔軟性についてどう考えますか。 1. 大会時も一般利用と動線を分けるべき /2. 学校行事を考慮した利用調整を優先すべき /3. 土日祝日/夜間の開館時間を延長すべき /4. 早朝など特定の時間帯を確保すべき /5. 平日の日中に学校体育優先の枠を設けるべき / 6. その他 ( )
↓	
⑤避難訓練時の不備等	○現行の総合体育館を避難所として使用する際、特に問題があると感じる点をお選びください。 1. 収容人数が不足している /2. 備蓄倉庫の容量が不足している /3. トイレ・水回りが不十分 /4. 暖房設備・冷房設備がない /5. 避難経路が分かりにくい / 6. その他 ( )  ○新総合体育館の設計において、火災や地震発生時の避難経路の安全性を高めるために、特に考慮すべき点をお選びください。 1. 避難階段の数を増やす /2. 出入口の数を増やす /3. 館内の段差の解消 / 4. その他 ( )

D) その他一般利用者

設問項目概要	詳細設問項目
①利用目的	○総合体育館を利用する目的は何ですか。 1. 各種運動 /2. スポーツ教室 /3. イベント /4. その他 (_____)
↓	
②利用時間帯	○現在、この総合体育館を主に利用する曜日・時間帯をお選びください。 1. 平日午前中(9:00~12:00) /2. 平日午後(12:00~17:00) /3. 平日夜間(17:00~21:00) /4. 土曜日 /5. 日曜日・祝日 /6. 利用したことがない  ○新総合体育館では、一般開放の時間を増やすべきだと思いますか。 1. 平日の夜間を増やすべき /2. 土日祝日を増やすべき / 3. 特に増やさなくて良い
↓	
③施設利用の課題	○総合体育館利用で最も不便な点は何ですか。 1. トイレ・更衣室の老朽化・清潔感の不足 /2. 希望の時間帯に予約が取れない /3. 段差が多く、移動が不便 /4. 無断キャンセルが多く、空き枠がない / 5. ロッカーやシャワーの利用料が高い /6. その他 (_____)
↓	
④新施設への要望	○新総合体育館で最も重視する点は何ですか。 1. 個人/少人数でも気軽に利用できる /2. 日常的な健康づくりを支援する機能 /3. 空調設備の完備と快適性の向上 /4. 運動指導者/インストラクターの配置 /5. 柔軟な開館日/時間の設定と周知 /6. その他 (_____)
④施設に対して求める機能	○スポーツ以外の利用に必要な機能は何ですか。 1. 災害時の避難所としての機能 /2. 地域住民の交流スペース/カフェ / 3. イベントや展示会も可能な多目的スペース /4. 行政情報などを発信する場 /5. その他 (_____)
↓	
⑤利用者の健康意識に対する 考え	○新総合体育館に、ご自身の健康意識を高める上でどのような機能やサービスを期待しますか。 1. トレーニング機器の充実 /2. プログラム(ヨガ、エアロビなど)の多様化 / 3. 健康測定・体力評価サービス /4. 健康相談・栄養指導 /5. 清潔で快適な更衣室・シャワー室 /6. その他 (_____)
⑤高齢者に向けたイベントの 充実度	○高齢者向けのイベント・プログラムは充実していると思いますか。 1. 非常に充実している /2. ある程度充実している /3. 不足している / 4. 全く不足している

次へ続く

⑤希望するスポーツ教室・イベント	○総合体育館で参加したい、または家族・知人に参加してほしいスポーツ教室・イベントは何ですか。 1. ヨガ・ピラティス /2. 地域の健康維持体操・ストレッチ教室 /3. 卓球・バドミントンなどのレクリエーションスポーツ /4. 子供向けのスポーツ体験教室 /5. 文化・学習系の講座(例:栄養学、応急手当) /6. その他 (_____)
------------------	--

E) スポーツ団体・障がい者団体

E-1) スポーツ団体

設問項目概要	詳細設問項目
①利用目的	○総合体育館を利用する目的は何ですか。 1. スポーツ教室・イベントの開催 /2. 大会の開催・運営 / 3. 団体内でのスポーツ実施 /4. その他 ( )
↓	
②回答団体の属性	○貴団体の名称、主な活動種目、構成人数、構成員の年代は何ですか。 活動種目：1. 団体球技（バスケ、バレー等）/2. 個人競技（バドミントン、卓球等） 3. 武道系 /4. ダンス・体操系 /5. その他 ( ) 構成人数：1. 5名未満 /2. 5～10名 /3. 11～20名 /4. 21名以上 年代：1. 10代以下 /2. 20～30代 /3. 40～50代 /4. 60代以上
↓	
③現状総合体育館の評価	○現状の総合体育館設備に関する満足度をお答えください。 1. 非常に満足 /2. やや満足 /3. どちらでもない /4. やや不満 /5. 非常に不満  ○付属設備（更衣室、シャワー、トイレなど）の清潔さ・利便性に対する満足度をお答えください。 1. 非常に満足 /2. やや満足 /3. どちらでもない /4. やや不満 /5. 非常に不満  ○新総合体育館の設備で優先度が高いものをお選びください。 1. 冷暖房設備の完備 /2. LED 照明（照度調整機能付き）/3. バリアフリーの徹底（エレベーター、多機能トイレなど）/4. Wi-Fi 環境の整備 /5. 音響設備の強化 /6. 休憩スペース（ロビー等）の充実 /7. その他 ( )  ○総合体育館の予約・管理体制について、改善を希望する点をお選びください。 1. インターネットでの予約・空き状況確認 /2. 利用料金のキャッシュレス決済対応 /3. 利用時間区分の柔軟化（例：30分単位の利用など）/4. 土日祝日の利用時間延長 /5. その他 ( )
↓	
④施設の維持管理に対する意見	○施設の維持管理の方向性についてどう考えますか。 1. 利用者による清掃/整備を分担すべき /2. 利用料を徴収し、施設改修に充てるべき /3. 利用者が少ない施設は統合/廃止すべき /4. 行政の負担で、すべての施設を維持すべき /5. 施設スタッフの専門性を高めるべき / 5. その他 ( )
④大会開催時の環境に対する考え	○団体活動・大会開催で重視する点は何ですか。 1. プロスポーツ・大規模大会が開催できる規格 /2. 観客席の増設/快適性の向上 /3. 照明・映像・放送設備の最新化 /4. 競技エリアの広さ・サブアリーナの有無 /5. 大会後の懇親会などに使える場所 /6. その他 ( )

次へ続く

④予約公平性への意見	○予約システムで改善すべき点は何ですか。 1. 抽選の公平性を確保する /2. 無断キャンセルへのペナルティ導入 / 3. 団体利用が優先的に行える仕組み /4. 予約状況や空き状況のリアルタイム公開 /5. 数ヶ月先の予約を可能にする
④施設の地域貢献への考え	○新施設が地域に貢献すべきことは何ですか。 1. プロスポーツ誘致による地域経済活性化 /2. 地域住民の健康増進への貢献/ 3. 学校体育や部活動への支援 /4. 防災拠点としての機能の強化 / 5. その他 ( )
↓	
⑤総合体育館管理の方針への考え	○総合体育館の管理・運営方法として、今後最も望ましいものはどれですか。 1. 行政による直営（公的サービスとしての安定性を重視）/2. 指定管理者制度（民間ノウハウの活用による効率化・サービス向上を重視）/3. 地域 NPO 団体による運営（利用者目線での柔軟な運営を重視）/4. その他 ( )
⑤今後の整備のあり方に対する意見	○貴団体にとって、新総合体育館の整備において最も優先されるべきことは、次のうちどれですか。 1. 機能性・専門性の向上（競技に必要なコート数、高さ、設備等の充実）/ 2. アクセス・利便性の向上（立地、駐車場、予約システムの改善）/ 3. 経済性・持続可能性（維持管理費が抑えられる設計、環境配慮）/ 4. その他 ( )

E-2) 障がい者団体（障がいのある方/介護者、スポーツ介助者を含む）

設問項目概要	詳細設問項目
①利用目的	○総合体育館を利用する目的は何ですか。 1. 障がい者に向けたスポーツ教室・イベントの開催 /2. 大会の開催・運営 / 3. パラスポーツの実施（個人利用） /4. 障がい者スポーツの実施介助 / 5. その他（_____）
↓	
②パラスポーツ実施可能種目の希望	○現在総合体育館で利用できるパラスポーツの種目数や機会は十分だと思いますか。 1. 非常に充実している /2. ある程度充実している /3. 不足している /4. 全く不足している  ○新総合体育館で実施を希望するパラスポーツ種目は何ですか。 1. 車いすバスケットボール /2. ボッチャ /3. 視覚障がい者柔道 /4. ブラインドサッカー /5. パラバドミントン /6. 特に希望なし /7. その他（_____）  ○パラスポーツを実施するために、最も不足している設備・器具は何だと思いますか。 1. 競技用の特殊なコートやライン /2. 競技用の車いすやボール /3. 障がいの特性に合わせた音響・照明設備 /4. 器具の保管・搬入出スペース / 5. その他（_____）
↓	
③バリアフリー設備の充実度（介護者・スポーツ介助者視点の意見も含む）	○新総合体育館で特に改善・充実してほしいバリアフリー設備は何ですか。施設設備とスポーツ設備それぞれお答えください。 【施設設備】 1. 多機能トイレ（オストメイト対応、おむつ交換台など） /2. 車いす対応の更衣室・シャワー室 /3. 視覚障がい者向けの誘導ブロック・音声案内 /4. 聴覚障がい者向けの筆談・表示システム /5. 総合体育館入口までの屋根付き通路 / 6. その他（_____） 【スポーツ設備】 1. パラスポーツ用器具・用具の種類と数の大幅な充実 /2. 可動式で高さ調整可能な主要設備の導入 /3. 補助・介助に特化したスポーツ設備の整備（介助者が利用しやすい手すりの設置など） /4. トレーニング・リハビリ機器のバリアフリー化 /5. 競技エリア内の情報伝達・安全設備の改善（聴覚障がい者向けの伝達機器、視覚障がい者向けの音声競技案内など） /6. その他（_____）
↓	
④障がい者のための体験教室・イベントの充実度	○障がいのある方が参加しやすいスポーツ体験教室やイベントは充実していると思いますか。 1. 非常に充実している /2. ある程度充実している /3. 不足している / 4. 全く不足している

次へ続く

	○イベントに参加するに当たり、最も重視するサポートは何ですか。 1. 専門知識を持つ指導員・スタッフ /2. 医療・看護体制の確保 /3. 参加者同士の交流機会 /4. 適切な休憩時間や場所の確保 /5. その他（_____）  ○障がい者利用に関する情報提供（利用可能時間、設備情報など）は分かりやすいですか。 1. 非常に分かりやすい /2. ある程度分かりやすい /3. 分かりにくい /4. 全く分からない
↓	
⑤パラスポーツ実施環境の拡充に向けた意見	○新施設で最も必要な設備・機能は何ですか。 1. パラスポーツ専用の練習環境 /2. 誰もが使える安全な多目的室 /3. 車いす利用者を考慮した動線とスペース /4. 障がい者も利用しやすいトレーニング設備 /5. 利用料金の減免制度の充実 /5. その他（_____）  ○パラスポーツの推進に必要なことは何ですか。 1. 障がい者スポーツ指導員の配置 /2. パラスポーツ団体の優先利用枠 /3. 体験会やイベントの定期的開催 /4. 施設職員へのパラスポーツ研修 / 5. その他（_____）
↓	
⑥障がい者利用に対する情報・人的サポート体制の充実度	○総合体育館に、手話通訳や筆談対応ができるスタッフが常駐する必要性についてどう思いますか。 1. 大いに必要 /2. あれば望ましい /3. あまり必要ない /4. その他（_____）
↓	
⑦災害時の安全・安心体制に対する意見	○非常時の対応で重視する点は何ですか。 1. 災害時の避難所としての機能確保 /2. 障がい者を考慮した避難誘導體制 / 3. 医療機関へのアクセス（距離・時間） /4. 施設内での緊急連絡・通報体制 / 5. 避難器具や設備の充実 /6. その他（_____）

※巻末資料に参照事例を掲載する。

## 6.2 第6章まとめ

### (1) 小学生への主な設問項目

#### ○遊び場所など付帯施設の必要性への考え

- ・ドッジボールなどのボール遊びに加え、クライミングウォール、工作・お絵かきなどの「静かな遊び」のニーズを調査する。
- ・勉強や読書ができる部屋、売店、小さい子向けの遊び場など、親子での利用を想定した設備の必要性を確認する。

#### ○施設内の防犯体制への意見

- ・外部からの出入り管理、監視の死角、防犯カメラ等の設置状況など、子供の安全面に対する保護者視点での考えを確認する。

### (2) 中学生・高校生への主な設問項目

#### ○学校部活動の実施環境の要望

- ・ミーティングルームの必要性や、大会・試合形式で利用できる環境整備、最新ルールに対応したコートラインの希望を収集する。

### (3) 学校教職員への主な設問項目

#### ○学校部活動の地域移行への考え

- ・学校に代わる安定した練習場所の提供や、地域指導者の育成、学校との円滑な利用調整など部活動地域移行に対する現状の評価や意見を確認する。

#### ○学校利用と一般利用の混在に対する意見

- ・授業や部活動の円滑な実施のため、入口、廊下、更衣室などの空間的な動線や利用時間帯を一般利用者と区別するべきか設問し意見を収集する。

### (4) その他一般利用者への主な設問項目

#### ○多世代に向けたイベントの充実度への意見

- ・高齢者に特化したイベントやスポーツ体験教室など体育館としての取組の充実度を伺い、施設の地域への連携や共生社会の実現に向けた今後の体育館に必要な機能を確認する。

### (5) スポーツ団体/障がい者団体への主な設問項目

#### ○団体利用時の評価/障がい者に向けたイベントの充実度への意見

- ・大会開催時の環境や、予約の公平性、キャッシュレス決済の導入など、団体利用の際の考えを収集し利用円滑化への参考意見とする。
- ・障がい者に向けたイベントに対し、介護者/スポーツ介助者の意見も併せて収集する。


#### ○施設のハード・ソフト面の評価

- ・スロープやバリアフリートイレなどの設備面、視覚障がい者向け音声案内、聴覚筆談や表示システムなどの人的サポート面の両面の意見を収集し、施設としての包括的な支援体制の向上への参考意見とする。

# 資料編

## 1. 個票 20 事例

### ○施設概要

事例番号	1		
名称	品川区立総合体育館		
所在地	東京都品川区東五反田2丁目11番2号		
整備種別/開館年月日	移転/平成18年4月		
敷地面積(m <sup>2</sup> )	10,178.86		
延床面積(m <sup>2</sup> )	8,479.00		
建築面積(m <sup>2</sup> )	7,657.94		
導入施設	競技場(アリーナ)	バスケットボール(2面)、バレーボール(3面)、パドミントン(10面-12面)、テニス(2面)、卓球(34台)	
	武道場	柔道(柔道場)、合気道(柔道場)、剣道(剣道場)、空手道(剣道場)、その他武道	
	卓球・レクリエーション室	卓球(6台)、ダンス、日本民謡、社交ダンス	
	温水プール (日野学園温水プールを区民開放)	水泳(25m、6コース)	
	トレーニング室	トレーニング(マシンジムなど)	

### ○自治体の計画・条例・取組

	自治体名	東京都品川区	人口(人) ※R2 国勢調査	422,488	
	目的	期間	内容		
			ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
品川区スポーツ推進計画	「輝く笑顔 住み続けたいまち しながら」 観光、健康増進、介護予防、障がい者福祉、学校教育などに関連するものとして幅広く捉え、区民のスポーツ活動を推進する。	令和3年度～ 令和12年度	(1)誰もがスポーツに親しめる機会づくり (2)気軽にスポーツを楽しめる環境づくり (3)区民のスポーツ活動を広げる担い手づくり (4)新たな時代を笑顔でつなぐスポーツの推進  ・障がい者のスポーツ推進		
品川区障害者計画	「自分らしく、あなたらしく、共感と共生の社会へ～だれもが自分らしく暮らし、しあわせを実感できるまち、しながら～」 障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が分け隔てなく地域で共に暮らす共生社会の実現を目指す。	令和6年度～ 令和11年度	(1)地域で安心して暮らすことができる (2)自分らしく生き生きと暮らすことができる (3)すべての人が共に支え合い暮らすことができる  ・文化芸術活動・スポーツ等の振興		
障害者スポーツチャレンジ	・ボッチャの普及 ・ブラインドサッカーの機運醸成	—	・ボッチャ、ブラインドサッカーの体験実施		

### ○整備概要

整備の経緯	旧体育館の老朽化 第二日野小学校と日野中学校を母体として、少子化による児童・生徒の減少に対応し学校と体育館を一体化した複合施設として整備
事業スケジュール	平成15年度～平成17年度：建設期間 平成18年4月：供用開始(学校開館)
事業費	総建設費約24億円(学校建設費を含む)
整備/管理・運営方式	指定管理者制度<公益財団法人品川区スポーツ協会>
官民の役割分担	・体育館受付業務 ・子供・高齢者等世代別に合わせたスポーツ教室の実施 ・トレーニング室の運営 ・その他施設の維持及び修繕(清掃など)
管理・運営面の特色	○学校との複合施設化としてのメリット ・建設維持管理費の削減 ・日々の授業や部活動で利用しやすくなることで、学校教育と地域スポーツの連携が強化
その他当該体育館の特徴	・学校内温水プールは、日野学園の授業時間外に一般開放 →施設が有効活用され、稼働率が向上

### ○ユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況

		ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
施設	ハード	—	—	・障がい者専用駐車スペース ・バリアフリースイッチ ・オストメイト対応トイレ ・車いす対応エレベーター
	ソフト	・施設利用料：区内在住の障がいのある方・70歳以上の方は無料		
スポーツ設備	ハード	—	—	—
	ソフト	・障がい者水泳教室(日野学園温水プール)：小学3年生以上の知的・身体障がい者を対象として月に2回ほど実施 ・障がい者スポーツフリー利用(総合体育館)：月に1回の実施 軽スポーツ(縄跳び・フリスビー・卓球・パウンドテニス・トランポリン)等		

○施設概要

事例番号	2		
名称	上井草スポーツセンター		
所在地	東京都杉並区上井草3丁目34番1号		
整備種別/開館年月日	改修/平成31年4月		
敷地面積(㎡)	45,088.00		
延床面積(㎡)	10,279.17		
建築面積(㎡)	—		
導入施設	体育館		バスケット、バドミントン、バレーボール・卓球など
	小体育館		卓球・バドミントン、剣道など
	トレーニング室		マシントレーニング
	温水プール	一般用(6コース、25m×13m、水深1.2m~1.35m) 幼児用(15m×9m、水深0.4mと0.75m)	
	弓道場	弓道、アーチェリー	
	ゲートボール場・小運動場	ゲートボール、フットサル、ミニサッカーなど	

○自治体の計画・条例・取組

	自治体名		東京都杉並区		人口(人) ※R2 国勢調査	591,108
	目的	期間	内容			
			ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー	
杉並区スポーツ推進計画 「健康スポーツライフ杉並プラン」	「健康スポーツライフ杉並 始める 続ける 広がる スポーツを通じた絆のあるまち」 区民一人ひとりが、スポーツを「始める」「続ける」ことにより、生涯にわたり健康で豊かな生活を送る。	令和4年度～ 令和12年度	(1)子供(18歳未満)のスポーツ・運動・遊びの推進 (2)大人(18歳以上)のスポーツ・運動の推進 ○障がい者スポーツの推進 (3)誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり ○杉並らしさを生かしたスポーツ環境の充実 ○スポーツに親しむことができる場の充実	・障がい者スポーツネットワークの推進 ・障がい者のスポーツ・レクリエーションの普及啓発 ・障がい者スポーツネットワークの推進(ユニバーサルタイムの実施) ・施設のユニバーサルデザインの推進	—	
杉並区障害者施策推進計画	「個性や意思が尊重され、自分らしく暮らせる杉並の実現～いいよね、すぎなみ～」	令和6年度～ 令和8年度	(1)障がい者の権利を守り、障がいを理解するための取組の推進 (2)ライフステージや様々な場面に応じたきめ細やかな支援の充実 (3)介護者や支援者も支える地域の仕組みの構築	・スポーツ・レクリエーション活動の推進 一障がいのある人もない人も共に参加するスポーツ・レクリエーションの体験イベント等を通じて障がい者がスポーツ等を行うきっかけを作る。	—	
東京2025 デフリンピック 応援イベント	デフアスリートとの交流・体験会	—	・デフ陸上、デフ卓球、デフビーチバレーボールの体験	—	—	

○整備概要

整備の経緯	施設の老朽化、安全対策 →天井安全対策その他工事(体育館・小体育館・プールにて照明器具のLED化) 受変電設備改修工事、昇降機(エレベーター)・駐車場システム更新、空調設備改修その他工事
事業スケジュール	平成30年11月～平成31年3月:改修工事期間
事業費	総改修費3億4,560万円(上井草運動場の改修工事費を含む)
整備/管理・運営方式	指定管理者制度<TAC・FC東京・MELTEC 共同事業体>
官民の役割分担	・施設の窓口・受付 ・プール等のスポーツ指導や監視・管理 ・健康増進を目的としたイベント等の企画・実施 ・施設内の清掃・点検
管理・運営面の特色	○プロのチームを招聘したイベントの開催 ・指定管理者であるTACやFC東京よりコーチングスタッフを招き、スポーツ振興に向けたイベントや体験教室の開催が可能 ○施設利用者の健康維持をサポート ・施設内に整骨院が併設されており、スポーツ後の体のケアやコンディショニングに関する相談が可能
その他当該体育館の特徴	・ふらっと広場:コミュニティベースとして飲食の利用が可能で、家族連れやグループで気軽に利用できる環境を整備することで、高齢者など幅広い層が利用できる空間を創出 ・近隣の小中学校や児童館などへ指導員を派遣する出張教室を行っており、スポーツ普及の観点で地域全体に貢献

○ユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況

		ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
施設	ハード	—	—	・車いす専用観覧スペース ・障がい者優先の更衣室(家族更衣室として、身体障がい者用更衣室を利用可能) ・バリアフリートイレ
	ソフト	・障害者手帳等を所有する身体・精神障がい者は温水プール、トレーニング室利用料金が半額 (貸切使用の時、使用者の過半数が障がい者(介護人含む)の場合は減額)	—	・車いすの貸し出しあり ・パラスポーツ指導員の資格を持つスタッフの配置
スポーツ設備	ハード	・体育館床:養生なしで、車いすスポーツの実施が可能	—	—
	ソフト	・カミスポ de シン・ユニスポの開催:ポッチャやフライングディスクなど障がいの有無にかかわらず、様々なユニバーサルスポーツの体験教室を実施 ・きらきらサッカー教室:知的障がい者を対象とした体験会を実施 ・オンラインダンスイベント:障がい者を対象として、音楽とダンスを組み合わせ「ボンダンス」を、理学療法士等専門職の監修のもと、区独自で制作し実施 ・ユニバーサルタイム:障がいがある人のスポーツ・運動のきっかけづくりの場 軽い運動やウォーキング、ボール種目(フライングディスク、卓球等)等	—	—

○施設概要

事例番号	3	
名称	袋井市総合体育館 (さわやかアリーナ)	
所在地	静岡県袋井市久能 1912 番地 1	
整備種別/開館年月日	改築/令和2年4月	
敷地面積(㎡)	35,068.25	
延床面積(㎡)	7,768.51	
建築面積(㎡)	9,747.00	
導入施設	メインアリーナ サブアリーナ 武道場兼多目的広場 トレーニング室	

○自治体の計画・条例・取組

	自治体名	静岡県袋井市		人口(人) ※R2 国勢調査	87,864
	目的	期間	内容		
			ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
第4次袋井市スポーツ推進計画	「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことのできるスポーツ文化の推進」計画的、かつ総合的に市民のスポーツ推進に取り組んでいくため。	令和3年度～令和7年度	(1)多様性に応じたスポーツ活動の推進 (2)誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の提供 (3)スポーツ活動を支える環境の充実 (4)アスリートの育成とトップスポーツに触れる機会の創出 (5)スポーツを通じた地域の活性化	・障がい者のスポーツ活動の充実 ・誰もが楽しめる障がい者スポーツの普及啓発・情報発信	—
第2次障がい者計画	「共に認め合い 支え合い 自分らしく生活できる共生社会を目指して」 一障がいのある人が住み慣れた地域でその人らしく自立した生活を送ることができるようにする。	令和6年度～令和11年度	(1)共生する地域づくり(啓発・広報) (2)地域での生活を支援する体制づくり(生活支援) (3)健康で安心できる環境づくり(保健・医療) (4)個々の状況に応じた働き方ができる環境づくり(雇用・就労) (5)子供の健やかな発達を支援する体制づくり(療育・保育・教育) (6)地域での参加を促す環境づくり(生涯学習・コミュニケーション) (7)すべての人にやさしいまちづくり(生活環境・防災)	・障がいを理由とする差別の解消の推進 ・生涯スポーツ活動の推進	—
・市民への体験会 ・パラスポーツフェスティバル ・障がい者スポーツ教室	障がいの有無にかかわらず、パラスポーツに対する互いの理解を深め、誰もが楽しく暮らせるまちづくりを目指す。	—	・アンプティサッカーや CP サッカーなどの障がいの特性に合わせ、ルールを独自に変え体験を実施	—	—


○整備概要

整備の経緯	旧体育館の老朽化 耐震性能の不十分や避難所としての利用が困難であること 市民スポーツの拠点となる施設の創出
事業スケジュール	平成29年2月1日：事業契約締結 平成29年3月～平成30年3月：設計期間 平成29年11月1日～令和元年9月：建設期間 令和元年10月～11月：開業準備等期間 令和元年12月1日～令和2年3月31日：プレオープン期間 令和2年4月1日：供用開始 令和2年4月～令和17年3月(15年間)：維持管理・運営期間
事業費	総事業費約62億7,000万円(建設費、15年間の管理運営費を含む)
整備/管理・運営方式	PFI-BT0方式<袋井アリーナPFI株式会社>
官民の役割分担	民間事業者が施設を建設し、施設完成直後に公共に所有権を移転し、民間事業者が維持管理及び運営を行う「PFI-BT0」方式により実施
管理・運営面の特色	○施設全体にユニバーサルデザインの要素 ・誰でも利用できる体育館を実現 — する、見る、支えるスポーツ環境の充実化/交流を生み出す施設 ・ライフサイクルコストの削減、自然エネルギーの活用(省エネルギー手法の導入)
その他当該体育館の特徴	○安全で利用しやすい配置・動線 ・観客及び施設の利用者は中央の「どまん中ストリート」やキャンピ、西側の歩行者出入口からアプローチが可能 ・トレーニング室、カフェ、子供広場を周回するウォーキングコースによって子供広場で遊ぶ子供たちが見守られる安全な環境を整備

○ユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況

		ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
施設	ハード	—	—	・車いす専用観覧席 ・聴覚障がい者に向けた高性能音響設備(360度無指向性)の設置 ・見通し確保のため四隅に退避場所の設置 ・段差の解消 ・男女更衣室表示板の貼り替え可 ・バリアフリートイレ
	ソフト	・トレーニング室、コミュニティエリア：障がい者は個人利用、回数券ともに利用料無料(高校生以下は添人1名必要)	—	—
スポーツ設備	ハード	・アリーナ床：タラフレックスを採用し養生なしで車いすスポーツの実施が可能	—	—
	ソフト	・スポーツフェスティバル開催：スポーツ体験教室の実施(射的、トランポリン、サッカー、卓球、バウンドテニス、バスケットボール、Tボール、ダンス)	—	—

○施設概要

事例番号	4	
名称	むつ市総合体育館 (むつマエダアリーナ)	
所在地	青森県むつ市真砂町9番1号	
整備種別/開館年月日	移転/令和2年9月	
敷地面積(㎡)	32,539.31	
延床面積(㎡)	8,010.00	
建築面積(㎡)	6,660.00	
導入施設	メインアリーナ	バスケットボール(2面)、バレーボール(2面)、バドミントン(10面)、テニス(2面)、卓球(12面)
	サブアリーナ	バスケットボール(1面)、バレーボール(1面)、バドミントン(4面)、テニス(1面)、卓球(6面)
	ランニングコース	—
	トレーニング室	各種トレーニング
	ボルダリング室	傾斜角度が異なる9つの壁面、競技会も開催可能
	多目的室	—

○自治体の計画・条例・取組

	自治体名	青森県むつ市	人口(人) ※R2 国勢調査		54,103
	目的	期間	内容		
			ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
むつ市スポーツ施設整備計画	施設の老朽化への対応や市民ニーズ、競技種目の多様化や施設機能と安全性向上のための施設整備が求められていることから、今後のむつ市のスポーツ施設整備の方針を示す。	令和6年度～令和15年度	—	—	・バリアフリー機能を含む施設機能不足の解消を図る。
むつ市障害者計画	「地域の中で自分らしい暮らしができるまちづくり」 障がいのある人が自立して自らの意思に基づいた活動ができる体制を構築する。	令和6年度～令和11年度	(1)障がいへの理解と交流・配慮ある地域づくり (2)地域で自立をめざせる生活支援の充実 (3)自分らしさを広げる社会参加の実現 (4)安全・安心して暮らせる地域づくり  ・生涯学習・スポーツ・芸術文化活動の推進	・住環境や施設、道路環境などにおける、バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の導入を促進	
青の煌めきあおもり障スポ	広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上を目指し、地方スポーツの推進と地方文化の発展を図る。	—	・障スポ競技にて、知的障がい者を対象とした、バスケットボールイベントを実施	—	—

○整備概要

整備の経緯	旧体育館の老朽化、耐震基準値の未達 バリアフリー化の非対応等から市民ニーズや社会的要請が挙げられた。
事業スケジュール	平成27年度：基本構想基本計画 平成28年度～平成29年度：基本設計実施設計 平成30年度～令和2年6月：建設期間 令和2年9月：供用開始
事業費	総建設費約44億9,293万円(管理運営費は除く)
整備/管理・運営方式	指定管理者制度<山内土木株式会社>
官民の役割分担	・施設の修繕、トレーニング機器等の管理 ・施設の清掃、設備点検 ・体育館を拠点とした運動プログラムの企画・提供
管理・運営面の特色	○隣接施設との一体管理・運営 ・市民のスポーツ・健康施設「むつ市ウェルネスパーク」と当該体育館を一体的に管理運営することで、敷地内にて包括的な運動プログラムやイベントを行うことが可能 ・30名の施設職員のほぼ全員を地元採用し、周辺の学校の体育学習や社会教育実習の受け入れに取り組むことで地域全体の発展に貢献
その他当該体育館の特徴	・マルチエリアに面した建具を開放し、メインアリーナとサブアリーナの一体的な使用が可能 ・競技会の開催可能なボルダリング室を整備 ・観覧席を移動式にし、イベントやレイアウトに合わせて観覧席の席数や高さを調節可能 ・当該体育館とむつ市ウェルネスパークをつなぐ広場により、施設全体の一体感のほかイベント時には交流や賑わいを創出

○ユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況

施設		ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
		ハード	—	—
スポーツ設備	ソフト	・プロバスケットボールチーム「青森ワッツ」の試合時に、障害者手帳を提示すると障がい者割引を適用	—	—
	ハード	・アリーナ床：養生なしで、車いすスポーツの実施が可能	—	—
	ソフト	・青の煌めきあおもり障スポ：車いすバスケットボールの体験実施	—	—

○施設概要

事例番号	5	
名称	塩尻市総合体育館 (ユメックスアリーナ)	
所在地	長野県塩尻市大字広丘郷原 1657 番地 2	
整備種別/開館年月日	新築/令和3年4月	
敷地面積(㎡)	23,067.61	
延床面積(㎡)	6,009.52	
建築面積(㎡)	5,450.00	
導入施設	メインアリーナ	
	サブアリーナ	バスケットボール(1面)、バレーボール(1面)、バドミントン(3面・移動式支柱、4面・差込式支柱)、卓球(4面)、剣道(2面)
	ランニングコース	1周180m
	トレーニング室	トレッドミル(10台)、バイク(4台)、リカレントバイク(4台)等
	スタジオリビング	ミラーウォール、音響(マイク、CD、USB、Bluetooth)
	ボルダリング	高さ約3.5m
	屋外3×3バスケットコート	—
	会議室	プロジェクター・スクリーン、ヒアリングループ(難聴者支援設備)等

○自治体の計画・条例・取組

	自治体名	長野県塩尻市	人口(人) ※R2 国勢調査	67,241	
	目的	期間	内容		
			ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
第2期塩尻市スポーツ推進計画	「～新たな目指す都市像～多彩な暮らし、叶えるまち。～田園都市しおじり～」	令和6年度～令和14年度	(1)子供の運動・スポーツ活動の推進と充実 (2)多様性を尊重した生涯スポーツ活動の推進 (3)競技力の向上 (4)スポーツの持つ力を活用した地域活性化の推進	・スポーツによる多様性を尊重できるプラットフォームの構築 ・障がい者スポーツの推進	—
塩尻市障がい者福祉プラン	障がいのある人が尊重され、必要な支援を受けられる地域をつくる。	令和6年度～令和8年度	(1)誰もが認め合える「関係づくり」 (2)困ったときに頼れる「安心づくり」 (3)誰でも参加と活躍ができる「場づくり」 (4)多様な育ちを支える「体制づくり」	・文化・スポーツ等社会活動への参加の促進	・“見えない壁”をなくすユニバーサルなまちづくりの推進
市民スポーツふれあいデー	ポッチャ、モルック等のいろいろなニュースポーツを体験して体を動かす。	月1回開催	・ポッチャ、囲碁ボール等の実施	—	—

○整備概要

整備の経緯	旧体育館の老朽化、スポーツ競技人口増加による体育館施設内動線の混雑 地域における市民交流の場の創出(スポーツを通じた市民交流の活性化が必要)
事業スケジュール	令和2年6月～令和3年3月:建設期間 (令和3年4月～5月は新型コロナウイルス感染症流行により、一時中断)
事業費	総建設費36億2,855万円(5年間の管理運営費は除く)
整備/管理・運営方式	指定管理者制度<ミズノ・アシスト&ソリューショングループ>
官民の役割分担	・スポーツ関連設備品の納品 ・スポーツ振興イベントや体験教室の実施 ・施設内ショップの運営 ・施設の清掃、設備点検
管理・運営面の特色	○多世代に合わせたイベントプログラムを全30種実施 ・指定管理者のノウハウを活かし、スポーツ教室やイベントを年730回継続的に展開 ・独自に開発したトレーニングサポートシステム(個別指導)を導入 ○地域と連携した事業を実施 ・体育館周辺施設を活用したウォーキングやキャンプ、出張運動指導を実施 ・指定管理者(ミズノ)契約選手によるスポーツクリニックや地域スポーツ指導員講習会を実施
その他当該体育館の特徴	○施設内活動の視認性を向上 ・メインアリーナとサブアリーナ間に通路「アリーナコリドー」を整備 (アリーナコリドーの可動壁や扉は開閉でき、メインアリーナとサブアリーナを繋げて一体的に使用することも、仕切って別々に使用することも可能) 一様な場所から人の多種多様な活動が垣間見えることで新たな交流を創出し、施設全体の「見える化」を図る。

○ユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況

		ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
施設	ハード	—	—	・エレベーターの設置 ・多目的観覧席(車いす利用者やベビーカーを優先) ・バリアフリーストイ ・多目的シャワー室 ・車いす対応ロッカー
	ソフト	・障がい者割引:障がい者手帳を提示すると利用料を減額		—
スポーツ設備	ハード	—	—	—
	ソフト	・車いすバスケットボール体験会 ・障がい者限定ゆるゆるヨガ教室		—

○施設概要

事例番号	6	
名称	大浜体育館 (大浜だいしんアリーナ)	
所在地	大阪府堺市堺区大浜北町5丁目7番1号(大浜公園内)	
整備種別/開館年月日	改築/令和3年4月	
敷地面積(m <sup>2</sup> )	18,694.61	
延床面積(m <sup>2</sup> )	12,908.55	
建築面積(m <sup>2</sup> )	9,152.13	
導入施設	メインアリーナ	バスケットボール(3面)、バレーボール(4面)、バドミントン(16面)、フットサル(2面)
	サブアリーナ	バスケットボール(2面)、バレーボール(3面)、バドミントン(10面)、フットサル(1面)
	武道場	柔道(4面)、剣道(4面)、空手(4面)(公式試合場が同時に設置可能)
	弓道場	弓道
	多目的室	各種競技

○自治体の計画・条例・取組

	自治体名	大阪府堺市		人口(人) ※R2 国勢調査	826,161
	目的	期間	内容		
			ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
堺市スポーツ推進プラン	「生涯にわたる多彩なスポーツライフの実現～スポーツでライフスタイルを健康的で豊かにしよう～」 年齢や障がいの有無等にかかわらず、すべての人が生涯にわたりスポーツを身近なものとして親しむことができ、豊かで健やかな生活を過ごせる地域社会の実現を目指す。	令和3年4月～令和8年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツ・運動習慣の充実</li> <li>(1)スポーツ・運動習慣定着による健康増進</li> <li>(2)気軽にできるスポーツの機会創出</li> <li>(3)多彩なスポーツ活動を通じた交流促進</li> <li>○堺のスポーツ魅力の創出</li> <li>(1)特色ある大規模スポーツ施設の活用</li> <li>(2)堺ゆかりのトップレベルチームとの連携強化</li> <li>(3)世界で活躍する次世代人材の育成</li> </ul>		
第5次堺市障害者計画	障がい者が住み慣れた地域で、安心して、主体的に、心豊かに暮らせる共生社会の実現を図る。	令和6年度～令和11年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)地域生活の支援及び地域生活への移行に向けた支援、相談支援の充実・強化と人材の確保・育成</li> <li>(2)就労支援の充実、地域活動等への参加の促進、障がいの理解啓発</li> <li>(3)ライフステージを通じたとぎれのない支援、分野を超えた横断的な連携による支援</li> </ul>		
第50回堺市障害者スポーツ・レクリエーション大会	障がいのある方々に、スポーツを楽しんでいただくとともに、社会参加の促進を図る。	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者の地域活動等への参加の促進</li> <li>・文化芸術・スポーツ等の活動の推進、余暇支援等の充実</li> <li>・障がいのある子供やその家族等への支援の充実</li> <li>・強度行動障がいのある人への支援体制の構築</li> <li>・発達障がいのある人・高次脳機能障がいのある人への支援の充実</li> </ul>		

○整備概要

整備の経緯	旧体育館の老朽化やバリアフリー設備の不十分等により、利用者ニーズへの対応が困難となった。 スマート・ベニューの考えのもと、多様な世代交流や賑わい創出を促す設備を施し、当該体育館を中心として体育館を含む大浜公園全体の魅力向上を図る。 (※スマート・ベニュー：周辺のエリアマネジメントを含む、複合的な機能を組み合わせたサステナブルな交流施設)
事業スケジュール	平成30年4月～12月：設計期間 令和元年5月～令和3年3月：建設期間 令和3年4月：供用開始
事業費	総事業費79億3,227万8,000円(建設費、管理運営費を含む)
整備/管理・運営方式	PFI-BT0方式 <つながりーナ大浜 PFI 株式会社>(代表企業：大和リース) 令和元年4月～令和18年3月の18年間
官民の役割分担	新体育館：民間事業者が施設を建設し、施設完成直後に公共に所有権を移転し、民間事業者が維持管理及び運営を行う「PFI-BT0」方式により実施 既存施設：選定事業者は、施設的设计・建設や保有は行わず、施設の維持管理及び運営のみを事業期間終了時まで行う「O」方式により実施
管理・運営面の特色	○地域との連携の多角化 ・V.LEAGUE参加チームである「日本製鉄堺プレイヤーズ」のホームアリーナとしての利用に加え、連携したスポーツ体験教室やファン交流イベントを開催 (その他体育館内にて、子供から各世代に合わせたスポーツイベントを開催) ○大浜公園との一体運営 ・公園と連携したイベントを行うことで、公園全体の集客効果を向上
その他当該体育館の特徴	○環境に配慮したエコ・グリーンアリーナを計画 ・自然エネルギーの利活用や省エネルギー手法の採用を通して、アリーナ特有の空間特性を配慮した環境負荷低減手法を導入 ○スポーツへの多角的な参画を促進 ・カフェの運営とアリーナ清掃の一部を社会福祉法人に委託し、障がい者の働く場を提供

○ユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況

		ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
施設	ハード	—	—	・車いす専用観覧席 ・バリアフリーストイル
	ソフト	・障害者手帳を提示すると、駐車料金が無料 ・障害者手帳を所有する者と介助者1名まで、共同利用券を1人当たり110円で施設利用が可能		・カフェの運営とアリーナ清掃の一部を社会福祉法人に委託し、障がい者の働く場を提供
スポーツ設備	ハード	—	—	—
	ソフト	・第1回精神障がい者フットボールアジア大会 Dream Asia Cup —精神障がい者スポーツの国内・国際的な普及の推進、精神障がいの理解促進を図る取組 ・精神障がい者スポーツ国際シンポジウム —上記大会と併せて開催 精神障がい者フットボールを通じてメンタルヘルスに関する課題解決や共生社会づくりの加速を目指す。		—

○施設概要

事例番号	7	
名称	日野市立南平体育館 (フクシ・エンタープライズ南平アリーナ)	
所在地	東京都日野市南平4丁目23番1号	
整備種別/開館年月日	改築/令和4年4月	
敷地面積(m <sup>2</sup> )	6,673.00	
延床面積(m <sup>2</sup> )	5,032.00	
建築面積(m <sup>2</sup> )	3,651.19	
導入施設	アリーナ	バスケットボール(2面)、バレーボール(2面)、バドミントン(8面)、卓球(24面)、フットサル(1面)、ハンドボール(1面)、剣道(9面)
	多目的室(1・2・3)	多目的室1・2:間仕切りを外せば両面使用可能 多目的室3:会議・各種サークル活動
	トレーニング室	ランニングマシン、エアロバイク等(トレーナーを常時1名配置)
	弓道場	日野市弓道連盟加盟者、日野市アーチェリー協会加盟者が利用可能

○自治体の計画・条例・取組

	自治体名	東京都日野市	人口(人) ※R2 国勢調査	190,435	
	目的	期間	内容		
			ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
日野市ユニバーサルデザイン推進条例	市民誰もが、自らの意思で自由に行動し、余暇文化活動を含めたあらゆる活動に参加し、充実した生活を送ることができる生活環境を実現したまちを目指す。	平成21年4月施行	—	—	・高齢者、障がい者等を含むすべての人が利用する施設を都市施設とし、整備基準への適合努力義務を定める。
日野市障害者計画	障がいのあるなしによって、分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する地域「ともに生きるまち 日野」の実現を目指す。	令和6年度～令和11年度	○地域での様々な活動を通して障がい理解を深める。 —スポーツ活動の振興 ・障がい者スポーツ・ニュースポーツ・インクルーシブスポーツの理解・普及・啓発 ・障がい者スポーツ施設指導 ○ユニバーサルデザイン街づくりの推進 ユニバーサルデザインまちづくり推進計画の推進	—	○ともに楽しむイベントや施設の充実 —ソフト・ハードの両面においてバリアフリー化を進めるための情報発信、周知、啓発 ・誰もが利用しやすい施設を目指し、各施設のバリアフリー化やサービス向上に向けて検討
・パラスポーツ体験プログラム ・東京ヴェルディ主催の障がい者スポーツイベント	障がいがある方にとってはパラスポーツと出会う機会の創出を、障がいがない方にとってはパラスポーツを通じて障がいそのものを理解し、同時にパラスポーツの難しさやおもしろさを体験する場を提供する。	—	・パラバドミントンやボッチャなどの様々なパラスポーツの体験 ・デフサッカー体験を通し、音のないスポーツに触れる。	—	—

○整備概要

整備の経緯	昭和54年竣工の旧体育館の老朽化/旧耐震基準、耐震補強工事が必要 利用者からの「利用しづらい」の声への対応 複合機能(健康、交流、防災)を持つ拠点、「まちなかアリーナ」の形成
事業スケジュール	令和元年12月～令和4年3月:建替え工事期間 令和4年4月:供用開始
事業費	総建設費約30億円(5年間の管理運営費は除く)
整備/管理・運営方式	指定管理者制度<株式会社フクシ・エンタープライズ> 令和7年4月1日より
官民の役割分担	・受付管理業務 ・教室事業の企画・運営・指導業務 ・トレーニング室管理指導業務 ・自主事業(イベント)開催
管理・運営面の特色	○誰もが参加しやすいプログラムの開催 ・東京ヴェルディの協力を受け、障がい者・健常者ともに参加できるスポーツ体験教室の実施(その他ママヨガ等、利用者の属性に合わせた教室・イベントを開催) ○常に市民の声を聞く ・令和4年4月の供用開始以降も、定期的に施設利用満足度アンケートを実施
その他当該体育館の特徴	○施設内にてガラスウォールを多用 ・旧体育館では施設内のアクセシビリティが不十分だったことから、ガラスウォールを採用し施設内の視認性や回遊性向上に寄与(視覚障がい者や高齢者、子供等のために、ガラスウォールに目線に応じた目印を施し視認性を向上させる。) ○施設全体に凹凸のあるピクトグラムを採用し、視覚障がい者でも判別しやすい表示

○ユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況

施設		ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
		ハード	ソフト	
施設	ハード	—	—	・バリアフリー駐車場 ・駐車場から出入り口へのスロープ ・出入り口付近の点字ブロックの設置 ・段差の解消 ・バリアフリートイレ ・車いす専用ロッカー ・車いす専用シャワー室
	ソフト	・障がい者の個人利用:障害者手帳を提示すると、市内・市外の在住・在勤・在学を問わず、個人利用料及び駐車場利用料を減免	—	—
スポーツ設備	ハード	・シッティングバレーボール(1コート分の支柱カバー、ネット、アンテナ)の配備、ほかにもボッチャ、風船バレーなどの用具配備 ・サウンドテーブルテニス、スルーネットピンポンの実施が可能	—	・車いす兼用マシン(トレーニング室:ショルダープレス、ラットプル、ロウプル)
	ソフト	・パラバドミントン用車いす2台配備 ・東京ヴェルディ主催障がい者スポーツイベント ・パラスポーツフェスタ(パラバドミントン、ボッチャ、卓球バレーなどの体験)	—	—

○施設概要

事例番号	8	
名称	滋賀県立体育館 (滋賀ダイハツアリーナ)	
所在地	滋賀県大津市上田上中野町 779 番地	
整備種別/開館年月日	改築/令和4年12月	
敷地面積(㎡)	約 112,300	
延床面積(㎡)	14,547.71	
建築面積(㎡)	9,990.92	
導入施設	メインアリーナ	バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、ハンドボール、フットサル、ソフトテニス
	サブアリーナ	バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、ハンドボール、フットサル、ソフトテニス
	トレーニング室	マシン約 35 種：有酸素トレーニング、筋力トレーニング、フリーウェイト、ストレッチコーナー
	多目的室	ダンス、ヨガなど
	会議室	大会議室 (120 席)、小会議室 (30 席×2室、24 席×2室)



○自治体の計画・条例・取組

	自治体名	滋賀県大津市		人口(人) ※R2 国勢調査	345,070
	目的	期間	内容		
			ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
大津市スポーツ推進計画(改訂版)	「スポーツを共に創り 楽しむまち 大津」を掲げ、とびっきりの笑顔に！！」スポーツに対する価値観の多様化等スポーツを取り巻く社会状況が変化する時代の中で、スポーツに親しみ、笑顔で楽しめる環境を、市民が力を合わせて共に創っていくことができる社会の実現を目指す。	令和3年度～令和7年度	(1)生涯スポーツの推進 (2)次世代を担う子供の運動・スポーツの推進 (3)地域のスポーツ活動の推進 (4)スポーツを楽しむ環境の充実 (5)大津の特長を活かしたスポーツの推進	○障がいのある人のスポーツ活動参加の機会充実 ①大会参加の支援 ②スポーツを通じた地域交流の推進	③運動・スポーツ施設のバリアフリー化の推進
大津市障害者計画	「一人ひとりが尊重され、だれもが心豊かに暮らせる 共生のまち“大津”」すべての人が相互に理解し、積極的に関わり合いながら、人生に希望や喜びを感じ、安心して暮らすことができるまちの実現を目指す。	令和6年度～令和11年度	(1)障がいのある人の自己決定の尊重 (2)身近な配慮や工夫による共生社会づくり (3)保健医療・福祉・教育・労働等の連携強化		
わた SHIGA 輝くスポ・障スポ 2025	広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与し、民生活を明るく豊かにする。	国スポ 9月28日～10月8日 障スポ 10月25日～10月27日	・陸上競技、水泳、卓球(サウンドテーブルテニスを含む)、ボッチャ等		—

○整備概要

整備の経緯	旧体育館の老朽化 全国規模の大会を開催に伴う、座席数の不足 2024年に開催された第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会を契機とし、スポーツ・健康づくりの拠点整備を目指す。
事業スケジュール	令和元年10月～令和2年3月：設計期間 令和2年4月～令和4年9月：工事期間 令和4年12月：供用開始 令和4年12月～令和19年3月(15年間)：維持管理・運営期間
事業費	総事業費 97億 1,735万 204円(建設費、15年の管理運営費を含む)
整備/管理・運営方式	指定管理者制度 ＜しがクロス株式会社＞(三菱HCキャピタル株式会社、ミズノ株式会社などが出資) 令和4年12月～令和19年3月の15年間
官民の役割分担	・受付管理業務 ・施設の清掃、設備点検 ・地域に根差した包括イベントの実施
管理・運営面の特色	○多様なアリーナの利活用 ・プロバスケットボールチーム「滋賀レイクス」のホームアリーナとしての利用、コンサート、市民向けのスポーツ教室といった多様な用途での利用や運営が可能 (滋賀レイクスの選手やコーチが直接指導にあたるバスケットボール教室も開催している) ○DXの推進 ・パナソニックの清掃ロボット「RULO Pro」を導入することで、コスト削減や業務効率化、省人化につながる。
その他当該体育館の特徴	○公共交通アクセスの改善 ・旧体育館はバス等の交通アクセスが不足していたが、現体育館の改築を通して体育館前のバス停の新設、滋賀レイクスの試合日には臨時直行バスやシャトルバスを運行し交通利便性を向上 ○施設内に憩いの場の創出 ・体育館屋上に緑の庭園「森のテラス」を整備し、ヨガやピクニックといったスポーツ目的ではない人々の利用を想定することで、地域としての拠点性の向上を図る。

○ユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況

		ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
施設	ハード	—	—	・車いす専用観覧席 ・車いす専用ロッカー ・バリアフリートイレ ・車いす専用駐車場
	ソフト		・アリーナ・ランニングコース・スポーツ体力測定室・トレーニング室の利用において県内在住の方で障害者手帳を提示すると、個人利用料金が半額 ・滋賀レイクスのホーム試合において、県内在住の方で障害者手帳を提示するとチケット料金が無料で、車いす優先区画や思いやり区画にて観戦が可能	・車いすの貸し出しあり
スポーツ設備	ハード	・アリーナ床：圧密複合フローリングを採用し、養生なしで車いすスポーツの実施が可能		—
	ソフト	・2025年に第24回全国障がい者スポーツ大会(わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ)を開催 (過去には車いすバスケットボールの試合を開催、その他ゴールボール等のパラスポーツ体験イベントを開催) ・ビックルボール：当施設で参加可能		—

○施設概要

事例番号	9	
名称	太田市総合体育館 (オープンハウスアリーナ太田)	
所在地	群馬県太田市飯塚町 1059 番地 1	
整備種別/開館年月日	改築/令和5年4月	
敷地面積(㎡)	158,789.35	
延床面積(㎡)	10,611.61	
建築面積(㎡)	7,327.23	
導入施設	メインアリーナ	バスケットボール、バレーボール(6人制・9人制)、卓球、バドミントン、ソフトバレーボール、テニス(公式・軟式)、体操・ダンス(機器を使わないもの)
	サブアリーナ	バスケットボール
	多目的室	—

○自治体の計画・条例・取組

	自治体名		群馬県太田市		人口(人) ※R2 国勢調査		223,014		
	目的	期間	内容						
			ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー				
太田市スポーツ施設ストック適正化計画	本市が所有する公共建築物のうち、体育施設の中・長期的な維持・保全対策や、効率的・効果的に多くの市民に利用してもらう。	令和6年度～令和16年度	個別施設計画の検討 (1)スポーツ施設としての機能保持 (2)総量コントロール (3)施設不足の解消						
第5次太田市障がい者福祉計画	「すべての人にやさしいまち～おた～」すべての市民が、障がいの有無にかかわらず、それぞれがかげがえのない個人として尊重され、互いの個性を認め合いながら思いやり、共に暮らし、共に支え合うまちづくりを推進する。	令和6年度～令和11年度	(1)理解と交流の促進 (2)保健・医療の充実 (3)福祉サービスの充実 (4)教育・育成の充実 (5)雇用・就労の促進 (6)余暇活動・社会活動参加の促進 (7)生活環境の整備		・啓発・広報活動の促進 ・社会参加活動の促進 ・障がい福祉サービスの充実 ・福祉のまちづくりの推進				
2025 太田スポーツ・レクリエーション祭	スポーツを通じた世代間・地域間交流の促進と賑わいの創出を図る。	—	・チャレンジ☆ザ☆スポーツのセッションにて、グラウンドゴルフ等の体験会を実施 ・障がい者の来訪を見越して、障がい者専用区画「思いやり臨時駐車場」を設ける		—				

○整備概要

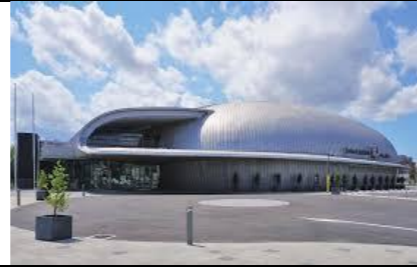
整備の経緯	旧市民体育館の老朽化 プロバスケットボールチーム「群馬クレインサンダーズ」が B1 リーグに昇格するに当たり、収容人数基準を満たすことができるホームアリーナを建設
事業スケジュール	令和2年8月～令和3年6月：設計期間 令和3年6月～令和5年3月：建設期間 令和5年4月：供用開始 令和5年4月～令和10年3月(5年間)：維持管理・運営期間
事業費	総事業費 78 億 6,400 万円(建設費：76 億 6,700 万円、管理運営費：1 億 9,700 万円)
整備/管理・運営方式	指定管理者制度<群馬シティマネジメント>
官民の役割分担	国有地において、太田市が設計・施工一括プロポーザル方式によりアリーナを整備 指定管理者制度の活用により株式会社群馬シティマネジメントが管理運営を行う。 ・施設の清掃、設備点検 ・スポーツチームと連携した事業展開 ・地域に根差した包括イベントの実施
管理・運営面の特色	○事業費の補填 ・企業版ふるさと納税の活用により、建設費の約50%以上に相当する約44億円を寄付で賄う。 ・ネーミングライツ制度導入により、ネーミングライツ料を維持管理費の一部に充てる。 ○地域と連携した取組 ・群馬クレインサンダーズのホームゲームに合わせ、中央通路や中央広場にてマルシェを開催することで、公園一体となった賑わいの場を創出する。 ・その他、野外ステージでの音楽イベント開催や3×3のコート設置も行われる。
その他当該体育館の特徴	○「観るスポーツ」としての魅力最大化 ・大型映像装置や音響設備、照明器具等の最新設備の整備や座り心地の良い座席、VIP ルーム・ラウンジ等を設置することで、新たな観戦・鑑賞の価値提供が可能 ○交通アクセスの改善 ・改築に伴いプロチームのホームアリーナとして利用されるに当たり試合開催日にはシャトルバスが運行され、公共交通アクセスの不足を改善

○ユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況

		ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
施設	ハード	—	—	・障がい者や妊産婦の方の専用駐車スペース ・車いす専用観覧席 ・バリアフリートイレ
	ソフト	・群馬クレインサンダーズの試合日にて、車いす指定席をお買い求めの方のみ、随行者の方のチケット料金が1名無料 ・試合当日チケット窓口で障害者手帳を提示すると、車いす席以外の席種をご購入の方には500円キャッシュバックを行う。 ・試合日にパラスポーツ体験ブースを出展(ポッチャ、フライングディスク、車いすバスケットボール等)		・障がい者に向けた、近距離移動用モビリティ「Whill(ウィル)」の貸し出しサービス
スポーツ設備	ハード	・アリーナ床：養生なしで、車いすスポーツの実施が可能		—
	ソフト	・0-EN KIDS チャレンジ車いすバスケアカデミー：6～13歳の子供を対象として車いすバスケの体験会を実施(参加費は無料)		—

○施設概要

事例番号	10	
名称	千葉公園総合体育館 (YohaS アリーナ)	
所在地	千葉県千葉市中央区弁天4丁目1番2号	
整備種別/開館年月日	改築/令和5年4月	
敷地面積(㎡)	10,417.06	
延床面積(㎡)	8,194.88	
建築面積(㎡)	5,075.69	
導入施設	メインアリーナ	バスケットボール(2面・ミニバス2面)、バレーボール(2面)、バドミントン(10面)、卓球(30台)、フットサル(1面)、ハンドボール(1面)、体操競技等
	サブアリーナ	バスケットボール(1面・ミニバス1面)、バレーボール(2面)、バドミントン(4面)、卓球(20台)、フットサル(1面)
	トレーニング室	各種トレーニング
	柔道場	畳張り(2面)
	剣道場	剣道、空手、拳法、なぎなた他
	弓道・アーチェリー場	—
	屋外バスケットコート(3×3)	3×3コート(1面)、練習用ゴール(1基)
	屋外プール	水泳・水中運動
	多目的室	ダンス、体操、会議他



○自治体の計画・条例・取組

	自治体名		千葉県千葉市		
	目的	期間	内容		
千葉市スポーツ推進計画(改訂版)	「みんなが主役、元気でいきいき、スポーツ都市千葉の実現～スポーツ・レクリエーションを通じて新たな自分を発見しよう～」	平成28年度～令和7年度	ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
第6次千葉市障害者計画	必要な支援が多様な地域の担い手により提供されるとともに、あらゆる社会的な障壁が取り除かれ、すべての障がい者が、自らの能力を最大限発揮し自己実現できるよう支援することで、障がいのある人もない人も、誰もが活躍し、共に支え合う共生社会を構築する。	令和6年度～令和8年度	(1)地域生活支援の拡充 (2)相談支援の充実 (3)保険・医療 (4)障がい児に対する支援の充実 (5)理解促進・社会参加の推進・オリパラレガシー (6)生活環境の整備	・障がい者スポーツの推進 (障がい者スポーツ大会の開催・支援、障がい者スポーツ指導員の育成)	—
千葉市スポーツ・レクリエーション祭(スポレク祭)	障がいの有無を問わず、子供からお年寄りまでスポーツ・レクリエーション活動を楽しむ。	—	・ポッチャ、グラウンドゴルフ、ターゲットボードゴルフ等の障がい者スポーツの体験が可能	・障がい者の一般就労支援に向けた福祉、教育、労働等の関係機関との連携強化 ・障がいに対する相互理解の促進	—


○整備概要

整備の経緯	旧体育館の老朽化 既存体育館や千葉市武道館、中央コミュニティセンター体育施設の機能を集約
事業スケジュール	平成30年度～令和元年度：設計期間 令和2年度～令和4年度：建設期間 令和5年4月：供用開始
事業費	総建設費約60億円 ※概算工事費のみ記載あり(管理運営費は除く)
整備/管理・運営方式	指定管理者制度<千葉市スポーツ協会>
官民の役割分担	・施設の清掃、設備点検 ・アリーナやトレーニング室の利用管理 ・多様な事業展開
管理・運営面の特色	○プロスポーツチームと連携した事業展開 ・当該体育館を本拠地とするバレーボールチーム「千葉ドット」はホームゲームの際、障がい者を雇用した取組を実施し、障がい者が社会に参画する機会を創出する。 ・バレーボール普及を目的とした「千葉ドットアカデミー」を展開し、小学生から高校生までを対象としたスクール事業を実施 ○施設の利活用 ・YohaS イベントでは体育館の第1駐車場を会場として活用し、キッチンカーを出店 (YohaS:大賀ハスをテーマにした夜のアートフェスで千葉市が推進する夜間の経済・文化活動の振興を促す目的で発足)
その他当該体育館の特徴	○五感を刺激する演出設備を整備 ・ホームチームの試合開催時には、多色レーザー照明やムービングライト、プロジェクションマッピングといった照明設備や高品質な音響設備を利用し、スポーツを見るだけでなく空間自体の魅力を生み出す ○ユニバーサルデザインに特化した設備 ・水回りは施設内のリラクスペースとして位置付け、多様な利用者が安全に利用できるようユニバーサルデザインを追求し、共用部から水回り、各競技場へとスムーズな動線となるよう配置 (バリアフリースペースの設置のほか、車いす利用者や介助者も利用できる「だれでも更衣室」を設置)

○ユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況

		ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
施設	ハード	—	—	・バリアフリースペース ・だれでも更衣室 (車いす利用者や介助者等の利用を想定したゆとりあるスペースを整備) ・車いす専用観覧席 ・車いす専用駐車場
	ソフト	・千葉ドットの試合時に、福祉・障害者雇用事業を展開する会社が参画し障がい者の社会参画機会を創出 ・試合日に障害者手帳を提示すると、個人利用料と駐車場料金が無料	—	・競技用車いすの貸し出しあり (予約が必要)
スポーツ設備	ハード	・アリーナ床：養生なしで、車いすスポーツの実施が可能	—	—
	ソフト	・車いすバスケットボール関東大会の実施	—	—

○施設概要

事例番号	11		
名称	飯塚市総合体育館		
所在地	福岡県飯塚市鯉田 1560 番地 5 (市民公園内)		
整備種別/開館年月日	改築/令和5年4月		
敷地面積(㎡)	28,499.55		
延床面積(㎡)	8,967.80		
建築面積(㎡)	7,828.03		
導入施設	メインアリーナ		バスケットボール(3面)、6人制・9人制バレーボール(3面)、バドミントン(12面)
	サブアリーナ(多目的ホール)		バスケットボール(1面)、6人制・9人制バレーボール(1面)、バドミントン(4面)、剣道・柔道(2面)
	ランニングコース		—
	弓道場	—	
	多目的室	—	
	会議室	—	

○自治体の計画・条例・取組

	自治体名	福岡県飯塚市		人口(人) ※R2 国勢調査	126,364
	目的	期間	内容		
			ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
福岡県スポーツ推進計画 ※飯塚市スポーツ推進計画は策定なし	「福岡県のスポーツをより元気に、スポーツの力で福岡県をより元気に」スポーツ立県福岡の理念を継続させ、その実現を図る。	令和6年度～令和10年度	(1)スポーツ活動の推進 (2)スポーツを推進する人材の育成 (3)スポーツを推進する環境づくり (4)スポーツを通じた地域と経済の活性化 (5)スポーツを通じた社会課題の解決	・障がいのある人のスポーツ活動の推進	・スポーツを通じた共生社会の実現
第4期飯塚市障がい者計画	障がいのある人もない人もともにいきいきと暮らせる共生のまちづくりを目指す。	令和6年度～令和11年度	(1)心のバリアフリーの推進 (2)差別の解消と権利擁護・成年後見制度利用の推進及び虐待の防止 (3)情報アクセシビリティの向上及び意思疎通支援の推進 (4)健やかに暮らすための保険・医療の充実 (5)成長に応じた療育・保育・教育の推進 (6)障がいの特性に配慮した性格支援の充実 (7)自立した生活のための就労支援の充実 (8)多様な社会参加の促進 (9)安全・安心なまちづくりの推進	・ノーマライゼーションに関する理解の促進 ・スポーツ・文化芸術・レクリエーション活動の促進 ・障がい者スポーツ大会の支援等	・障がいを理由とする差別の解消の推進 ・ユニバーサルデザインの推進 ・社会教育施設等のバリアフリー化
みんなの健幸・福祉のつどい2025	「健幸に関する情報提供や体験」や「障がいのある方、ない方の交流」を図る。	—	・車いすテニス体験やグラウンドゴルフ等のニュースポーツ体験を実施	—	—

○整備概要

整備の経緯	老朽化が進んだ旧飯塚市第1・2体育館を含む市内6施設の統合化 福岡県筑豊の中心都市である飯塚市が「だれもが、いつでも、生涯を通じて快適に楽しむことができる多種多様なスポーツの推進」を目指して市民公園内に総合体育館を新築
事業スケジュール	令和5年3月：竣工 令和5年4月：供用開始
事業費	総建設費 38億5,655万3,444円(管理運営費は除く)
整備/管理・運営方式	指定管理者制度<一般社団法人飯塚市スポーツ協会>
官民の役割分担	・施設の清掃、設備点検 ・施設の窓口、利用予約管理 ・スポーツ大会やイベントの開催支援 ・災害倉庫の管理
管理・運営面の特色	○プロスポーツチームとの連携 ・プロバスケットボールチームの「ライジングゼファークオカ」は飯塚市とフレンドリータウン協定を提携し、ホームゲーム開催やジュニアユースチーム設立・育成といった取組を行うことで、地域のスポーツ競技力向上やスポーツ振興に寄与する。
その他当該体育館の特徴	○設備の先進化 ・メインアリーナの照明では、LED高天井器具(特注品)を8列112台で配置 一バスケットボールのプロリーグB.LEAGUEの大会基準である競技面平均1,400ルクス以上の照度を確保しており、その他競技の基準照度にも対応した点灯区分が設定され、多種多様なスポーツイベントに適した照明環境を実現

○ユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況

		ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
施設	ハード	—	—	・身体障がい者専用駐車場(6台) ・バリアフリートイレ ・車いす対応エレベーター ・スロープ ・車いす専用観覧席
	ソフト	・トレーニング室の利用について、障害者手帳を提示すると利用料金が半額 ・試合開催日にて、車いすエリア利用の場合チケット料金を大幅減額		—
スポーツ設備	ハード	・アリーナ床：養生なしで、車いすスポーツの実施が可能		—
	ソフト	・みんなの健幸・福祉のつどい2025 ・スポーツフェスタ・ふくおか県民スポーツ大会		—

○施設概要

事例番号	12		
名称	つがる市総合体育館 (伊藤鉱業アリーナつがる)		
所在地	青森県つがる市木造若緑 64 番地		
整備種別/開館年月日	改築/令和5年6月		
敷地面積(㎡)	50,028.21		
延床面積(㎡)	10,794.84		
建築面積(㎡)	8,155.82		
導入施設	メインアリーナ		バスケットボール(2面)、バレーボール(2面)、バドミントン(8面)、卓球(16台)、テニス(2面)、フットサル(1面)
	サブアリーナ		バスケットボール(1面)、バレーボール(1面)、バドミントン(3面)、卓球(4台)、テニス(1面)、フットサル(1面)
	ランニングコース		1周260m
	トレーニング室	各種トレーニング	
	武道場	柔道(2面)、剣道(2面)、空手、少林寺	
	多目的室	多目的室A・Bを1室として利用可能	

○自治体の計画・条例・取組

	自治体名	青森県つがる市		人口(人) ※R2 国勢調査	30,934
	目的	期間	内容		
			ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
青森県スポーツ推進計画 ※つがる市スポーツ推進計画は策定なし	子供から高齢者まで県民の誰もがスポーツに親しむことができる、全国大会などで活躍できる選手やスポーツ活動を支える人財の育成、スポーツを通じた県民の健康づくりや、スポーツを活用した交流人口の拡大による地域の活性化などを目指す。	令和5年度～令和9年度	○県民のスポーツ参画人口の拡大 ～スポーツを「する」機会の充実～ ○スポーツを通じた活力ある社会の実現 ～スポーツを「みる」・「支える」機会の充実～ ○本県の競技力向上と次世代アスリートの発掘・育成・強化 ～次代を担う人財の輩出～	・スポーツ施設やオープンスペース等を活用した環境の整備 —誰もがスポーツに親しめる環境を構築する	
つがる市第4次障害者計画	「分かりあい 支えあい ともにつながる 共生のまち」	令和6年度～令和11年度	(1)ともに尊重しあい支えあうまちへ (2)ともに地域で育ち、ともに暮らせるまちへ (3)ともにいきいきと社会で活躍できるまちへ	・生涯学習・スポーツの促進 ・障がい者団体の育成・支援	・公共的施設のバリアフリー化
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ	広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにする。	毎年開催	・サウンドテーブルテニス、フライングテニス、ボッチャ等の障がい者スポーツを競技形式で実施		—


○整備概要

整備の経緯	旧体育館の老朽化 つがる市の合併元であった西津軽郡木造町、森田村、柏村、稲垣村、車力村の1町4村にあったスポーツ施設を統合する形で建設
事業スケジュール	令和2年12月～令和5年1月：建設期間 令和5年6月：供用開始
事業費	総建設費約68億円(管理運営費は除く)
整備/管理・運営方式	指定管理者制度<Tsugaru まちづくりパートナーズ>
官民の役割分担	・施設内受付業務 ・施設内清掃・設備点検 ・施設の利用予約管理
管理・運営面の特色	○プロチームの招聘やイベントの積極的開催 ・プロバスケットボール B2 リーグ「青森ワッツ」の本拠地であり、ホーム試合日には関連イベントとして「はたらく車 Day」といった会場の駐車場にヤマト運輸のトラックなどが集まり、職業体験ができるブースを設け、多角的な側面から地域活性化を図る。 ・地域住民向けのイベントとして「つがるスポーツフェスティバル」を開催 ○災害時を想定した周辺施設の連携体制構築 ・当該体育館に隣接する形で、令和4年11月につがる市防災備蓄倉庫が建設された。 —ヘリポートが併設されており、市内施設に点在していた備蓄物資を集約し災害時の物資不足に備えることが可能
その他当該体育館の特徴	○地域の気候に対応した設備 ・1周260mの屋内ランニングコースを整備し、冬の積雪時でも屋内で小運動等を可能にすることで、市民の健康向上に寄与

○ユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況

		ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
施設	ハード	—	—	・車いす専用観覧席(24席) ・バリアフリーストイ ・車いす専用更衣室 ・車いす専用シャワー室
	ソフト	・障害者手帳を提示すると、トレーニング室を2時間、ランニングコースを1時間使用可 ・市内の障がい者団体が公益又は福祉増進のために使用する際、使用料を全額減免		・車いすの貸し出しあり
スポーツ設備	ハード	—	—	—
	ソフト	・2026 青の煌めきあおもり国スポ・障スポ：バレーボール(知的障がい者の部)		—

○施設概要

事例番号	13		
名称	鳥取市民体育館 (エネトピアアリーナ)		
所在地	鳥取県鳥取市吉成3丁目1番1号		
整備種別/開館年月日	改築/令和5年6月		
敷地面積(㎡)	19,689.00		
延床面積(㎡)	10,769.00		
建築面積(㎡)	4,976.00		
導入施設	メインアリーナ		バスケットボール(2面(センターコート1面))、バレーボール(3面(センターコート1面))、フットサル(2面)、バドミントン(12面)、テニス(3面)、卓球(55台)
	サブアリーナ		バレーボール(1面)、バドミントン(1面)、卓球(8台) 多目的に利用可能
	研修室		壁面鏡、バレエバーがあり、主にスタジオとして利用可能
	トレーニング室	有酸素マシン(18台)、筋力トレーニングマシン(16台)、ストレッチマシン(6台)、動体視力マシンなど	
	フットサル場	主にフットサル	
	スケートボード場	スケートボードなど	
	多目的室	体操・ダンス、社交ダンス、舞踊、レクリエーション、軽スポーツ	

○自治体の計画・条例・取組

	自治体名	鳥取県鳥取市	人口(人) ※R2 国勢調査	188,465	
	目的	期間	内容		
			ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
鳥取市バリアフリーマスタープラン	「みんなが支え合い誰もが安心・快適に自分らしく過ごせるまちづくり」を基本理念として掲げ、誰もが安心・安全に暮らせるまちの実現を目指す。	令和5年度～令和14年度	—	—	建築物では、出入口・通路・上下移動・トイレ・駐車場等にてバリアフリー化に向けた基準を策定
鳥取市障がい者計画	障がいのある人もない人も、誰もが一緒に楽しめるスポーツ環境を整備することで、共生社会の実現を目指す。	令和6年度～令和14年度	・ユニバーサルデザインのみちづくりを推進	・パラリンピック選手との交流を深め、パラスポーツの普及や障がい者理解を促進 ・パラアスリート等障がい当事者による心のバリアフリー研修等を推進	—
・各種大会へのパラリンピアン招聘や交流 ・市民のパラスポーツ体験などの実施	・民族や国、人種や性、障がいの違いなどを超えて人々を結びつけていることを知る。 ・児童・生徒のスポーツの意義や価値等に対する理解・関心の向上 ・国民の幼少期から高齢期までの生涯を通じた運動・スポーツへの主体的な参画の定着・拡大	—	・オリンピック・パラリンピック教育の一環として、オリンピック、パラリンピック又は国際大会等に出場した選手や代表コーチ等による講話、実技指導、交流体験等の実施を希望する学校へオリンピック・パラリンピアン等を派遣	—	—

○整備概要

整備の経緯	旧鳥取市民体育館(1973年築)の老朽化と旧耐震基準であること 浸水リスクへの対策として水害発生時にも緊急的な対応が可能となる施設の整備
事業スケジュール	平成30年度：基本計画・設計、PFI事業者選定プロセスの開始 令和2年度～令和4年度：建設期間 令和5年6月3日：供用開始
事業費	総事業費54億9,998万6,479円(建設費、15年間の維持管理運営費を含む)
整備/管理・運営方式	PFI-BTO方式<PFI鳥取市民体育館株式会社>
官民の役割分担	民間事業者が施設を建設し、施設完成直後に公共に所有権を移転し、民間事業者が維持管理及び運営を行う「PFI-BTO」方式により実施
管理・運営面の特色	○施設における多機能性の向上 ・2階にエントランスを設け、市民の日常的なスポーツから各種スポーツ大会・イベントでの利用が可能な「メインアリーナ」を配備 —スポーツに親しみをもちいつまでも元気に暮らせる健康づくりの拠点となるよう、体育館の外周を歩くノルディック・ウォーキング教室や、卓球・フットサルなどのスポーツ教室、チアダンス教室など、幅広い目的に対応した25種類の教室を順次開講
その他当該体育館の特徴	○スポーツとの出会いや交流を推進 ・競技だけの利用ではなく、日々の健康管理のための教室利用、またコミュニティ広場やキッズスペースなど、スポーツとの出会いや交流を生み出す施設として整備 ・災害に強いまちづくりに則した体育館 「スポーツ推進の拠点施設」とともに「災害発生時の避難所」 →水害や地震等の災害に強い建物構造(5mの浸水に耐える)とし、災害時においても、施設内のライフラインが維持できるよう非常用電源設備を備える(3日間)とともに、備蓄品を配備

○ユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況

		ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
施設	ハード	—	—	・オストメイト対応トイレ ・バリアフリートイレ ・スロープ ・ハートフル駐車場利用証制度の採用 ・ベビーキープ、ベビーシート自動ドア ・車いす専用駐車場
	ソフト	・施設利用：アマチュアスポーツは、一般と障がい者等の利用予約区分を区別(障がい者等は障害者手帳を提示すると、団体・個人利用ともに利用料無料)		・車いすの貸し出しあり
スポーツ設備	ハード	—	—	—
	ソフト	・元パラスポーツ選手を招いたパラスポーツ体験会の実施(例)車いすラグビー体験会		—

○施設概要

事例番号	14	
名称	野洲市総合体育館	
所在地	滋賀県野洲市富波甲 1339 番地	
整備種別/開館年月日	改修/令和5年7月	
敷地面積(㎡)	約 48,000	
延床面積(㎡)	7,254.00	
建築面積(㎡)	—	
導入施設	メインアリーナ	バスケットボール(3面)、バレーボール(6人制3面、9人制2面)、バドミントン(12面)、卓球(16台)、テニス(2面)
	サブアリーナ	バスケットボール(1面)、バレーボール(6人制1面)、バドミントン(3面)、卓球(7台)
	ランニングコース	—
	トレーニング室	—
	柔剣道場	—

○自治体の計画・条例・取組

	自治体名	滋賀県野洲市		人口(人) ※R2 国勢調査	50,513
	目的	期間	内容		
			ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
野洲市スポーツ推進計画(中間見直し)	「躍動、感動、夢がふれるスポーツのまち野洲」 スポーツを通じて、市民が幸福で活力ある生活を営むことができる施策を進める。	平成28年度～令和7年度	(1)自ら行うスポーツ活動の推進 (2)子供のスポーツ環境の充実 (3)スポーツを楽しむ地域づくり (4)スポーツ施設の整備と充実 (5)スポーツ交流・支えるスポーツの促進と情報の発信	・障がい者のスポーツ活動の支援	—
第2次野洲市障がい者基本計画	「誰もがともに地域で生きいきと暮らすことができるまち」を創る。	令和3年度～令和8年度	(1)ともに理解しあい、地域で支え合う共生社会づくり (2)地域での自立した生活を支えるサービスの充実 (3)住みやすく安心な環境づくり (4)雇用・就労の確保と促進 (5)障がい児支援の充実	・スポーツ文化活動の振興 —スポーツ・レクリエーション活動の充実	・生活環境の整備 —ユニバーサルデザインのまちづくりの推進 ・公共的建築物等のバリアフリー化の推進
野洲市秋季スポーツ大会	野洲市のスポーツの高揚と親睦・交流を深め、明るく活力ある地域社会の発展に寄与する。	令和7年度	・グラウンドゴルフ、ショートテニスの実施		—


○整備概要

整備の経緯	令和7年度開催第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会に向けた大規模改修工事 体育館の老朽化、バリアフリーの非対応 床面、照明LED化、天井スピーカー、音響設備、遮光ブラインド整備
事業スケジュール	令和4年3月：大規模改修工事实施の議決 令和4年10月～令和5年6月：改修工事期間 令和5年7月：供用開始
事業費	総改修費7億3,330万円
整備/管理・運営方式	指定管理者制度<野洲市スポーツ協会>
官民の役割分担	・施設の清掃、点検 ・施設利用の受付管理 ・スポーツ及びレクリエーションに関する資料及び情報の収集 ・スポーツ体験教室や講演会、大会の実施
管理・運営面の特色	○プロスポーツチームと連携した取組 ・プロバスケットボール「滋賀レイクス」のホームゲームの本拠地であり、小学生等の子供を対象としたチアダンスの「滋賀レイクスアカデミー」の教室を提携し行うことで、子供のスポーツ実施の増加に貢献 ○イベント開催時の出店 ・わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ開催時には、観光物産展を併せて催しキッチンカーや弁当の売店を出店することで、イベントの盛況に寄与
その他当該体育館の特徴	○アリーナ空間の有効活用 ・メインアリーナには、移動式観覧席があり、多種多様な用途で使用可能 ・メインアリーナの観覧席周りにランニングロードを設置することで、スポーツイベントだけでなく学校の入学・卒業式や講演会等の地域イベントにも活用することができ、空間の多機能性を演出

○ユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況

		ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
施設	ハード	—	—	・バリアフリートイレ ・スロープ ・車いす駐車場、思いやり駐車場 ・車いす対応エレベーター ・車いす用シャワー室
	ソフト	・わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実施の際、シャトルバスを運行 ・障害者手帳を提示すると、トレーニング室の利用料金が無料		—
スポーツ設備	ハード	・アリーナ床：養生なしで、車いすスポーツを実施可能		—
	ソフト	・第79回国民スポーツ大会、第24回全国障害者スポーツ大会の開催 ・わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ		—

○施設概要

事例番号	15	
名称	越谷市立地域スポーツセンター	
所在地	埼玉県越谷市大沢2丁目10番21号	
整備種別/開館年月日	建替/令和6年4月	
敷地面積(㎡)	7,286.00	
延床面積(㎡)	2,749.00	
建築面積(㎡)	2,400.00	
導入施設	アリーナ	バスケットボール、バレーボール、バドミントン
	卓球場	卓球
	ランニングマシン用スペース	—

○自治体の計画・条例・取組

	自治体名		埼玉県越谷市			人口(人) ※R2 国勢調査		341,621	
	目的	期間	内容			ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー	
			ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー				
埼玉県スポーツ推進計画 ※越谷市スポーツ推進計画は策定なし	「スポーツははぐくむ輝く埼玉」を目指し、スポーツを推進していく上で目指すべき施策の方向性や取組を示す。	令和5年度～令和9年度	(1)すべての県民にスポーツを～誰もが生涯に渡る充実したスポーツライフを～ (2)多彩なスポーツの機会創出～県民一人一人がスポーツの価値を享受～ (3)県民に夢と希望を与える埼玉トップアスリートの輩出～スポーツ先進県埼玉の更なる発展～ (4)社会におけるスポーツの力の発揮～スポーツを通じた活力のある社会の実現～	・パラスポーツ機会の充実 ・パラスポーツの普及、裾野拡大	—				
第5次越谷市障がい者計画	「障がいのある人もない人も分け隔てられることなく、ともに育ち、ともに働き、ともに暮らすことのできる地域社会」お互いに人格と個性を尊重し合いながら、共生社会の実現を目指す。	令和3年度～令和7年度	(1)相互理解・相互尊重を育む (2)一人ひとりの意思に寄りそう暮らしの支援基盤をつくる (3)さまざまな形での社会参加を促進する (4)誰もが安心して暮らせる生活環境を築く	・生涯学習環境の整備・充実 —文化芸術活動やスポーツ活動などの幅広い活動に参加するための条件整備の推進 (スポーツ・レクリエーション教室・講座等の開設)	・生活環境の整備・充実 —公共施設等のバリアフリー化の促進				
越谷市ふれあいパラスポーツ大会	障がいのある人もない人も一緒に楽しみ障がい者スポーツ推進を図る。	—	卓球バレー・ボッチャの体験実施		—				


○整備概要

整備の経緯	大沢地区センター及び第1・第2体育館の老朽化 当該体育館を旧大沢地区センターの移転後の敷地と旧市立第1・第2体育館の敷地を一体化し、建替え
事業スケジュール	令和元年度：基本計画 令和2年度～令和3年度：民間事業者の募集・選定 令和4年度～令和5年度：既存施設解体、設計・建設 令和6年4月：供用開始
事業費	総事業費 22億3,300万円（建設費、20年6か月の建物賃借料を含む）
整備/管理・運営方式	リース方式<大和リース株式会社>（20年間）
官民の役割分担	市が民間事業者に土地を貸し付け、その土地に民間事業者が民間施設を整備し、運営する。 市は施設の一部を民間事業者から借り、公共体育館として運営
管理・運営面の特色	○障がい者に対する多角的な支援 ・バリアフリートイレや車いす対応エレベーターの設備だけでなく、施設の出入口や1階・2階バリアフリートイレの出入口の天井面にシグナルエイド（小型送受信機）を設置することで、身体障がい者だけでなく視覚障がい者への支援に貢献
その他当該体育館の特徴	○プロスポーツチームと連携した取組 ・越谷市をホームタウンとするプロバスケットボールチーム「越谷アルファーズ（B1リーグ加盟）」と連携し小学生を対象としたバスケットボール体験教室を行うことで、地域におけるスポーツ参画機会の拡大に寄与 ○防災備蓄倉庫、非常用発電機の設置

○ユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況

		ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
施設	ハード	—	—	・バリアフリートイレ ・車いす対応エレベーター ・スロープ ・段差の解消 ・シグナルエイド（小型送受信機）に反応する音声案内
	ソフト	—	・障害者手帳を提示すると、障がい者に同伴する介護者（手帳保持者1人につき介助者は1人まで）、障がい者団体の者は、使用料を半額	—
スポーツ設備	ハード	—	—	—
	ソフト	—	・越谷市ふれあいパラスポーツ大会：卓球バレー・ボッチャの体験実施 ・卓球ドリームフェスタ：プロ卓球チーム「T.T彩たま」による卓球教室の実施（障がいの有無を問わない）	—

○施設概要

事例番号	16	
名称	小金井市総合体育館	
所在地	東京都小金井市関野町1丁目13番1号	
整備種別/開館年月日	改修/令和6年4月	
敷地面積(㎡)	10,000.00	
延床面積(㎡)	7,341.37	
建築面積(㎡)	—	
導入施設	メインアリーナ サブアリーナ 柔道場 剣道場 屋内プール トレーニング室 会議室	

○自治体の計画・条例・取組

	自治体名	東京都小金井市		人口(人)※R2国勢調査	126,074
	目的	期間	内容		
			ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
第2次小金井市スポーツ推進計画	「豊かな生涯を運動・スポーツとともに」 誰もが運動・スポーツを通じて健康増進をすとも、つながりあえるような環境づくりを行い、笑顔で過ごすことができるまちとなることを目指す。	令和5年度～令和12年度	(1)誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進 (2)運動・スポーツを通じた健康づくり (3)運動・スポーツ環境の充実	・障がい者の運動・スポーツ活動の推進 —障がい者の運動・スポーツプログラムの実施	・運動スポーツ環境の充実 —安全快適な公共スポーツ施設環境整備
小金井市障害者計画	「障がいのある人もない人もそれぞれが尊厳あるひとりの小金井市民として自立し、住み慣れた地域とともに支え合いながら、安心して暮らしていける共生都市・小金井の実現」 「ノーマライゼーション」、「リハビリテーション」の理念や誰もが相互に人格と個性を尊重し、相互に理解し支え合い、ともに暮らす「共生社会」を目指す。	令和6年度～令和11年度	(1)市民一人ひとりの理解と交流を育む意識づくり (2)障がいのある人の社会参加や就労に向けた自立の基盤づくり (3)障がいのある人が安心して暮らしていくための仕組みづくり (4)誰もが気持ちよく共に暮らせる環境づくり	・障がい者スポーツの支援 ・文化・スポーツ・レクリエーション活動への支援	・誰もが利用しやすい施設となるようユニバーサルデザイン化を推進
小金井市スポーツフェスティバル	障がいの有無にかかわらず、手軽に体を動かし楽しめる様々なスポーツの体験	—	・TEAM BEYOND パラスポーツ体験プログラムの開催 (車いすバスケットボール、障がい者フライングディスク他)	—	—

○整備概要

整備の経緯	体育館設備の老朽化 (メインアリーナ、剣道場、屋内プール、その他館内設備を改修) 市内における公共施設の長寿命化と機能維持のため
事業スケジュール	令和元年度：外壁改修工事 令和2年度～令和5年度：館内施設第1期・第2期・第3期改修工事 ・令和2年10月：屋内温水プール休場 ・令和2年11月：全館休館 令和6年4月：供用開始 ※令和11年度から長寿命化に向けた大規模修繕を実施予定
事業費	総改修費2億8,320万円(令和元年度：1億7,820万円、令和4年度：記載無し、令和5年度：1億500万円)
整備/管理・運営方式	指定管理者制度<みんなてつなごう小金井のまち共同事業体>
官民の役割分担	・館内設備の点検・維持管理業務 ・施設利用予約の管理 ・体育館のPRやイベント実施 ・スポーツ体験教室の実施
管理・運営面の特色	○小金井公園と連携した取組 ・当該体育館が小金井公園内にあることから、公園を活用したプログラムを実施 —ポールウォーキング教室：体育館と公園の双方を会場として利用し、ポールを使ったウォーキングを指導する教室を定期的に開催 ※小金井市スポーツフェスティバル：体育館だけでなく公園内を活用し多様な競技の体験実施機会を提供
その他当該体育館の特徴	○アリーナ空間の有効活用 ・メインアリーナの2階部分をランニング走路の仕様とすることで、空間活用用途の多様化へつなげる。 また、一般の体育館と違いコーナーを直角ではなくカーブ使用しており、トラックの状態へ近づけている。 ○屋内温水プールを整備 ・館内に屋内温水プールを設けており、一般利用だけでなく市内の大会でも使用される25mプールや幼児が利用可能な深さ40cmのプールも配備し、幅広い利用世代・利用用途の確保が可能

○ユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況

		ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
施設	ハード	—	—	・バリアフリートイレ ・車いす専用駐車場 ・段差の解消 ・スロープ ・障がい者優先更衣室
	ソフト	駐車場：身がいの者、60歳以上の方が対象 ・障害者手帳を提示すると、個人利用料が半額		・車いすの貸し出しあり
スポーツ設備	ハード	・アリーナ床：養生なしで、車いすスポーツの実施が可能		—
	ソフト	・小金井市スポーツフェスティバル：車いすバスケ、ボッチャ等の体験実施		—

○施設概要

事例番号	17	
名称	かほく市総合体育館 (とり野菜みそ BLUECATS ARENA)	
所在地	石川県かほく市浜北イ 19 番地 1	
整備種別/開館年月日	改築/令和6年4月	
敷地面積(㎡)	—	
延床面積(㎡)	8,835.11	
建築面積(㎡)	5,954.78	
導入施設	アリーナ	バスケットボール(2面)、バレーボール(3面)、バドミントン(12面)
	トレーニング室	ストレッチ、ファンクショナル・カーディオ系、ウェイト系
	スタジオ	フィットネス、ヨガ(壁面鏡・音響装置あり)
	柔剣道場	—
	弓道場	—
	会議室	—

○自治体の計画・条例・取組

	自治体名		石川県かほく市			人口(人) ※R2 国勢調査	34,889
	目的	期間	内容				
			ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー		
石川県スポーツ推進計画 ※かほく市スポーツ推進計画は策定なし	地域住民とともに国や市町、競技団体、学校、企業とも連携しながら、石川県のスポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進する。	令和3年度～令和7年度	(1)生涯にわたるスポーツ活動の振興 (2)競技スポーツの振興 (3)スポーツを通じた地域活性化 ・女性や障がい者のスポーツ活動の振興 ・県障がい者スポーツ大会の開催や全国障がい者スポーツ大会への選手派遣 ・障がいのある人でも手軽に楽しめるスポーツ教室の開催				—
第4次かほく市障がい者計画	「自立して自分らしく 支えあい暮らせるまち かほく」障がいのある人もない人も地域で当たり前前の生活ができるようにする社会づくりを目指す。	令和6年度～令和11年度	(1)共に地域で生きる風土づくり (2)地域での自立した生活を支援する基盤づくり (3)可能性に挑み、能力を発揮できる環境づくり (4)障がいとともに健康に暮らす支援体制づくり (5)生きがいのある充実した暮らしづくり (6)安心して生活できる住みよい環境づくり ・スポーツ・レクリエーション活動の支援 ・道路・公共施設等のバリアフリー化推進・移動交通手段の確保				—
かほくスポーツフェスティバル (かほくスポフェス)	地域住民の方々にとっての見るスポーツだけではなく、するスポーツの機会拡大の推進を図る。	—	・パラスポーツ体験会の実施 ・ポッチャ大会の実施				—


○整備概要

整備の経緯	旧体育館の老朽化 スポーツ施設に対するニーズの高度化や多様化、施設の量的・質的な充実を図るため市内の4つのスポーツ施設を集約した拠点施設を建設 地域の多様なアクティビティを来訪者が「みる」ことで、交流人口・関係人口の拡大化を目指す。
事業スケジュール	令和3年7月～令和6年2月：設計・建設期間 令和6年4月：供用開始 令和6年4月～令和21年3月(15年間)：維持管理・運営期間
事業費	総建設費約53億円(管理運営費は除く)
整備/管理・運営方式	PFI-BT0方式<かほくPFIアリーナ株式会社> (代表企業：清水建設株式会社) 令和6年4月1日から令和21年3月31日までの15年間
官民の役割分担	民間事業者が施設を建設し、施設完成直後に公共に所有権を移転し、民間事業者が維持管理及び運営を行う「PFI-BT0」方式により実施 一民間資金活用事業調査費補助(導入可能性調査)を活用
管理・運営面の特色	○プロスポーツチームとの連携 ・当該体育館を本拠地とする女子プロバレーボールチーム「PFUブルーキャッツ石川かほく」と包括協定を締結し、試合の開催やSNSプロモーションを展開することで施設の知名度向上に寄与 ○地元団体の活動を通じたスポーツ推進 ・施設の管理運営を務めるコナミススポーツ(株)と連携し「かほく市障がい者スポーツ協会」の活動の場として車いすバスケ等のパラスポーツ推進に貢献
その他当該体育館の特徴	○スポーツ活動を促す開放感ある設計 ・吹き抜け空間「スポーツモール」はアリーナ、弓道場、トレーニング室などの各エリアをつなぐ設計で利用者の更なるスポーツ活動を推進 ・アリーナの四隅をカットしてコーナーウィンドウ(ガラス張り)とすることで、自然光の差し込む開放感ある空間を演出 ○隣接する中学校との部活動連携 ・当該体育館に隣接する河北台中学校の授業や部活動の際にアリーナや武道場を学校開放し、自治体における学校部活動の地域移行を推進

○ユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況

		ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
施設	ハード	—	—	・車いす専用観覧席 ・バリアフリーストイ ・スロープ
	ソフト	・障害者手帳を提示すると、アリーナ、柔剣道場・弓道場、トレーニング室、諸室にて障がい者利用料金が利用者1人につき付き添い1人まで免除		—
スポーツ設備	ハード	・アリーナ床：養生なしで、車いすスポーツの実施が可能		・トレーニング室に最先端のストレッチマシンを配置し、高齢者も含む幅広い年齢層に対応
	ソフト	・市民交流大会(室内ベタンク大会)の実施 ・障がい者の一日スポーツ教室：スクエアポッチャ、ユニバーサルポッチャの体験実施		—

○施設概要

事例番号	18	
名称	出雲市総合体育館 (出雲だんだんとまとアリーナ)	
所在地	島根県出雲市西林木町 207 番地 1	
整備種別/開館年月日	新築/令和6年4月	
敷地面積(㎡)	31,700.00	
延床面積(㎡)	9,476.11	
建築面積(㎡)	7,701.38	
導入施設	メインアリーナ	バスケットボール(2面・センター1面)、バレーボール(2面・センター1面)、バドミントン(10面)、テニス(3面)、卓球(12面)、フットサル(1面)等
	サブアリーナ	バスケットボール(1面・非公式2面)、バレーボール(1面・非公式2面)、バドミントン(6面)、テニス(1面)、卓球(6面)、フットサル(1面)等
	ランニングコース	1周約200m
	トレーニング室	体組成計、動体視力マシン、有酸素マシン(8台)、筋力トレーニングマシン(9台)、コンディショニングマシン(1台)
	多目的室	多目的室A:壁面に備付の鏡あり 多目的室B:移動式の鏡を設置
会議室	4分割の利用が可能、会議室1・4にプロジェクター、スクリーンあり	

○自治体の計画・条例・取組

	自治体名	島根県出雲市	人口(人) ※R2 国勢調査	172,775	
	目的	期間	内容		
			ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
第2期出雲市スポーツ推進計画	「夢を育み、人を結び、まちが輝く」スポーツ文化都市・出雲の創造」を目指す。	令和4年度～令和8年度	(1)スポーツがあふれるまちづくり (2)スポーツを担う人づくり (3)スポーツを支えるネットワークづくり ・共生社会の実現に向けたスポーツ活動の推進 ― 障がい者のスポーツ活動の推進 ・多様性を認め合うスポーツ活動の推進	—	—
第2次出雲市障がい者計画	障がいがあっても自らの意思決定にもとづき、必要な支援を受けながら、能力を發揮し、地域社会の構成員としてその人らしい生活ができる共生社会の実現を目指す。	令和3年度～令和8年度	(1)障がい者差別の解消及び権利擁護の推進 (2)地域生活の充実 (3)就労支援 (4)保健・医療、教育の充実 (5)生活環境、災害時支援 ・社会参加支援 ― 障がい者のスポーツ活動の推進 障がい者が自主的かつ積極的にスポーツ活動に取り組むことができる機会を島根県障がい者スポーツ協会や出雲市身障者福祉協会と連携しながら提供	・バリアフリーの推進 ― 公共施設の整備・改修に当たり障がい者の意見やユニバーサルデザインの考え方に基づき整備	—
島根かみあり全スポンジ交流大会	年齢・性別・障がいの種別にかかわらず気軽に楽しめる「ポッチャ」を通じて、パラスポーツの楽しさを体験する。	—	・ポッチャの体験実施を通じ、年齢・性別・障がいを問わず交流を行う。	—	—


○整備概要

整備の経緯	建設から約50年経過した出雲体育館、平田体育館、斐川第2体育館の耐震性・安全性に問題があり廃止 上記3体育館廃止の後、統合した拠点として開設
事業スケジュール	令和4年7月:実施設計完了 令和4年8月～令和5年12月:建設期間 令和5年12月31日:竣工 令和6年1月～3月:開業準備 令和6年4月:供用開始
事業費	総建設費約63億円(管理運営費は除く)
整備/管理・運営方式	PFI-BT0方式<出雲アリーナパートナーズ株式会社>(代表企業:ミズノスポーツサービス株式会社)
官民の役割分担	民間事業者が施設を建設し、施設完成直後に公共に所有権を移転し、民間事業者が維持管理及び運営を行う「PFI-BT0」方式により実施
管理・運営面の特色	○館内での多種多様なイベントの実施 ・地域の子供たちがスポーツを実施しやすい環境を整えるため、館内にて子供向けを中心としたスポーツ体験教室やスクールを開設(卓球、ダンス、親子運動教室など) ○スポーツ活動以外での敷地利用用途の創出 ・体育館敷地内における「憩いの広場」にてバーベキューサイトを開設し、地域住民の多角的なスポーツ参画を促進 (予約は必要だが、グリルやガスボンベ、テーブル、イス等は貸し出しが可能)
その他当該体育館の特徴	○館内空間の有効活用 ・体育館入口から南北に2階へ続く中央階段「スポーツコリドー」は両側に配置されているメインアリーナ・サブアリーナ・多目的室を有効的につなぐ。 ・メインアリーナ2階に1周約200mのランニングコースを設置することで、天候にかかわらず活動が可能 ○館内に防災備蓄倉庫を設けるだけでなく、災害時の拠点として最大72時間の自家発電機能設備を配備

○ユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況

		ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
		施設	—	—
スポーツ設備	ハード	・アリーナ床:養生なしで、車いすスポーツの実施が可能	—	・競技用車いすのレンタルあり
	ソフト	・しまねレクリエーションフェスティバル:ポッチャ、車いすスラローム、スポンジテニス等の体験実施	・障害者手帳を提示すると、減免使用許可書を提出した後出雲市から発行される決定通知書を保持する場合に限り、施設利用料を半額	・車いすの貸し出しあり

○施設概要

事例番号	19		
名称	大牟田市総合体育館 (おおむたアリーナ)		
所在地	福岡県大牟田市宝坂町2丁目92番地		
整備種別/開館年月日	改築/令和6年4月		
敷地面積(㎡)	27,465.58		
延床面積(㎡)	10,136.63		
建築面積(㎡)	8,350.62		
導入施設	メインアリーナ		バスケットボール(2面)、バレーボール(3面)、バドミントン(10面)、卓球(公式12面、一般33面)、ハンドボール(1面)、体操(1面)
	サブアリーナ(多目的ホール)		バスケットボール(2面)、バレーボール(一般2面)、バドミントン(6面)、テニス(2面)、卓球(10面)、フットサル(1面)、ポッチャ(8面)、アーチェリー(4面)
	トレーニング室		—
	柔道場	—	
	剣道場	—	
	卓球場	—	
	会議室	—	

○自治体の計画・条例・取組

	自治体名		福岡県大牟田市			人口(人) ※R2 国勢調査		111,281	
	目的	期間	内容			ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー	
大牟田市スポーツ推進計画	スポーツの機会づくり、支援の仕組みづくり、楽しめる環境づくりを推進することや、スポーツを通して人と人の絆が深まり活力ある都市づくりを目指す。	令和5年度～令和14年度	(1)誰もがどこでも気軽に親しめるスポーツ活動の機会づくり (2)活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり (3)スポーツがしやすい環境づくり  ・対象別スポーツ活動の推進 —障がい者のスポーツ活動の推進(障がい者協議会との連携) ・スポーツ活動の場の整備・充実 —障がいのある人が安心してスポーツを楽しめるよう、障がい者スポーツ用品の充実や普及拡大に努める。			—	—	—	
大牟田市健康福祉総合計画	誰もが安心して健やかに暮らしながら、持てる力を活かし社会的に孤立することなく参加できる社会を実現する。	令和6年度～令和8年度	(1)一人一人が尊重され、安心して相談できる社会 (2)健康的で住み慣れた地域で暮らし続けられる社会 (3)誰もが多様なきっかけや、繋がり参加できる社会 (4)新たな担い手が生まれる持続可能な社会  ・社会参加促進事業の実施 —体力増強や交流等を図るスポーツ・レクリエーション教室開催等事業を実施			—	・社会参加を実現するアクセシビリティの向上 —手話通訳の派遣や移動支援など意思疎通、移動におけるバリアフリー化を図る。	—	
パラスポーツ体験会	パラスポーツを知るだけでなく、実際に触れる機会を創出する。	—	・車いすテニス、陸上競技(レーサー試乗)、バドミントン、ポッチャ等の体験実施			—	—	—	


○整備概要

整備の経緯	旧体育館の老朽化、耐震性能に課題 市民がスポーツ等の活動を通じて集い交流できるスポーツ拠点施設の形成
事業スケジュール	令和2年6月～令和4年3月：設計期間 令和4年4月～令和6年3月：建設期間 令和6年4月：供用開始
事業費	総建設費102億5,829万7,532円(管理運営費は除く)
整備/管理・運営方式	指定管理者制度<NPO 法人大牟田市体育協会>
官民の役割分担	・施設の設備点検・管理業務 ・施設利用の予約管理 ・スポーツ体験教室・イベントの実施 ・スポーツ指導者の育成
管理・運営面の特色	○安全面、環境面に配慮した施設体制・設備 ・トレーニング室は運動指導員が常駐しており、運動の経験がない方や体力に自信がない方、体調や膝腰に不安がある方などが安心して健康づくり運動に取り組むことが可能 ・トレーニング機器は初心者にも配慮したものを配備し、多世代が気軽に運動できる環境設備を整備 ○周辺施設と連携した一体的なイベントの実施 ・スポーツ 2025 市民の祭典：当該体育館に隣接するグラウンド施設や多目的イベント広場を活用し、各場所で違ったスポーツ競技の大会を実施することで、子供から高齢者まで誰もが楽しめるイベントを演出し地域のスポーツ振興に貢献
その他当該体育館の特徴	○施設利用、スポーツ実施時に配慮した設計 ・建物躯体を鉄骨造とすることで、アリーナの梁せいを1.1m小さくし建物高さの抑制や周辺への圧迫を軽減 ・輻射式空調を採用しており、輻射熱を利用して室内の温度を調整できる空調とすることで、風の影響が大きいバドミントン、卓球の実施時でも、プレーの影響を最小限化が可能 ○観覧席の柔軟な配置 ・アリーナは常設席のほかに仮設席として最大1,500名の増設が可能であり、可動式の観覧席にすることで、実施する競技や開催するイベントの規模に応じアリーナレイアウトを柔軟に変更でき観客席の増減や配置の調整が可能

○ユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況

		ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
施設	ハード	—	—	・車いす専用観覧席(アリーナ、多目的ホール) ・バリアフリートイレ ・みんなのトイレ (一般トイレの混雑時や緊急時は健康者の利用も想定) ・車いす専用更衣室 ・みんなの更衣室
	ソフト	—	・障害者手帳を提示すると、トレーニング室の利用が無料	—
スポーツ設備	ハード	・アリーナ床：養生なしで、車いすスポーツの実施が可能	—	—
	ソフト	・パラスポーツ体験会：車いすテニス、陸上競技(レーサー試乗)、バドミントン、ポッチャ等の体験実施	—	—

○施設概要

事例番号	20	
名称	柴田町総合体育館	
所在地	宮城県柴田郡柴田町大字船岡字上大原 65 番地 1	
整備種別/開館年月日	建替/令和 6 年 12 月	
敷地面積(㎡)	30,614.40	
延床面積(㎡)	3,936.88	
建築面積(㎡)	—	
導入施設	アリーナ	バスケットボール(メイン1面、サブ2面)、バレーボール(6人制メイン1面、サブ2面、9人制1面)、フットサルコート(メイン1面、サブ2面)、バドミントン(8面)、テニス(2面、硬式・軟式)、卓球(20台)
	トレーニング室	ランニングマシン、フィットネスバイクなどの有酸素系マシン、チェストプレスマシン、レッグエクステンション、ダンベルなどのウェイトスタック式マシン
	多目的室	多目的室1: 110.7㎡(9.5m×10.4m) - 軽運動、会議・研修等(30名程度) 多目的室2: 77.5㎡(11.6m×6.4m) - 会議・研修等(20名程度)

○自治体の計画・条例・取組

	自治体名		宮城県柴田郡柴田町			人口(人) ※R2 国勢調査	38,271
	目的	期間	内容				
			ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー		
柴田町スポーツ推進計画(中期見直し)	「スポーツの価値」を考えながら、引き続き「いつでも」「だれでも」「いつまでも」スポーツを生涯にわたって活動できるよう環境を整備する。	平成 28 年度～令和 8 年度	(1)子供を中心としたライフステージに応じたスポーツ活動の推進 (2)スポーツ活動を支えるスポーツ環境の整備 ・青年期以降の運動・スポーツ機会の保障 —障がい児・障がい者とともにを行う運動の機会の創出				—
第3次柴田町障害者計画	「だれもが生きるよるこびを実感できる、自立と共生のまち柴田」障がいの有無にかかわらず、すべての住民が安心して、自分らしくいきいきと暮らすことができる町を目指す。	令和 3 年度～令和 8 年度	(1)一人ひとりが輝き、自立した生活を送れる (2)一人ひとりが自分の生き方を選べる (3)一人ひとりが尊重しあい、支え合う ・生涯学習・スポーツ・社会活動の推進 —障がい者スポーツ事業の実施 ・障がい者理解の促進と差別解消の推進 —福祉教育の推進				・防災・防犯対策の推進 —福祉避難所の受け入れ体制等の整備の推進
障害者ポッチャ大会(南部大会)	県民・市民との交流により、障がい者に対する深い理解と関心の高揚を期し、障がい者の社会参加促進に資する。	—	・宮城県内の北部・南部に分け、各市町でポッチャの大会を行い、優勝を競う。				—

○整備概要

整備の経緯	旧町民体育館が東日本大震災により甚大な被害を受けた後、解体スポーツ関係団体並びに町民からの総合体育館の建設の要望「避難施設(総合体育館)を核とした防災公園基本構想」を策定
事業スケジュール	平成 30 年度～令和 2 年度: 基本設計 令和 3 年度: PPP 手法可能性調査 令和 4 年度: 実施設計 令和 5 年 5 月～令和 6 年 10 月: 建設期間 令和 6 年 12 月: 供用開始 令和 4 年度～令和 23 年度(20 年間): 維持管理・運営期間
事業費	総事業費約 70 億 6,330 万 1,000 円(建設費、20 年間の建物賃料、維持管理運営費を含む)
整備/管理・運営方式	建物賃貸借方式 管理運営: <フクシ・オーエンス共同事業体> (株式会社フクシ・エンタープライズ、株式会社オーエンス)
官民の役割分担	代表企業: 伊藤忠商事株式会社 設計: 株式会社 INA 新建築研究所 建設: 西松建設株式会社 維持管理・運営: 株式会社フクシ・エンタープライズ、株式会社オーエンス 施設保有業者: NTT・TC リース株式会社 土地所有者、建物借用地主である町は借地人・建物所有者に借地(無償)を行い、維持管理・運営業者に指定管理料を支払い、また施設完成後は施設保有業者に無償譲渡を受ける。
管理・運営面の特色	○事業費用の抑制化 ・建物賃貸借方式を採用し施設賃料を毎年平均して支払うことで、初期費用の抑制が可能になり町の財政負担の将来的な平準化につながる。 ○施設を活用したイベントの開催 ・館内の多目的室等を活用し、コーラス教室やカリンバ教室といった文化講座を開講
その他当該体育館の特徴	○快適な空気環境の創出 ・館内は全空気式床輻射冷暖房システムを採用しており、床材の裏面に冷温風を吹き付け輻射熱で室内を冷暖房する、水を使わず冷温風の供給のみで冷暖房を行うといった性能を持つことで、災害時にアリーナを避難スペースとして使用した際、間仕切りを設置しても冷暖房効果が低下しないメリットが挙げられる。 ○体育館を拠点とした一体的な整備 ・施設の屋外に原っぱ広場、スポーツ広場、防災広場を整備し、平常時は町民の親睦や健康増進などのレクリエーションの場、災害時は避難場所(物資集積場所)等の活動拠点としての機能を備えることで体育館を核とした一体的な整備空間とした。


○ユニバーサルスポーツ、パラスポーツ、バリアフリーの整備反映状況

		ユニバーサルスポーツ	パラスポーツ	バリアフリー
施設	ハード	—	—	・車いす専用駐車場 ・車いす専用観覧席 ・バリアフリートイレ ・車いす対応エレベーター
	ソフト	・町内の支援学校、福祉法人の団体利用の場合、利用料が半額 ※障がい者の個人利用における料金減免はなし		—
スポーツ設備	ハード	—	—	—
	ソフト	・定期的なサークル活動でのラージボール卓球の実施		—

## 2. アンケート設問項目参照事例

### 2.1 体育館事例

(1)

名称	千葉ポートアリーナ		
所在地	千葉県千葉市中央区問屋町1番20号		
整備状況/開館年月日	平成3年3月		
敷地面積(m <sup>2</sup> )	15,994.83		
延床面積(m <sup>2</sup> )	19,509.02		
建築面積(m <sup>2</sup> )	—		
導入施設	メインアリーナ	バトミントン(12面)、卓球(16面)、バスケットボール(3面)、バレーボール(3面)	
	サブアリーナ	バスケットボール(1面)、バレーボール(1面)、バトミントン(4面)、卓球(8面)	
	トレーニング室	—	
	体力測定室	—	
	スポーツコミュニティコーナー	—	
配布・集計方法	WEB / WEB	有効回答数	203件


(2)

名称	宝来屋 ボンズアリーナ		
所在地	福島県郡山市豊田町3番10号		
整備状況/開館年月日	令和7年4月		
敷地面積(m <sup>2</sup> )	20,870		
延床面積(m <sup>2</sup> )	13,079.83		
建築面積(m <sup>2</sup> )	9,239.98		
導入施設	大総合体育館	バレーボール(6人制、3面)、バレーボール(9人制3面)、バスケットボール(2面)、ミニバスケットボール(2面)、フットサル(1面)、ハンドボール(1面)、インドアテニス(3面)、卓球(44台)、バドミントン(12面)、バウンドテニス(14面)、体操、新体操	
	小総合体育館	バレーボール(6人制、1面)、バレーボール(9人制、1面)、卓球(10台)、バドミントン(4面)、バウンドテニス(5面)	
	柔道場	柔道(2面)、空手等	
	剣道場	剣道(2面)、バウンドテニス(2面)、空手、ダンス等	
	トレーニング室	各種トレーニング	
	会議室	—	
	多目的室	—	
配布・集計方法	WEB(専用ウェブサイトから回答) / WEB	有効回答数	686件

(3)

名称	日向市総合体育館 (旧日向市体育センター)		
所在地	宮崎県日向市本町10番5号 (計画：日向市日知屋12106)		
整備状況/開館年月日	建設工事中/令和8年竣工予定		
敷地面積(m <sup>2</sup> )	— (計画：525,000 m <sup>2</sup> )		
延床面積(m <sup>2</sup> )	2,200 (計画：6,500 m <sup>2</sup> )		
建築面積(m <sup>2</sup> )	—		
導入施設(計画)	アリーナ	バレーボール(3面)、バスケットボール(2面)	
	武道場	柔道場(1面)、剣道場(1面)	
	多目的室	—	
	会議室	—	
配布・集計方法	郵送自書式(住民基本台帳より無作為抽出) / WEB	有効回答数	203件 / 市民3,000人

(4)

名称	常陸太田市総合体育館 (旧山吹運動公園市民総合体育館)		
所在地	茨城県常陸太田市新宿町1		
整備状況/開館年月日	建設工事中/令和10年竣工予定		
敷地面積(m <sup>2</sup> )	— (計画：54,000 m <sup>2</sup> )		
延床面積(m <sup>2</sup> )	— (計画：6,912 m <sup>2</sup> )		
建築面積(m <sup>2</sup> )	— (計画：6,566 m <sup>2</sup> )		
導入施設(計画)	メインアリーナ	バスケットボール(2面)、バレーボール(3面)、バドミントン(10面)、卓球(12面)	
	サブアリーナ	バスケットボール(1面)、バレーボール(2面)、バドミントン(4面)、卓球(6面)	
	トレーニング室	—	
配布・集計方法	市地区別(19地区)の人口比率に合わせ無作為に抽出(※総合体育館利用団体：総合体育館利用時に配布・回収) / WEB	有効回答数	494件(1,000人無作為抽出)

### 2.2 その他自治体におけるスポーツ市民アンケート・意識調査

自治体名	アンケート調査名	調査年月日
静岡県静岡市	スポーツ活動・生涯学習に関する市民意識調査	令和3年12月
奈良県橿原市	スポーツ施設のあり方に関するアンケート調査	令和4年3月
愛知県刈谷市	スポーツに関するアンケート調査	令和6年3月
長野県松本市	スポーツに関する市民アンケート	令和6年11月
兵庫県姫路市	第2期姫路市スポーツ推進計画 ースポーツの実施状況・スポーツに関する意識	令和7年3月